

官報 號外

大正十二年二月九日

金曜日

印刷局

第四十六回衆議院議事速記録第十號

大正十二年二月八日(木曜日)午後一時十五分開議

議事日程 第九號 大正十二年二月八日

午後一時開議

- 第一 簡易生命保險特別會計ニ於ケル土地建物ノ買入又ハ建物ノ建設ニ關スル法律案 (政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 樺太ニ於ケル鹽專賣ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ各特別會計合併ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ各特別會計合併ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 明治四十年法律第二十一號中改正法律案(政府提出) 第一讀會(委員長報告)
- 第六 農業組合法案(土井權大君提出) 第一讀會
- 第七 水先法中改正法律案(阪上貞信君提出) 第一讀會
- 第八 恩給法改正ニ關スル建議案(高木正年君外二名提出)
- 第九 文武官並巡查看守等恩給増額ニ關スル建議案(横田千之助君外十一名提出)
- 第十 恩給法改正ニ關スル建議案(三浦得一郎君提出)
- 第十一 霧島山國立公園設置ニ關スル建議案(日野辰次君外三名提出)
- 第十二 奈良縣吉野郡ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案(岩本平藏君外五名提出)
- 第十三 大日光國立公園設置ニ關スル建議案(松岡俊三君外五名提出)
- 第十四 日足鐵道速成ニ關スル建議案(松岡俊三君提出)
- 第十五 自由港設置ニ關スル建議案(野田文一郎君外四名提出)

第十八 產業組合中央金庫設置ニ關スル建議案(土井權大君提出)

第十九 銀行預金者救済ニ關スル建議案(板野友造君提出)

第二十 氣仙沼前谷地間鐵道速成ニ關スル建議案(高橋長七郎君外八名提出)

第二十一 肝屬川改修速成ニ關スル建議案(津崎尚武君外二名提出)

第二十二 米穀專賣法制定ニ關スル建議案(小菅劍之助君外一名提出)

第二十三 八幡濱中村間鐵道速成ニ關スル建議案(矢野丑乙君外三名提出)

第二十四 國有林野所在ノ府縣市町村ニ對シ交付金下付ニ關スル建議案(八田宗吉君外六名提出)

第二十五 帝國在郷軍人會國庫補助ニ關スル建議案(八田宗吉君外六名提出)

○副議長(粕谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(原田書記官朗讀) 一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

樺太ニ於ケル鹽專賣ニ關スル法律案 東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ各特別會計合併ニ關スル法律案 (以上二月六日提出)

陪審法案 恩給法案 (以上二月七日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ 中込高崎間鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者 佐藤寅太郎君 小坂 順造君 春日 俊文君 花園 次郎君 塚原 嘉藤君 (以上二月七日提出)

筑波山國立公園設置ニ關スル建議案 提出者 鈴木 錠藏君

行政裁判制度改革ニ關スル建議案 提出者 清瀬 一郎君 (以上二月七日提出)

決議案(陸軍々備ノ整理縮少ニ關スル件)

提出者 安達 謙藏君 關 和知君

三木 武吉君 田中 善立君

(以上二月六日提出)

決議案(内閣不信任ノ件)

提出者 安達 謙藏君 關 和知君

三木 武吉君 田中 善立君

(以上二月七日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

西伯利駐兵ニ關スル質問主意書

提出者 野村 嘉六君 (以上二月六日提出)

一去六日政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員森下龜太郎君提出財界動搖ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員横山勝太郎君提出司法權ノ運用ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員木下甚三郎君提出米穀法ニ依リ食料ノ安定農民ノ困憊防止ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員清水留三郎君提出米國ノ日本人歸化權ニ關スル質問ニ對スル答辯書

財界動搖ニ關スル質問主意書 右成規ニ據リ提出候也

大正十一年十二月二十七日 提出者 森下龜太郎 贊成者 矢島 專平 外三十名

一 近時財界ニ於ケル不祥事頻出シ世道人心ニ及ホス影響鮮シトセス之レ素ヨリ財界當務者ノ無自覺ニ原由スルコト勿論ナリト雖同時ニ政府當局モ亦監督不行届ノ責ヲ免レサルカ如シ政府ノ所見如何

政府ハ其ノ職責上急速ニ徹底的救済ノ方策ヲ確立シ之ヲ公表シ以テ一面財界ノ動搖ヲ防止スルト

財界動搖ニ關スル質問主意書

二

一

二

同時二他面一般民心ノ安定ヲ圖ルヲ刻下ノ喫緊事ナリト認ム政府ノ所見如何
右及質問候也

大正十二年二月六日

内閣總理大臣 男爵加藤友三郎

衆議院議長 奧繁三郎殿

衆議院議員 森下龜太郎君提出財界動搖ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員 森下龜太郎君提出財界動搖ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一 近時財界ニ不祥事ノ生シタルコトハ誠ニ遺憾トスル所ナリ政府ニ於テモ此等不祥事ヲ可成未熟ニ防止スルコトニ付テハ常ニ最善ノ努力ヲ怠ラサル所ナルモ充分之レカ目的ヲ達セムトスルニハ主トシテ検査監督ノ方法ニ依ラサルヘカラス然ルニ現在此等検査ニ從事スル官吏ノ數ハ甚タ僅少ニシテ全國ニ千有餘ノ金融機關ニ對シテハ遺憾ナカラ充分ニ其ノ検査ノ周到ヲ期スル能ハス今後漸次検査機關ノ充實ヲ計ルト同時ニ金融機關ノ合同ヲ勸メ當業者ノ覺醒ヲ促ス等必要ナル施設ヲ講セムトス

大正十二年二月六日

大藏大臣 市來 乙彦

司法權ノ運用ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十一年十二月二十八日

提出者 横山勝太郎

賛成者 鈴木富士彌

外三十一名

司法權ノ運用ニ關スル質問主意書

近時司法權ノ運用甚タ公明ヲ闕キ天下多ク疑惑ヲ懷ク者アリ曰ク檢察ノ方法不徹底ニシテ不公平ナリ曰ク無用ノ拘禁ヲ爲シ或ハ必要アル拘禁ヲ爲サズ曰ク保釋貴付ニ吝ナリ曰ク刑ノ量定平衡ヲ失ス曰ク檢察ハ專横ナリト之レ司法官ノ素質ノ低級ナルニ因ル乎或ハ陰險ナル或勢力ノ壓迫干涉ニ因ル乎抑亦既成制度ノ非ナルモノアルカ爲ニ然ル乎本員等ハ由來嚴正獨立ナルヘキ司

法權ノ現實ノ行用ニ關シ大ナル不安ヲ感シ國家ノ爲ニ深憂ニ堪ヘサルモノアリ現政府ハ司法權ノ神聖ト獨立ニ關シ如何ナル所見ヲ有スル乎
右及質問候也

大正十二年二月六日

内閣總理大臣 男爵加藤友三郎

衆議院議長 奧繁三郎殿

衆議院議員 横山勝太郎君提出司法權ノ運用ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員 横山勝太郎君提出司法權ノ運用ニ關スル質問ニ對スル答辯書

司法權ノ運用ハ最モ公正ニ行ハレ質問主意書ニ掲ケルカ如キ事實アルヲ認メス若シ司法權ノ運用公明ヲ闕クカ如キ疑惑ヲ懷ク者アリトセハ是レ恐ラクハ事ノ誤解ニ基クモノナルベシ政府ハ常ニ司法權ノ神聖ト獨立トヲ尊重シ倍々其ノ光輝ヲ發揚セシムコトヲ期セリ
右及答辯候也

大正十二年二月六日

司法大臣 岡野敬次郎

米穀法ニ依リ食料ノ安定農民ノ困憊防止ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正十二年一月二十三日

提出者 木下基三郎

賛成者 廣岡宇一郎

外三十四名

米穀法ニ依リ食料ノ安定農民ノ困憊防止ニ關スル質問主意書

米穀法ニ依リ食料ノ安定農民ノ困憊防止ニ關スル目的ヲ達成スルコトヲ得ルヤ當局ノ所見如何
右及質問候也

大正十二年二月六日

内閣總理大臣 男爵加藤友三郎

衆議院議長 奧繁三郎殿

衆議院議員 木下基三郎君提出米穀法ニ依リ食料ノ安定農民ノ困憊防止ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員 木下基三郎君提出米穀法ニ依リ食料ノ安定農民ノ困憊防止ニ關スル質問ニ對スル答辯書

米穀法ノ運用ニ依リ米穀生産ノ過不足ヨリ生スル需給ノ不均衡ヲ調節シ延イテ米價ノ急激ナル變動ヲ緩和シ以テ食糧ノ安定ニ資スルト同時ニ農民ニ對シ生産過剩ニ依リテ特ニ生スルコトアルヘキ困憊ヲ防止シ得ルモノト認ム
右及答辯候也

大正十二年二月六日

農商務大臣 荒井賢太郎

衆議院議員 清水留三郎君提出米穀法ニ依リ食料ノ安定農民ノ困憊防止ニ關スル質問主意書

大正十二年一月二十四日

提出者 清水留三郎

賛成者 石井 研二

外三十名

米國ノ日本人歸化權ニ關スル質問主意書

一 米國大審院カ日本人ノ歸化權ヲ否認セルニ對シ政府ハ如何ナル處置ヲ採ラレシヤ
二 日本人ノ米國歸化權ニ對シ政府ハ如何ニ考慮セラレツツアリヤ
右及質問候也

大正十二年二月六日

内閣總理大臣 男爵加藤友三郎

衆議院議長 奧繁三郎殿

衆議院議員 清水留三郎君提出米國ノ日本人歸化權ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員 清水留三郎君提出米國ノ日本人歸化權ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一 米國大審院ノ歸化判決ニ對シ政府ハ何等容喙スヘキ餘地ヲ認メス

二 自國民ノ歸化ハ外國ニ對シ強要スヘキモノニアラス從テ政府ハ邦人ヲ爲歸化權ノ附與ヲ米國政府ニ求ムル意思ヲ有スルモノニアラサルモ歸化法ノ規定ヲ轉用シ本邦人ニ對スル差別的待遇ヲ與フルハ政府ノ常ニ遺憾トスル所ニシテ適當ナル機會ニ之カ解決ヲ講シタキ所存ナリ
右及答辯候也

大正十二年二月六日

外務大臣 伯爵内田 康哉

一 去六日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

(第一號)大正十一年度歳入歳出總豫算追加案

一議員ノ異動左ノ如シ

東京府第九區選出議員秋原太郎君ノ補闕トシテ中

原徳太郎君當選セラレタリ

一昨七日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ

第六部選出豫算委員橋本喜造君(鈴木富士彌君補

闕)

第七部選出豫算委員古屋慶隆君(野田文一郎君補

闕)

一今八日所得稅法中改正法律案外四件委員近藤達

兒君辭任ニ付其ノ補闕トシテ大口喜六君ヲ議長ニ於

テ選定セリ

○副議長(粕谷義三君) 諸君、一昨日本院ノ議決ニ

係リマス、大勳位貞愛親王殿下ニ奉リマスル弔辭ハ、即日

宮家ニ參邸致シマシテ、捧呈ヲ致シマシテゴザイマス、此段

御報告申上ゲテ置キマス。是ヨリ會議ヲ開キマス、諮問

事項ガアリマス、第九部選出豫算委員野村嘉六君、第七

部選出豫算委員小嶋八郎右衛門君、右何レモ常任委員

辭任ノ申出ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセヌカ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト呼フ者アリ

(田淵豊吉君登壇)

○田淵豊吉君 私人議事ノ進行ニ付テ一言申述べたいノ

アリマス、先ツ第一、一昨六日ノ本會議ニ於キマシテ、私

ハ議事ノ進行ニ付テ發言ヲ求メタイガ爲ニ、私自身參りマ

シテ、秘書課ニ之ヲ通ジタノデアリマス、秘書課カラ確ニ議

事課ニ其旨ヲ報告シタウデアリマス、然ルニ粕谷副議

長——當時ノ議長ハサウ云フコトヲ受ケタコトハ無イト云フ

コトデアリマス、所ガ調ベテ見ルト云フト、名前マデ分テ、是

レ々々(渡シタ)云フコトガ明ニナテ居ルノデアリマスガ、議

長ハ直接ニ受ケタモノヲ受ケナイト云フノカ、サウ云フコトハ

ナカラウト思ヒマス、直接ノ責任ヲ御持ナサルカ、或ハ間接

ニ監督ノ責任ヲ負フモノナカト云フコトヲ私ハ確メタイ

ト思フノデアリマス、是ハ私ハ議長ニ對スル一ツノ質問デア

リマス、第二ニ於キマシテ其當時ニ、私ガ頻ニ私ノ心カラ致

シマスルト云フト、豫メ通告ヲシテゴザイマスカラ、議長カラ御

言葉ガアルコトカト思フテ居ルノデアリマス、適當ノ時ニ——所

ガ何等ノ御言葉ガナイカラ、私ハ議長ヲ連呼致シマシテ、議事

ノ進行ニ付テ發言ヲ求メタノデアリマス、所ガ數回議事ノ進

行ニ付テ云フコトヲ申シマシタケレドモ、議長ハ其内容ノ

何デアアルカト云フコトヲ聽カレタト云フコトハ、是ハ小サイ事

デアリマスケレドモ、幾分カ是迄ノ慣例ニ背イテナイカ知ラ

ント云フコトヲ私ハ疑フノデアリマス、私ノ間違ウタコトモゴ

ザイマセウケレドモ、私ハ私ノ言ウタ所ノモノヲ用ヒ、茲ニ繰

ノデアアルカラ、成ベク議員ト云フモノ、職權ヲ重シテ、足ラ

又所ガアレバ議長ガ足シテ呉レルノガ、議長ノ大ナル責任デ

ハナイカト思フ。進行々々、無用々々、無禮者ト呼フ者アリ、

田淵豊吉君、今日休會スル必要ガナイト云フコトヲ私ハ速

ベタイノデアリマス、無用々々、無禮者ト呼フ者アリ其事ニ付

テ——議事進行ニ付テ發言ヲ許シマセヌカト聽イテ居ル

許シマセヌカラバ許シマセヌト云フコトヲ其所デ明言スレバ

宜イ、而シテ何ガ故ニ許サヌカト云フコトヲ明ニ示スト云フ

コトガ、議事ノ進行ヲ妨ゲナイ所以デアナイカト思フ、然ルニモ

拘ラズ、副議長粕谷義三君、ドウ云フノデスカト聽イテ居

ル、何ノ事ダカ分ラナイ、多分私ノ察スル所ニ依リマスルト、

田淵ハ通告ヲシテ居ル、言ハセタイト思フタノデアルガ、政友

會及憲政會ノ一部、革新俱樂部ノ一部ノ人ガ歸々トシテ

鳴ルモノデアアルカラ、議長ハ其職權ヲスルコトガ出來ナイ、政

友會ノ諸君ノ爲ニ壓セラレタ傾向ガアルノデアル、實ニ議長

ハ怠慢ノ責ハ免レナイト思フ、田淵豊吉君、通告シテアリマ

ス、發言ヲ求メマス、議事ノ進行ニ付テ——反對動議ト書

イテアル、其反對動議ト云フノハ私ハ何モ知ラヌノデアアル、吾

々々背後ノ革新俱樂部ノ席ノ方カラ、反對動議ト云フタラ

宜イノダト云フカラ反對動議ト云フノデアアル(笑聲)詰リ私

ハ「アントノニム」デナクシテ「シノニム」デアルト思フ、議事ノ

進行ニ付テデナク、其動議ニ於テ反對スルノデアルト云フコ

トヲ言ハシテ呉レタナラバ、ソレデ済ムノデアアル、然ルニ其深

成ヲ得テ成立ヲ致シタト云テ居ル、サウシテ結論ガ、矢張勳
 議ハ成立シテ居リマスト云テ居ル、議長ハ何故斯ノ如ク議
 場ヲ混亂サセルヤウナ事ヲ爲サカト云フコトヲ聽キタイ、
 之ニ就テ諸君ハ私ノ罪アルト云ハレルカモ知レヌガ、私ノ
 罪アルト云フコトハ、議長及政友會ノ諸君ノ罪アルト斷言シ
 テ憚ラナイト思フ、是ハ私ハ議長ニ對シテノ二ツノ質問ト、
 幾分カ諸君ニ對シテノ反對ヲ述ベテ次第アリマス、ソレカ
 ラ私ハ第三ニ於キマシテ、私ノ意見ヲ諸君ニ向テ——殊ニ
 重ク政友會ノ諸君ニ向テ私ハ言ヒタイト思フ、ト云フコト
 ヲ連呼シテ居ル、甚シキニ至リテハ、不敬漢ト云フコトヲ言
 ト云フコトヲ新聞記者ノ人ガ傳ヘテ居ル、如何ナル理由ヲ
 以テ斯ノ如キコトヲ申サレタカ、諸君コソ不敬漢デアリ、諸
 君コソ無禮者デハナイカト思フ——反對ガアレバ聽キマセウ、
 反對ガアレバ仰シヤイマセ、岩崎君

〔ヤレ〕「何ヲ言フカ」田淵シカリヤレ」大切ナ
 ル法案ガ澤山アルト呼ヒ其他發言スル者多シ
 ○副議長 柏谷義三君 田淵君成ベク議長ニ對スル範
 圍ダケニ御止メ願ヒタイ

○田淵豐吉君 議長ノミデハアリマセヌ、議長ニ對シテ
 ハモウ申シマシタ、是カラ「無禮者」ト云フコトニ付テ言ハナケ
 レバナラヌ、議長ハ此間モ質問ヲ禁ジタ、餘リニ政友會ノ肩
 ヲ持テヤルト云フコトハ宜クナイデス——私ハ過日モ議事
 進行ニ付テ一言述ベタノデアリマシタ、ソレハ何故デアルカ
 ト云フ、一月ニ於キマシテモ非常ニ長ク休シテ居ル、然ル
 ニ本郷ニ選舉ガアルト云テ、其選舉ニ狂奔シテ議場ヲ休
 デ、而シテ選舉ニ狂奔シタト云フコトヲ私自身認ムルノ
 アリマス、(ソシナ事ガアルモノカト呼フ者アリ) 中野正剛君
 ノ如キ其一人デアッタト思フ(拍手、笑聲)私ハサウ云フヤウ
 ナ點ニ於キマシテ、非常ナル所ノ反對ヲ持テ居ルヤウナ次
 第デアリマス、併ナガラ吾人ハ選舉ニ向ケテ狂奔スルト云フ
 コトハ惡イ事デアアルケレドモ、是ハ私ノヤカマシク言フ所デ
 ハナイ、唯、ヤカマシク言フノハ、諸君ガ議會ヲ休ムト云フコ
 トデアアル、太陽ハ二六時中、二十四時間此地球ヲ照シテ居
 ルト云フヤウニ、此立法ノ最モ中心ナル所ノ議會ガ休ムト云
 フコトハ、太陽ガ照サナイト同ジデアルト私ハ思フ、故ニ私ハ
 當日國葬ノ豫算ガ可決セラレ、又甲辭ヲ可決セラレ後ニ
 至リマシテ其後ニ於テ休會ノ事ニ付テノ動議ガ出マシタガ
 既ニ本會議ノ豫定日數ハ三十一日シカナイノデアアル、而モ既
 ニ此間モ一回休シテ、其理合セサヘモシテナイノデアアル、故ニ
 私ノ發言セントシテ趣旨ハ、當日ハ休ム必要ハナイト云フコ
 トヲ私ハ言ヒタカクデアリマス、何故必要ガナイカト云フ
 ト、其前日ナレバ廢朝仰出デラレタル日デアリマス、又貴

族院ハ休シテ居ルノデアリマス、併ナガラ其翌日六日ト云
 フモノハ何等關係ハ無イノデアアル、唯、豫算ヲ議スルト云
 フ事ダケデアアル、豫算ヲ議スルト云フコトハ國務ノ進行上
 デアツテ、少シモ他ノ事ト變テナイノデアリマス、諸君ハ是ヲ
 シモ混同シテ、豫算ヲ議スルシテシマテカラ直ク休ムト云フコ
 トハ何ノ事デアアルカ、併ナガラ私ダケノ意見デハ通ラヌ、諸君
 モ矢張諸君ノ考ヲ以テ議場ニ居ラレルノデアリマスカラ、私
 ハ私ノ心ヲ以テ諸君ヲ壓倒シヤウトスル者デハナイ、若シ萬々
 一其日ハドウシテモ休マナケレバナラヌト云フナラバ、翌日ニ
 スルトカ、他ノ日ニ繰延スルトカシテ仕事ヲ抄ラセ國務ノ滯
 シナイヤウニヤルト云フコトガ當然ノ事デアルト思フノデア
 ル、諸君ノ元帥トシテ勳功赫赫タル所ノ殿下ノ地下ニ瞑シテ居
 レル場合ニ、サウ云フヤウナオチヨコチヨイのニ議會ヲ休
 デ、小人閑居シテ不善ヲ爲スト云フヤウナ事ヲ誰ガ喜ブデア
 リマセウカ、私ハ諸君ノ態度ヲ聽キタイ、然ルニ諸君ハ無禮
 者無禮者ト云フノハ何デ無禮者ト云フカ、諸君ハ私ノ發言
 ヲ禁止シテ、而シテ私カラ考ヘマスト議長ヲ壓倒シテ、私ノ言
 ヲ議長ガ許サウトスルヲ諸君ガ妨ゲタデハナイカ、是即チ憲
 法ヲ蹂躪シ憲法ノ體面ヲ汚シテ居ル所、諸君ノ大ナル罪
 惡デハナイカト私ハ信ジテ疑ハヌノデアリマス、(拍手)斯ノ如
 ク無禮ナル立憲政體ノ本旨ニ背イタ事ヲヤリシ、人ヲ無禮
 者ト呼ハル心事ハ何デアルカ、諸君ニ聽キタイノデアル、諸
 君ハ斯ノ如キ所ノ言動ヲ弄サレテ居ルト云フコトハ、私ハ非
 常ナ間違デアルト思フノデアリマス、各國ハ今ヤ此復舊事業
 ニ忙ガハシクシテ、年々中議會ヲ開イテ働イテ居ルデハナ
 イカ、然ルニ日本ハ會期九十日ノ中僅カ七十餘日開會シ
 テ、ソレモ本會議ノ豫定期日ハ三十二日デアリマセヌカ、
 前ニモ一日ガ既ニ失ハレテ、其理合セト云フコトヲ少シモシ
 ナイノデアリマス、諸君ガソレヲシナイデ唯モ休ムト云フコト
 ハ、私ハ上陸下ニ對シテ國民ニ對シテ、輔翼ノ任ニ背イタル
 モノデアアル、慎重審議ト云フコトハ諸君ノ「モットー」デア
 ルニ諸君ハソレヲ裏切テ何等シナイデ「サボ」テ居ルデハナイ
 カ、私ハ是ハ元帥殿下ニ致サレマシテモ、諸君ノ議會ヲ休會シ
 テ議事ヲ抛擲シテ、而シテ斯ノ如キ生半可ナル所ノ事ヲヤル
 ト云フコトハ、決シテ喜バレル道理ハ無イト私ハ思フ、諸君ヨ
 神ヲ祭ルコト神在スガ如シト云フヤウナ事ヲヤテ居ルデハナイカ、
 ルコト神在サ、ル如シト云フヤウナ事ヲヤテ居ルデハナイカ、
 實ニ私ハ善クナイト思ヒマス、故ニ私ハサウ云フ點ニ付テハ
 此國葬當日ハ日本全國盡ク休ムモノデアリマセウカラ、衆
 議院ハ特ニ休會シテ其敬意ヲ表スルト云フコトハ、是ハ今
 日適當ナル所ノ處置デアルト信ズルノデゴザイマス、併シ何
 等ノ理由ナクシテ唯モ豫算ヲ議決シタカラト云ウテ、鬼ノ首デ
 モ取ツヤウナ氣デ居ルノハ如何ナル譯カ、又甲辭ヲ參内シ

テ捧呈スルト云フコトハ固ヨリ當リ前ノ手續デアアル、併ナガ
 ラ其時ニモ諸君ノ決議ニ依テ議長ガ居ナイデハナイカ、是
 モ諸君ノ過失デハナイカ、若シ議長ガ副議長ニ代ラシテ議
 長ガ之ヲ持テ參内スルナラバ宜シイ、然ルニ議長ガ居ナイ
 爲ニ副議長ガ之ヲ持テ行テ、議會ヲ休會スルト云フヤウナ
 事デアラ、タナラバ、誠ニ畏多イ話デアナイカト思フ、實ハ今度
 ノ議會ハ色々ナ事ガ打ツ突カテ居ル、當日ハ質問日デア
 ル、故ニ開會サレル事ヲ決シテ好マレナイ、議會ノ會期ガ短
 クテ質問ヲ無クシテシマッタラ、都合ガ好イト云フヤウナ醜
 デハナイカト私ハ恐レルノデゴザイマス、諸君ハソレマデ惡辣デ
 ハ無イト思フケレドモ、私ハ恐レルノデアアル、諸君ヨ、私ハ乃
 木大將ガ伯林ニ來ラレマシタ時ニ、或ル有力ナル人ガ日本
 俱樂部デ何百人ト云フ人ヲ代表シテサウシテ演説ヲ爲
 スタ、歡迎ノ辭ヲ述ベラレタ、乃木大將ハ武勳赫赫タル旅
 順ニ於テ大功ヲ樹テラレテ光輝アル將軍デアルト述ベ
 ラレタノデアリマスガ、其時ニ當リマシテ乃木大將ハ
 只今ノ御贊辭ヲ私ハ御辭退致シマス云フ武勳赫赫タル云フ
 其所ガ將軍ノ大ナル、所デアラサウ云フ武勳赫赫タル云フ
 ヤウナ事ヲ述ベテ賞ヒタクナイ、世界ニハサウ云フ事ハ澤山
 アル、決シテ誇ルベキ事デナイト云フ大ナル精神ヲ發揮サレ
 タモノト思フ、大偉人ニナルト、サウ云フヤウナオチヨコチヨ
 イ、我が業務ヲ抛擲シテ選舉ニ奔走スルヤウナ事ハシナイ
 ト思フノデアリマス、又諸君ガアノ日休會シタト云フコトハ
 私ハ決シテ善クナイト思フ、サリナガラ諸君ガ若シソレガ必
 要ト云フナラバ、何カ爲ニ其翌日ニ於テ本會議ヲ開カヌカ、
 諸君ガ去年議會ノ閉會末日ニ方リマシテ、百數十件ノ建
 議案ト云フモノヲ一括シテ議題ニ供シ、憲法蹂躪ノ聲ガ此
 處ニ叫バレテ居ルト云フコトヲ知ラナイノデアアルカ、諸君ハ自
 己ノシタ事ヲ採消ス爲ニ速テフタメイテ、此壇上ニ格闘マデ
 ヤラナケレバナラヌト云フヤウナ醜態ヲ演ジナガラ、悠々閑々
 トシテ、今日ハ物價騰貴シテ人民ハ負擔ノ重キニ苦ミ、餓莩
 途ニ横ハルト云フ時ニ、唯、豫算ヲ議スルシタカラ會ヲ休ムト
 云フコトハ、其行ハ義ノ如ク見エケレドモ、其心事ノ陋劣
 ナル事ハ唾棄スルニ値シテ居ルト私ハ信ジテ疑ハナイノデア
 リマス(拍手)併ナガラ私ハ昨日此壇上ニ一人デ飛上ツタモ
 ノデアハナイ、憲政會ノ人も、政友會ノ人も、革新俱樂部ノ人
 も、庚申俱樂部ノ人も、十二三名ノ人ニ當テ、本會議ヲ休
 會スルノハ善イカ惡イカト聞イタノデアアル、所ガ床次竹二郎
 君一人マア止メテモ宜イデアナイカト言ツタマケデ、他ノ十何
 人ノ人ハ悉ク私ノ意見ニ贊同サレタノデアアル(嘘々ト呼フ
 者アリ)嘘デアハナイ、ソレハ政友會ノ津野田是重君ガ委員會
 デ斯ウ言ウテ居ル、ソレハ尤ナ話ダ、全クダ全クダト三遍モ言

ハレタ、津野田君ガ若シソレガ間違ウテ居ルト言フナレバ私ハ返答ヲ致シマス、政友會ノ人モアリ、憲政會ノ人モアル、名前ヲ擧ケテト言ヘバ一々擧ゲマス、ソウ云フヤウナ事情デゴザイマスルカラシテ、私ハ突飛ニ此處デ言フ好シクシテ言フデハナイ、故ニ成ベクナラバ其休マナクシテ翌々日ニ繰延ベルカ、他ノ日ニ讓ルヤウニシタナラバ、國務ハ滯シナイデ済ムモノト思フ、ソレカラ言ウタノデアル、諸君、今日日本帝國ト云フモノハ過激思想ガ侵入シ、社會問題ハ頻々トシテ起リ、餓卒途ニ横ハテ居ルヤウナ時デハナイカ、此時ニテ立法機關ガ休止ニナリマシテ、議會ガス、カリテ、ニナリナラバ、誰ガ之ヲ爲スコトガ出來ルデアリマセウカ、此外國ノ憲法ハ各國ニ於テ大ナル犧牲ヲ拂ヒ、血ヲ流シテ得タモノデアリマスガ、日本ニ於テ欽定憲法ニ依テ吾々議場ニ列スルト云フコトハ、三百

年ノ徳川幕府ヲ倒シテ、今日吾々ノヤウナ百姓議員ガ此處ニ出テ來ルト云フコトハ、人生ノ惡戰苦闘ノ結果デアルト云フコトヲ忘レテ居ルノデハナイカ、諸君ハ斯ノ如キ貴イ所ノ權利ヲ蹂躪シテ、而シテ吾輩ガ發言スルト云フト、其機會ヲ與ヘズシテ國賊呼ハリ、無禮呼ハリヲシテ吾輩ヲ彈劾スルト云フコトハ、私ハ諸君ニ向テ憲政ノ敵デアルト云フコトヲ憤慨シテ已マザル者デアリマス、諸君ヨ大ニ心セヨ、決シテ諸君許リガ善イ者デハナイト云フコトヲ知ラナケレバナラヌ、諸君ガ若シ田淵ハ一人デアレドモ、四百五十ノ力ガ強イト言フナラバ、唯、カデ行クナラバ、或ハ「ガイフォクシ」ハ加持力教ヲ餘リ阻害シタ爲ニ英國ノ上院議員ト下院議員ガ寄テ居ル議會ノ床ノ下ニ、十一月五日カニ數樽ノ火藥ヲ詰メテ置イタノヲ爆發サセヤウトシテ捕ヘラレタノデアル、或ハ原敬君ガ殺サレタノハ餘リニ諸君ガ橫暴シタ結果デハナイカト思フ、諸君ガ自分ノ權利ヲ擁護シヤウト云フナラバ、西洋ノ諺ニアル硝子ノ家ニ住ム人ハ決シテ石ヲ一硝子ノ家ニ住ム人ハ決シテ石ヲ抛ラヌト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、諸君ハ諸君ノ權利ヲ擁護スル爲ニ、諸君自身ノ後ロニ大キナ穴ヲ掘ラントスルト云フコトハ、即チ諸君ノ持テ居ル權利ヲ蹂躪シナイ、又他ノ權利ヲ蹂躪シナイト云フ此議事規則ナリ、或ハ憲法ノ精神ナリヲ擁護シナケレバ、今ニ諸君ハ酷イ目ニ遭テ、ア、斯ナ事デハナカッタト云フヤウナコトガ來ルデハナイカト思ヒマス、諸君ハ我ガ後ロニ穴ヲ掘テ、破リ込ムト云フコトヲセズ、硝子ノ家ニ住ンデ居ル者ハ石ヲ抛ルコト勿レ、議會ニ向テ包圍シテ、議會ニ火ヲ放ケルト云フコトハ樂々デアルガ、暴ヲ以テ暴ニ易ヘルト云フコトハ立憲政治デハナイ、立憲政治ハ斯ノ如キ事ヲシナイト云フコト、詰リ善イ所ノモノガ御互ニ權利ト權利ノ争ヲシテ、國民ノ休戚ヲ茲ニ訴ヘンガ爲ニヤッタモノデアリマスカラ、成ベクハ此大精神カラ來テ、政友會モ自由黨ノ後デアル、諸君ハ

即チ諸君ノ山口熊野君等ノ如キハ頭ヲ叩カレナガラ此立憲政治ヲ拵ヘタノデハナイカ、諸君ノ板垣退助ハドウデアるか、板垣死ストモ自由ハ死セズト言フタノ絶叫ハ、今日ノ諸君ニ於テ毛頭モ無イデハナイカ、サウ云フヤウナ事ヲシナガラ諸君ハドウカ、憲法ノ條章ニ從テ、議事規則ニ從テ、慣例ニ從テ、諸君ノ權利ヲ擁護シ、吾々ノ權利ヲ擁護スルト云フコトガ、諸君最モ必要デアルト思フデアリマス、然ルニ諸君ハ吾輩ノ言語ノ一端ヲ見テ不敬漢呼ハリ、無禮者呼ハリフスルト云フコトハ、諸君コソ不敬漢、諸君コソ無禮者デアルト云フコトヲ斷言シテ此壇ヲ降ル、疑ニ二問ヲ發シテ、議長ニ向テ其責任ヲ問ヒ、吾輩ニ向テ斯ノ如キ非禮ナ言ヲ發シテ議員ニ向テ、私ハ此責任ヲ問ハントシテ此壇ニ登ラタ次第デアリマス(拍手)

○副議長(粕谷義三君) 只今田淵君ヨリ、一昨日田淵君ニ發言ヲ許サナカッタコトニ付テ、議長ニ對シテ御尋デアリマス、之ニ對シテ一應御答致シテ置キマス、一昨日田淵君カラ開會間際ニ際シマシテ、書記官ノ手許ニマテ議事ノ進行ニ關スル發言ノ通告ガアリマシタノデ、書記官ニ於キマシテハ、例ニ依テ一應其要點ヲ確メヤウト致シテ居リマスル中ニ、既ニ議會ハ開會セラレタノデアリマス、當時議長ニ於キマシテハ、茲ニ告白致シマスガ、全ク私ハ其通告ヲ受取テ居リマセヌ、而シテ御承知ノ通り、一昨日ノ議場ハ、最モ嚴肅ヲ要スベキ所ノ議場デアリマス、又議場ノ實際モ實ニ珍ラシキ程ニ嚴肅ナル所ノ議場デアリマス、偶、田淵君ガ起立セラレマシテ、發言ヲ求メラレマシタ故ニ、私ハ先例モアルコトデアリマスカラ、一應其如何ナル御發言デアアルカト云フコトヲ伺ヒタ上ニ、許否ヲ決シヤウト思タノデアリマス、斯ノ如ク致シマシテ、再應田淵君ト押問答ヲ致シマシタ所ガ、初ニハ田淵君ハ議事ノ進行ト云ハレタノデアリマス、而シテ後ニ至リマスルト云フト、反對動議ト云ハレタノデアリマス、其議事ノ進行デアアルカ、或ハ動議デアアルカ、或ハ反對説デアアルカ、殆ド其要領ヲ得ラレナイノデアリマス、然ルニ他方ニ於キマシテハ御承知ノ通り、既ニ岩崎君ノ動議ハ成立ヲ致シテ居リマシテ、採決ノ機モ正ニ熟シテ居リマシタカラ、アノ場合私ハ岩崎君ノ動議ヲ採決スルノ相當ト認メテ決ヲ採リマシタノデアリマス、議長ニ於テハ口今續々田淵君ヨリ、議長ハ田淵君ノ言論ヲ壓迫スルガ如キ態度ヲ執ラタト非難セラレマシタケレドモ、私ハ決シテ諸君ノ言論ヲ壓迫セント思フ者デハナイノデアリマス、唯、此事ヲ一言釋明致シテ置ク次第デアリマス(拍手)

○田淵豐吉君 議長——議長
〔無用〕無用トハ何ダト下呼フ者アリ
○副議長(粕谷義三君) 田淵君ニ許シマス

○田淵豐吉君 議長——議長
〔無用〕無用トハ何ダト下呼フ者アリ
○副議長(粕谷義三君) 田淵君ニ許シマス

○田淵豐吉君 議長——議長
〔無用〕無用トハ何ダト下呼フ者アリ
○副議長(粕谷義三君) 田淵君ニ許シマス

○田淵豐吉君 議長——議長
〔無用〕無用トハ何ダト下呼フ者アリ
○副議長(粕谷義三君) 田淵君ニ許シマス

答ヲ致シマス、初ニ御述ニナリマシタコトハ、私ガ只今御答
辨ヲ致シマシタ其初ニ於テ、其手續ヲ御答致シテ置キマシタ、
私ノ手許ニ通告ガ参リマスルノハ、即チ斯ウ云フ紙片ニ依
テ私ハ承知致スノデアリマス、然ルニ一昨日ノ議事ノ當時
ニ於キマシテハ、此通知ガ私ノ手許マデ参ラヌノデス、而シ
テ其來ナカク理由ハ、即チ私ガ今初ニ御答致シタ通りデア
リマス(田淵豊吉君、其通りト云フノハドウ云フノダ)ト呼
フ(重ネテ申シマセヌ、此場合私ハ田淵君ニ一ツ御相談ヲ
致シタイノデアリマスガ、只今田淵君ノ御發言中ニ、諸君コ
ソ不敬漢デアアル、斯様ナ御言葉ヲ繰返サレテ居ルノデアリマ
ス、或ハ田淵君ハ、一昨六日ノ議事ニ付テ新聞紙上ニ不敬
漢云々ノ言葉ガアツタコトニ激昂サレマシテ、斯ノ如キ意見
ヲ發セラレタノカ知レマセヌガ、)

〔田淵豊吉君「サウデヤナイ、傍聴席ノ人ガ聞イタト
言ク」ト呼ヒ「默レ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 免二角此議場ニ於テ、議員諸君
ニ對シテ不敬漢ノ言葉ヲ發セラレマスルト云フコトハ、甚ダ
穩カデナイト私ハ思ヒマス、是ハ田淵君ニ於カレマシテモ篤
ト御考慮トサイマシテ成ベク私ハ田淵君ガ自發ノ御取
消下サラントコトヲ希望致スノデアリマス——田淵豊吉君

〔田淵豊吉君登壇〕
〔ソノナ事ヲシテ居テハ議事ノ妨ゲデハナイカト呼
フ者アリ〕

○田淵豊吉君 妨ゲデハナイ、君等ガ妨ゲヲシテ居タノダ、
怪シカラヌ

〔無用「無用」ノ聲起ル〕

○副議長(粕谷義三君) 靜ニ

○田淵豊吉君(續) 私ハ議長ガ間接的ニ受取ラナカッタ
ト云フナラバ、其責任ハドウスルノデアアルカ、間接的ニ職責ヲ
誤ラタト云フ所ノ陳謝ヲ何故私ニ爲サラスノデアアルカ、其陳
謝ガナケレバ満足シナイノデアアル(間接ノ事ガ何デ責任ニナ
ル下呼フ者アリ)間接デモ責任ハ責任デハナイカ、第二ニ私
ハ申述ベタイ(無用々々)ト呼フ者アリ)私ガ——私ガ今不
敬漢云々ト言ウタコトハ、私ハ議長ノ言ニ服従シテ、私ハ取
消ス爲ニ此壇上ニ登ラタノデアリマセヌ、私ノ言ハント欲ス
ル所ハ無禮者、無禮者ト呼ブト云フ事ハ怪シカラヌ、斯ノ如
キ人コソ即チ無禮者デアルト云フコトヲ絶叫シタノデアアル
(無禮者デハナイ)ト呼フ者アリ)無禮者タカラ無禮者ト
言タノデアアル、君等ガサウ思ハヌナラシレデ宜イ、國民ノ判斷
ヲ仰ギ給ヘ、ソコサデ私ハ新聞記者ニ聞イタ、不敬漢、不敬
漢ト云フコトヲ言ウタト云フコトヲ新聞記者ガ報告シテ居
リマスカラ、私ヲ不敬漢ト云フ者ハソレ自身コソ憲法ヲ蹂

躐スル所ノ不敬漢ト云フコトヲ私ハ斷言シナケレバナラヌノ
デアアル

○副議長(粕谷義三君) 田淵君ハ議長ノ勸告ニ從ハレマ
セヌ故ニ議長ハ尙ホ特ニ速記録ヲ調査致シマシタ上ニ、相
當ノ處置ヲ致ス考デアリマス——日程二八リマス、日程第一、
簡易生命保險特別會計ニ於ケル土地建物ノ買入又ハ建
物ノ建設ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、前田遞
信大臣

第一 簡易生命保險特別會計ニ於ケル土
地建物ノ買入又ハ建物ノ建設ニ關
スル法律案(政府提出) 第一讀會

簡易生命保險特別會計ニ於ケル土地建物ノ買
入又ハ建物ノ建設ニ關スル法律案
簡易生命保險特別會計ニ於テハ簡易保險局廳舎ニ充
シル爲當分ノ内土地建物ヲ買入レ又ハ建物ヲ建設スル
コトヲ得

附則

本法ハ大正十二年度ヨリ之ヲ施行ス
〔國務大臣子爵前田利定君登壇〕
○國務大臣(子爵前田利定君) 只今日程ニ上リマシタ
法律案提案ノ趣旨ヲ概略申述タイト思ヒマス、簡易保險
局ノ廳舎ハ、事業開始以來貯金局ノ廳舎ノ一部ヲ充テ充
テ、居タノデアリマス、然ル所事業ガ年々逐ヒマシテ發展ヲ
致シマスニ付キマシテ、頗ル廳舎ノ狹隘ヲ感ジテ參ッテ
リマス、爲ニ民有ノ建物ヲ借入致シマシテ、其不足ヲ補
テ參ッテデアリマスケレドモ、是ガ爲ニ保險契約ノ締結並ニ保
險金額ノ支拂等ニ於テ、加入者ノ被ル不利不便ガ尠クナ
イノデアリマス、ノミナラズ事業ガ益進展致シマスニ連レマ
シテ、到底現場ノ儘デハ從業員ノ收容ヲスルコトガ出來ナイ
ヤウナ狀況ニ至ッタノデアリマス、故ニ大正十二年度ノ簡
易生命保險特別會計ノ豫算ノ上ニ於キマシテ、廳舎ノ新
營ノ費用ヲ計上致シタノデアリマス、然ル所現行ノ簡易生
命保險特別會計法ニ於キマシテハ、土地建物ノ買入又ハ
建設ヲ爲スコトガ法規ノ上ニ出來マセヌノデアリマス、因
リマシテ是ニ土地建物ノ買入建設ヲ爲シ得ル途ヲ開キタ
リノデアリマス、而シテ事務ノ圓滑ナル所ノ運行ヲ期シテ參
リタイト云フノガ、此法案提出ノ主旨デアリマス、何
卒皆様ニ於カセラマシテハ、御審査ノ上御協賛ヲ御與ヘ
下サラムコトヲ希望致ス次第デアリマス(拍手)

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ
選舉

○高見之通君 本案ハ木下甚三郎君提出電信線電話
線建設條例第六條ニ依ル手當金増額ニ關スル建議案ノ
委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ望ミマス

〔贊成「ト呼フ者アリ」〕
○副議長(粕谷義三君) 高見君ノ勸議ニ御異議アリマセ
ヌカ

第三 樺太ニ於ケル鹽專賣ニ關スル法律
案(政府提出) 第一讀會

樺太ニ於ケル鹽專賣ニ關スル法律案
樺太ニ於ケル鹽專賣ニ關シテハ鹽專賣法ニ依ル
附則
本法ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本法施行ノ際現ニ鹽ヲ消費者及販賣者ノ所有シ又ハ
所持スル鹽ニ關シテハ本法ヲ適用セス
本法施行ノ際現ニ販賣ノ目的ヲ以テ鹽ヲ所有シ又ハ所
持スル者ハ其ノ種類、等級、數量及所在ヲ本法施行後一
月内ニ政府ニ申告スヘシ申告ヲ怠リ又ハ不正ノ申告ヲ
爲シタルトキハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附則

○政府委員(永井金次郎君) 只今議題ニナリマシタ法
案ニ付キマシテ、私ヨリ一言說明致シマス、本案ハ樺太ニ鹽
專賣ヲ設ケタイト云フ法案デアリマス、現在樺太ニ於テハ鹽
ノ販賣ハ自由ニナッテ居リマス爲ニ、供給ガ極テ圓滑ヲ缺
テ居リマス、又價格ニ於テモ其高低甚ダ定マラナイノデア
リマシテ、殊ニ樺太ニ於キマシテハ此鹽ガ最も多量ニ要シマ
スノハ漁業鹽デアリマス、然ルニ此漁業ノ際ニ於テハ、鹽
ノ供給ガ不十分デアアル爲ニ魚類ノ製造ヲ完備スル上ニ於
テ、非常ニ不便ヲ感ズルノミナラズ、甚シキハ鹽漁ニ際シマシ
テハ鹽ガ非常ニ不足ヲ告ゲマシテ、鹽造ニスルコトガ出來
ナクテ、或ハ肥料ニ製造スルト云フヤウナ苦境ニ陥ルコトガア
ルノデアリマス、斯様ナ實況デアリマシテ、樺太水産物ノ
價值ヲ損スルコトガ少クナイノデアリマス、又漁業者ノ損害
モ甚ダ多デアリマス、又此家庭用鹽ニ於キマシテモ、價
額ノ動搖ガ常デアリ爲ニ、日常必須ノ鹽ニ於キマシテハ、島
民ガ非常ニ不便ヲ感ジテ居ルノデアリマス、斯様ナ次

第アゴザイマスノデ、今後樺太ノ鹽ノ上ニ對シテモ、專賣法ヲ施行致シマシテ、確實ナル供給ヲ圖リマシテ、而シテ値段ニ於テハ一定ノ價格ト致シタイ考デゴザイマス、斯様ニ致シマシテ樺太ノ重要産業アル所ノ水産業ノ發達ヲ圖リ、且ツ住民ノ生活上ノ不便ヲ除キタイ考デ、本案ヲ提出シタ次第デゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛アランコトヲ希望致シマス

○副議長(粕谷義三君) 日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○高見之通君 本案ハ政府提出、明治四十年法律第二十一號中改正法律案ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

日程第五、東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ各特別會計合併ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス

第五 東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ各特別會計合併ニ關スル法律案

第一讀會

府提出

東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ各特別會計合併ニ關スル法律案

併ニ關スル法律案

東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ各特別會計ハ之ヲ合併シテ陸軍造兵廠特別會計トシ陸軍作業會計法ニ依ル前項ノ規定ノ適用ニ關シテハ陸軍作業會計法中東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ニ關スル規定ハ之ヲ陸軍造兵廠ニ關スル規定トス

附則

本法ハ大正十二年度分ヨリ之ヲ適用ス

大正十一年度末ニ於テ東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ各特別會計ニ屬スル固定資本、据置運轉資本及收入支出ノ未済額ハ各之ヲ陸軍造兵廠特別會計ノ固定資本、据置運轉資本及收入支出ノ未済額トス

東京砲兵工廠及大阪砲兵工廠ノ各特別會計ノ大正十一年度豫算中翌年度ニ繰越ヲ要スルモノハ之ヲ陸軍造兵廠特別會計ニ繰入ルヘシ

〔國務大臣山梨半造君登壇〕

○國務大臣(山梨半造君) 只今日程ニ上リマシタ法律案ノ概要ノ說明ヲ致シマス、御承知ノ通り砲兵工廠ハ二箇所ニアリマス、即チ一ハ東京、一ハ大阪ニ分レテ各別ノ特別會計ヲ立テマシテ、作業ヲ經營シテ居ル次第アリマス、デ會計ガ別ニナラ居ルガ爲ニ、資本ノ運用上、又作業上ノ諸材料ヲ調達致シマスル上ニ、其他種々ノ點ニ於キマシテ不利不便ガ少ナカラヌデアリマス、其故ニ此一ツノ砲兵工廠ヲ合併致シマシテ、其資本ヲ合一用シテ、又作業ニ要シマスル所ノ諸材料等ヲ一層經濟的ニ調達ヲ致シ、又組織設備等ヲ統一一致シマシテ、作業ノ經營ヲ圓滑ニスル必要ヲ認メマシタ故ニ、本案ヲ提出シタ次第アリマス、何卒御審議ノ上御協賛アランコトヲ切望致シマス(拍手)

○副議長(粕谷義三君) 日程第六、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○高見之通君 委員ノ數ハ九名トシ、議長ニ於テ指名セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、日程第七、明治四十年法律第二十一號中改正法律案第一讀會ノ續キヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求マス、委員長海江田準一郎君

明治四十年法律第二十一號中改正法律案

(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)(確定議)

〔海江田準一郎君登壇〕

報告書

一明治四十年法律第二十一號中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段報告候也

大正十二年二月三日

明治四十年法律第二十一號中改正法律委員長 海江田準一郎

衆議院議長 奧繁三郎殿

○海江田準一郎君 明治四十年法律第二十一號中改正法律案ノ委員會ハ、滿場一致原案通り可決シタ次第デゴザイマス、今其經過ヲ至極簡單ニ御報告申上ゲマス、本案ハ御承知ノ通り去二十五日本會議ニ於キマシテ、永井樺太長官ノ說明サレタ如ク、至テ簡單ナ問題デゴザイマス、ソ

レハ從來樺太ニ於キマシテハ漁業料トシテ徵收シ來タノヲ、今回漁業稅ニ改メルノデゴザイマス、即チ樺太ノ租稅ノ項目ノ中ニ、漁業稅ノ一項目ヲ追加セントスルノ改正法律案デゴザイマス、而シテ其改正ト同時ニ、政府ハ從來ノ漁業料千分ノ七十ヲ千分ノ五十二ニ輕減セラレルノデゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ鶴澤宇八君、松實喜代太君等ヨリ色々ノ質問ガアッタノデゴザイマス、是ハ速記録ヲ御承知ヲ願ヒタウデゴザイマス、唯、併シ茲ニ一言適切ナル質問ナリト思フノヲ申上ゲテ見タイノデゴザイマス、ソレハ此漁業料ノ千分ノ七十ヲ千分ノ五十二ニ輕減スルコトハ至極宜シイガ、稅目ニナルト町村ノ附加稅ヲ課シテ、其結果ハ却テ漁業者ノ負擔ガ過重シヤシナイカト云フ質問ガアッタノデゴザイマス、併シ政府ニ於キマシテハ、樺太ニ於テハ當分町村稅ノ附加稅ハ課セナイト云フ御答ガアッタノデゴザイマス、次ニ田邊熊一君ヨリ炭田開發ニ關スル適切ナル希望ノ御意見ガアッタノデゴザイマス、是モ速記録ニテ御承知ヲ願ヒタウデゴザイマス、以上ノ次第デゴザイマシテ、無事委員會ハ可決致シマシタガ、本會議ニ於キマシテモ、何卒御協賛アランコトヲ希望致シマス(拍手)

○高見之通君 本案ハ讀會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 高見君ヨリ讀會省略ノ動議ガ出マシタ、之ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ讀會ハ省略セラレマシタ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告通り可決確定セラレマシタ、次ニ日程第八、農業組合法案ノ第一讀會ヲ開キマス、土井權大君

第八 農業組合法案(土井權大君提出)

第一讀會

農業組合法

第一條 本法ニ於テ農業組合ト稱スルハ小作條件ノ維持改善、組合員ノ共濟慰安其ノ他共同利益ノ保護増進ヲ目的トシテ設立シタル農業従事者三十人以上ノ團體ヲ謂フ

第二條 農業組合ハ法人トス

第三條 農業組合ノ名稱中ニハ農業組合ノ文字ヲ用ウヘシ

農業組合ニ非シテ其ノ名稱中ニ農業組合タルコト

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告通り可決確定セラレマシタ、次ニ日程第八、農業組合法案ノ第一讀會ヲ開キマス、土井權大君

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告通り可決確定セラレマシタ、次ニ日程第八、農業組合法案ノ第一讀會ヲ開キマス、土井權大君

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告通り可決確定セラレマシタ、次ニ日程第八、農業組合法案ノ第一讀會ヲ開キマス、土井權大君

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告通り可決確定セラレマシタ、次ニ日程第八、農業組合法案ノ第一讀會ヲ開キマス、土井權大君

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告通り可決確定セラレマシタ、次ニ日程第八、農業組合法案ノ第一讀會ヲ開キマス、土井權大君

ヲ示ヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第四條 農業組合カ組合員ノ共濟慰安其ノ他共同ノ利益ヲ増進スル目的ヲ以テ事業ヲ營ム場合ニ於テハ保險業法及産業組合法ヲ適用セス

第五條 農業組合ニハ所得稅營業稅ヲ課セス

組合ノ爲ス行爲ニ付テハ登錄稅ヲ課セス
組合ト組合員トノ間ノ法律行爲ニ關シテハ印紙稅ヲ課セス

第六條 農業組合ノ代表者ハ組合設立ノ日ヨリ二週間内ニ組合規約ヲ添ヘ主タル事務所所在地ノ地方長官ニ届出ツルコトヲ要ス

第七條 農業組合ノ規約ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 名稱

二 目的

三 主タル事務所

四 地域

五 組合員ノ資格ニ關スル規程

六 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規程

七 組合員ノ總會其ノ他ノ會議ニ關スル規程

八 組合ノ代表者其ノ他ノ役員ニ關スル規程

九 組合費ノ加入金及會計ニ關スル規程

十 組合財産ノ管理ニ關スル規程

十一 組合ノ目的タル事業ニ關スル規程

十二 組合規約ノ變更ニ關スル規程

第八條 農業組合ノ登記スヘキ事項左ノ如シ

一 第七條第一號乃至第四號

二 設立ノ年月日

三 理事ノ住所氏名

四 監事ヲ置キタルトキハ其ノ住所氏名前項ノ事項中變更ヲ生シタルトキハ一週間内ニ其ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第九條 理事及監事ハ必要アルトキニ限リ組合員ニ非サル者ヨリ之ヲ選舉スルコトヲ得

第十條 民法第四十四條、第四十五條、第四十八條、第五十條、第五十二條乃至第七十條、第七十二條乃至第八十四條ノ規定ハ農業組合ニ之ヲ準用ス但シ總會ニ付テハ組合規約ノ定ムルトコロニ依リ組合員中ヨリ選舉シタル代議機關ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ總會ニ關スル規程ハ之ヲ代議機關ニ準用ス

第十一條 農業組合ハ合併ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ハ民法第十九條ノ規定ヲ準用ス

農業組合カ合併ヲ爲シタルトキハ二週間内ニ於テ合併後存続スル組合ハ變更ノ登記ヲ爲シ又合併ニ因リテ消滅シタル組合ハ解散ノ登記ヲ爲シ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ設立ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

農業組合カ合併ヲ爲シタルトキハ合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第十二條 地主ハ小作人カ農業組合ノ組合員タルノ故ヲ以テ小作契約ヲ解除シ又ハ組合ニ加入セス若ハ組合ヨリ脱退スルコトヲ小作條件ト爲スコトヲ得ス

第十三條 農業組合ハ毎年一回組合ノ事業並財產ノ狀況ニ關シテ地方長官ニ報告ヲ爲シ併テ之ヲ公告スヘシ

第十四條 農業組合ノ役員選舉又ハ決議ニシテ法令又ハ組合規約ニ違反スルトキハ地方長官ハ其ノ取消ヲ命スルコトヲ得

第十五條 第六條ノ場合ニ於テ地方長官ハ組合規約カ法令ニ違反スルト認ムルトキハ其ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十六條 前二條ノ地方長官ノ處分ニ對シ不服アルトキハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十七條 農業組合解散シタルトキハ他ニ特別ノ規定アル場合ノ外第六條ノ手續ニ依リ地方長官ニ届出ツルコトヲ要ス

第十八條 農業組合ハ組合相互ノ氣脈ヲ通シ其ノ目的ヲ達スル爲メ農業組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

農業組合聯合會ハ他ノ農業組合聯合會ニ加入スルコトヲ得

第十九條 農業組合又ハ農業組合聯合會カ農業組合聯合會ニ加入シ又ハ脱退セムトスルトキハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十條 農業組合ニ關スル規定ハ農業組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第二十一條 第六條及第十七條ノ届出若ハ第十三條ノ手續ヲ爲サス又ハ第十四條ノ命令ニ違反シタルトキハ組合ノ代表者其ノ他ノ役員ヲ各五十圓以下ノ過料ニ處ス其ノ届出又ハ手續ヲ爲サスモ實ヲ以テセザルトキ亦同シ

第二十二條 第十二條ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第二十三條 農業組合ノ役員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス賄賂ノ交付、提供又ハ約束シタル者亦同シ

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價格ヲ追徴ス

第二十四條 第三條第二項ノ規定ニ違反シタルトキハ五十圓以下ノ過料ニ處ス

第二十五條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ本法ノ過料ニ之ヲ準用ス

附則

本法ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前ニ設立シタル農業組合ハ本法施行後四週間内ニ第六條ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

農業組合ノ登記ニ付テハ産業組合法附則ヲ準用ス

(土井權大君登壇)

○土井權大君 農業組合法案ノ説明ヲ致シマス、是ハ昨年國民黨ノ案トシテ提案ニナリタリマス、其當時續々説明ヲ致シテ置キマシタガ爲ニ、今日ハ極テ簡單ニ要領ヲ申上ゲタイト思ヒマス、御承知ノ通り本年ハ各政黨政派ヨリ農村振興上ニ關スル熱心ナル問題ガ提案サレタコトデアリマス、寔ニ同慶ノ至リニ堪ヘマセヌ併ナガラ其論議サレテ居ル所ハ、負擔ノ輕減若クハ地租ノ委讓、要スル所當面ノ問題デアリマス、又政府ニ於カセラレマシテモ、農村問題ニ付テハ種々ノ研究ヲサレツ、アルコトモ承知致シテ居リマス、ソレハ土地ノ保護若クハ土地ノ利用ニ關スル事ニ重キヲ置イテ居ラレドデアリマス、言葉ヲ換ヘテ言ヒマスナラバ、何故ニ今日ノ如ク農村ガ困憊疲弊シタカ、其原因ニ付テノ研究ト云フコトガ、或ハ缺ケテ居リハスマイカト私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)農村困憊ノ其原因ハ何レニ在ルカト申セバ、即チ産業革命ニ私ハ原因致シテ居ルモノト確信致スノデアリマス、御承知ノ通り鐵ノ利用、蒸氣ノ利用、電氣ノ利用、是等ノ利用ニ依リマシテ、大キナ機械大キナ資本、是等ガ勝利ヲ得ルコトニ相成ツタガ爲ニ、ソレガ原因ト致シテ農村ノ所謂家族ノ自給自足ノ經濟政策、否經濟ノ組立ト云フモノガ打壞サレテシマタノデナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、丁度三十年モ五十年モ前ノ農村ト申シマスモノハ、御承知ノ通り己ノ家ニ於テ米麥ヲ作り、醬油モ造リ味噌モ造リ、酒モ造リ、煙草モ造リ或ハ著物モ造リ、悉クノ物ガ家族ノ自給自足デアッタノデアリマス、所ガ産業革命ノ結果、即チ大キナ機械、大キナ資本、鐵、蒸氣、電氣ノ利用ノ爲ニ、ソレ等ノ仕事ト云フモノ、ソレ等ノ經濟組織ト云フモノヲ奪去ラレタノデアリマス、ソレガ即チ困テ居ル原因デアナイカ、抑、農村ノ

困テ居ルノハ米ガ高イトカ安イトカ、或ハ負擔ガ重イトカ輕イトカ、ソレ等モ原因デアリマセウケレドモ、更ニ沿革のニ研究シマス、家族のノ自給自足ト云フ經濟組織ヲ畜ハレタ、是ガ最大原因デアリカト私ハ考ヘルノデアリマス、ソコデ吾々ハ此際農民ヲシテ如何ニ自覺セシムルカ、彼等ハ既ニ自給自足ノ經濟ヲ畜ハレテ居ルノデアアル、如何ニシタナラバ之ヲ復舊セラレカト云フコトヲ、農民ヲシテ自覺セシムル必要ガアルト私ハ考ヘルノデアリマス、ソコデ如何ナル事ヲシテ自覺セシメルカト申セバ、立法的のニモ色ニアルデアリセマウ、又其他ノ方法モ色ニアルデアリマセウケレドモ、彼等ヲシテ如何ナル方法ヲ以テ一致協同ノ精神ヲ持タシムルカ、一致協同ノ精神ヲ以テマシテ、團體的の自給自足ト云フ所ノ經濟組織ニセシムル必要ハアルマイカト斯ウ考ヘルノデアリマス、昔ノヤウニ一軒一戸ニ於テ自給自足ノ事ハ今日ハ出來マス、故ニ團體的の自給自足ヲ講ズルノ方法ヲ講ズル必要ガアルト斯ウ私ハ考ヘル、即チ茲ニ組合ヲ造リマシテ、總テノ生産ヲスル點ニ於テモ團體的のニスル、能ク此肥料ノ國營、肥料ノ專賣ナドノコトヲ本會ニ於テ論議サレカ方ガアリマス、左様ナ事ヲ致サズトモ、專賣トク或ハ官營トク云フコトヲ致サズトモ、彼等ガ一ツノ組合ヲ造リ、團體ヲ造リ、而シテ此化學的肥料、即チ窒素、燐酸加里、是等ノモノヲ彼等團體ニ於テ之ヲ造ラナラバドウデアアルカ、其他若物ニ致シマシテモ、或ハ醬油ニ致シマシテモ、家族のノ自給自足ガ或ハ今日ノ時勢ニ合ハナイトスレバ、團體的の自給自足ガ必要デアアル、ソレニハドウシテモ組合ト云フ所ノ組立ヲ造ル必要ガアル、斯ノ如ク致シマシタナラバ、自然彼等農民ノ生活費ノ輕減ト相成ルコト、思フノデアリマス、又進シテハ此共同の作業、或ハ共同の生産、又共同の購入、共同のノ販賣ソレ等ノ事例ハ申シマセヌ、事例ハ申シマセヌ、斯ノ如ク致シマシタナラバ、自然ト生産費ノ輕減ト云フコトヲ來サシメハシナイカト思ヒマス、即チ共同の作業、共同の生産ニ依リテ農産物生産費ノ輕減ヲ圖ル、是ハ私ハ第二ノ問題デアルト思フ、第一ハ生活費ノ輕減、第二ハ生産費ノ輕減、更ニ肥料ヲ買フト致シマシテモ共同の購買、又農産物ヲ販賣致スト致シマシテモ、之ヲ共同販賣スル、斯ノ如ク致シマシレバ、自然ニ冗費ノ節減ト云フコトニ相成ルデアラウト考ヘルノデアリマス、是等ハ斯ノ如キ團體ノ力、組合ノ力ニ依ラナケレバ、其效ヲ奏スルコトハ出來ナイモノト考ヘルノデアリマス、更ニ進シテ農村振興ノ問題トシテハ、各種アルデアリマセウカ、特ニ此團體ノ力ニ依リマシテ、副業ノ獎勵、土地ノ開拓及改良、耕作法ノ改良肥料ノ改良、農具ノ改良、斯ノ如キコトニ致シマシレバ、自然ト農付ノ收入ガ増加スルモノナリト私ハ考ヘルノデアリマス、斯ク團體ノ

力ニ依リマシテ、只今申シマシタヤウナ事ヲ致シマシタナラバ、農村ノ生活ハ自然ト安定ニナリ、思想モ亦自然ニ良方ニ導クコトガ出來ル、又農村ノ美風ヲ維持スルコトモ出來ルト私ハ考ヘルノデアリマス、ドウ致シマシテモ今日ノ農村ニ於キマシテ、如何ニシタナラバ彼等ガ共同一致ノ下ニ樂シク仕事ノ出來ルカ、天ノ時ハ地ニ利ニ如カス、地ノ利ハ人ノ和ニ如カズ、此三ツノ天地人三才ヲ應用スルヨリ外私ハ途ハ無イト考ヘマス、ソコデ農業組合法案ノ理由書ニモ書イテアリマス、斯ウ云フ理由ヲ認メテ居ル、小作爭議ノ頻發、都市集中ノ流行、農村中堅階級ノ滅亡ハ農村ニ於ケル現下ノ趨勢ニシテ其ノ原因ハ農民ノ生活不安ニ基キヤ明ナリ今ニシテ農業の經濟組織ヲ更新シ彼等ヲシテ共同一致ノ下ニ或ハ共濟慰安ノ計ヲ爲サシメ或ハ共同利益ヲ増進セシメ或ハ小作條件ノ維持改善ヲ爲サシメ或ハ勞資ノ協調ヲ爲サシムルニ非サレハ農村ノ滅亡ヲ來シ途ニ産業ノ基礎ヲ破リ食糧ノ缺乏ヲ來シ國家ヲ危殆ニ陥ラシムルヤ必セリ之ヲ豫防シ農村ノ維持確立ヲ圖ルノ目的ヲ以テ農業組合ヲ設立セシムルハ現下ノ急務ナリト認メ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ、斯ウ云フ理由書ニ相成テ居リマス、所ガ往々産業組合ハ斯ノ如キ仕事ヲ致シテ居ルガ故ニ、最早農業組合ノ如キモノヲ造ル必要ハナカラウカト云フ、斯ウ云フ御意見ヲ持タル、方ガアルノデアリマス、固ヨリ日本ニ産業組合ハ御承知ノ通り一萬三千三百、組合員ノ數ハ二百五十萬アリデアリマス、所ガ是ハ譯譯の、直譯の、經濟組織デアリマシテ、非常ニ煩雜ナル手續ガアルノデアリマス、故ニ農村ニハ餘リ向カナイデアアル、不向デアアル總テ縣廳デアルトカ、農商務省デアルトカ、或ハ大藏省ガ色ニノ手續ノ事バカリ申シマシテ農民ハ其手續ノ煩雜ナルガ爲ニ、此組合ノ發達ヲ圖ルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ狀態ニ相成テ居リマス、又其區域ナドモ或ハ一部落、或ハ一町村ニ限ルト云フガ如キ均子定木ノ事ヲ申シマス、ソレガ故ニ本會ニ此農村ノ從來ノ美風、從來ノ習慣等ヲ産業組合ニ依リテ維持シ、發展セシムルト云フコトガ出來ナイノデアアル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、此産業組合ハ認可主義ニテ居リマスガ爲ニ、非常ニ不便デアアル、又農民ハ斯ノ如キ不便ナルコトヲ好ンデヤラナイ、斯ウ云フ狀態デアリマス、ソレガ爲ニ三産業組合ノ數多シト雖モ、萎靡トシテ振ハナイ、色ニ振ハナイ原因モアリマスガ、一ツハ此認可主義、一ツハ餘リ煩瑣ナル手續ガ多イカラデアリマス、ソコデ吾々ノ提案致シテ居リマス農業組合ハ、認可主義ニ非ズシテ自由主義デアアル、商事會社ノ經營ヲスルガ如ク、範圍モ自由デアアル、仕事モ自由デアアル、併ナガラ主務官廳其他縣廳トシテハ相當ノ取締ヲ致シマス、或ハ地主ト争フガ如キ、喧嘩ヲスルガ如キ目的ニ出デタナラバ、其組合ヲ停止スル斯

ウ云フコトニ相成テ居ル次第デアリマス、餘程産業組合ヨリモ一歩進シタ所ノ經濟組織ナリト確信致シテ居ルノデアリマス、何卒御贊同アラシコトヲ願ヒマス

○高見之通君 本案ハ安達謙藏君外四名提出ノ農村振興ニ關スル建議案外一件ノ委員ニ、併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕下呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ。日程第九、水先法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、阪上貞信君

第九 水先法中改正法律案(阪上貞信君提出)

水先法中左ノ通改正ス

第三條中第一號ヲ削リ第二號ヲ第一號ニ改メ以下順次線上

(阪上貞信君登壇)

○阪上貞信君 只今日程ニ上テ居リマス水先法中改正法律案ハ、昨四十五議院ニ於キマシテ、本院ヲ通過致シテ居ルノデアリマス、而シテ貴族院ニ於キマシテ、會期切迫ノ爲ニ本案ハ審議未了ニ終ラシメテ居リマス、故ニ今期再ビ茲ニ本案ヲ提出致シマシテ、皆サンノ御同意ヲ仰ガントスルノデアリマス、簡單ニ提出ノ理由ヲ述ベマシテ、御贊同ヲ得タイト思フノデアリマス、本法ハ明治三十三年ノ制定ニ係ル所ノ法律デアリマシテ、其第三條ニ於テ、年齡滿二十三年ニ達セザル者及滿六十年以上ノ者ト云フ制限ガアルノデアリマス、即チ二十三年カラ六十年迄ハ水先人トシテ業務ヲ營ムコトガ出來ルガ、六十歳ニ達スレバ直ニ其免狀ヲ返付セナケレバナラヌト云フコトニナラシメテ居ルノデアリマス、此制限ニ付テ私ハ法制統一ノ上カラ見マシテモ、總テノ點カラ考ヘマシテモ、最モ不適當ナル所ノ制限デハナカラウカト感ズルノデアリマス、此法律ガ出來マシタ當時ニ於テ、何故ニ斯ノ如キ制限ヲ設ケテカト云フト、是ハ一ノ政略上ノ立法デアリマス、當時我國ニ於テハ外國人水先人ト云フモノガ多ク居タノデアリマス、然ルニ本法ヲ制定致シマシテ、總テノ水先人ヲシテ内地人ニ此水先業務ヲ營マシメルト云フ考カラシテ、ドウシテモ外國人ノ水先人ハ之ヲ罷メサセナケレバナラヌト云フ必要ガ生ジテ來タノデアリマス、爲ニ此法律ニ於キマシテ、外國人ニ對スル所ノ水先人ニ制限ヲ設ケナケレバナラナカ、タノデアリマス、國際上ノ關係ガアリマスルガ故ニ、直ニ之ヲ罷メサスト云フコトニハ參ラヌ、是ニ於キマシテ附則第三十條ニ於テ「此法律施行後五年間ヲ限リ主務大

臣ハ第二條第一號ノ規定ニ拘ラス水先免狀ヲ授與スルコトヲ得下云フ規定ガ設ケラレテアルノデアリマス而シテ又此滿五年ヲ經過致シマシテモ德斯、尙ホ外國人ニ對スル所ノ所謂水先人ニ對シテハ、營業ヲ繼續シ得ルコトガ出來ルト云フ規定ガ、更ニ第三十三條ノ未項ニ規定サレテ居ルノデアリマシテ、斯様ニ致シマシテ外國人ハ何時迄モ我國ニ於テ水先業ヲ營ムコトガ出來ルト云フコトニテ、テ參シテデアリマス、茲ニ於テドウシテモ之ヲ制限シナケレバナラヌト云フ必要カラシテ、只今申上ゲタ通り六十年ニ達スレバ當然内外人ヲ問ハズ、總テ免狀ヲ返付シナケレバナラヌト云フ規定ヲ設ケテ、此外國人水先人ヲ排斥スル所ノ規定ガ設ケラレタモノデアルト思フデアリマス、斯様ナ理由ニ依リマシテ、即チ政略上ノ立法カラハ是ハ設ケラレタノデアリマスルガ故ニ、此規定ガ偶、内地人ノ水先人ノ爲ニ非常ナル不利益ヲ生ジテ來タノデアリマス、即チ内地人ハ滿六十年ニ至ラズシテ一六十年ト云フ規定デアリマスカラ大抵五十七八歳ニシテ其職ヲ退カケレバナラヌト云フコトニテ參シテデアリマス、是ハ海ニ私共今日經濟上總テノ點カラ考ヘマシテ、此水先人業務ト雖モ矢張自由競争ニ支配サレル所ノモデアリマスカラ、苟モ一旦法律ガ認メテ其免狀ヲ交付シテ資格ヲ有シタル所ノ者ガ、或ル一定ノ年限ニ達スレバ直ニ其職ヲ退カケレバナラヌト云フコトハ、是ハ甚シキ立法ノ一ノ弊害デアルト考ヘル、即チ醫師ニ致シマシテモ、或ハ藥劑師ニ致シマシテモ、或ハ獸醫ニ致シマシテモ、或ハ機關士ニ致シマシテモ、苟モ免許制度ヲ設ケテ一度人ニ免狀ヲ交付シテ居ルモノニ限リテ其免許ヲ受ケタル者ガ一定ノ年限ニ達スレバ當然其職ヲ罷メナケレバナラヌト云フ法制ハ、我國ノ法制ノヒニ於テ一ツモ無イノデアリマス、獨リ此水先人ニ限リテ斯ノ如キ制限ノ規定ヲ設ケタルト云フコトハ、立法ト甚シキ弊害デアリナカト思フ、或人ハ六十年ニ達スレバ最早身心ガ老衰シテ、是ガ爲ニ水先人ノ如キ最も貴重ナル人命ヲ預カル所ノ此職務ニ堪ヘザルガ爲ニ、法ハ斯ノ如キ規定ヲ設ケタモノデアリマス、テ居リマスガ、私ハ水先人ノ如キ業務デアアルガ故ニ、經驗益、豐富ニシテ、而シテ其技術ト云フモノガ最も老熟シテ來ナケレバナラヌ、老熟シテ初テ其職務ヲ十分ニ執行シ得ルコトガ出來ルモノダラウト考ヘルノデアリマス、技能開熟或ハ經驗豐富ナル所ノ水先人ハ、ドウシテモ相當ナル年齢ニ達シナケレバナラヌト云フコトハ申サマデモナイ、然ルニ只今申上ゲタヤウナ風ニ、是ガ一定ノ年齢ニ達スルト云フ爲ニ、職ヲ退カケレバナラヌト云フコトハ、甚ダ謂レナイコトデアラウト思フデアリマス、ソレカラ又二十三年以上ト云フコトデアリマスルガ、是ハ別段ニ法律ヲ以テ此規定ヲ設ケル必要ハナカラウトカト思フ、ソレ

ハ何デアアルカト云ヘバ、明治三十二年ノ逓信省令第三十四號ノ水先人試驗規程第三條並ニ船舶職員試驗規程ガアリマシテ、滿二十三歳ニ達セザル者ハ所謂水先人トナルコトガ出來ナイト云フ規定ニテ居ルノデアリマス、故ニ法律ハ別段此水先法ヲ以テ二十三年以上ト云フ制限ヲ爲スベキ必要ハナイノデアリマス、即チ此船舶職員規程ニ依テ當然制限サレテ居ルノデアリマスルガ故ニ、別段斯ウ云フ重複シタル規定ヲ設ケル必要ハナカラウト考ヘルデアリマス、大體斯様ナル理由デアリマシテ、此法律ハ法制ノ統一ノ上カラ見マシテモ、或ハ人ト云フモノニ對シテ一旦附與シタル權利ヲ、故ナク消滅セシメルト云フヤウナコトハ、今日ノ進歩シタル法律ノ上カラ見レバ、甚ダ宜シクナイト云フ考カラ、吾々ハ本案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス、詳シイ事ハ委員會ニ於テ尙ホ申上ゲマヌルカラ、ドウカ滿場ノ御賛同ヲ得タイノデアリマス(拍手)

○高見之通君 本案ハ木下甚三郎君提出、電信線電話線建設條例第六條ニ依ル手當金増額ニ關スル建議案外一件ノ委員ニ併セ付託アラント望ミマス

〔贊成〕下呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニハ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第十乃至第十二同種ノ議案デアリマスルカラ、一括シテ議題ニ供スルコトニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕下呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナイト認メマス、仍テ一括シテ議題ニ供スルコトニ致シマス、各案毎ニ提出者ノ趣旨辨明ヲ求メマス、日程第十、恩給法改正ニ關スル建議案、提出者高木正年君外二名——高木正年君

第十 恩給法改正ニ關スル建議案(高木正年君外二名提出)

恩給法改正ニ關スル建議案

現行官吏恩給法及軍人恩給法ハ執レモ明治二十三年ノ制定ニ係リ其ノ後數次ノ改正ヲ爲スト雖一時ノ彌縫ノ如キハ甚ダ低クシテ物價ノ暴騰セル今日ノ狀勢ニ適セス故ニ政府ハ疊ニ帝國議會ニ於テ其ノ根本改正ヲ明言セラレタルコトアルニモ、拘ラス未タ何等提案ナキヲ遺憾トス蓋恩給ハ恩惠の給與ニ非スシテ現職中職務ノ爲喪失シタル經濟上ノ能力ヲ填補シ又增加恩給ノ如キハ軍務ノ爲受ケタル傷害ニ對スル賠償トシテ政府ハ之ニ要スル費目ヲ支出スル義務アルモノニシテ恩惠の又ハ不生産

ノ費目ナリトシテ看過スヘキモノニ非ス若夫レ歐米諸國ノ恩給ト我カ國ノ恩給トヲ比較スルトキハ我カ國ノ恩給ハ著シク低位ニ在リ政府ハ宜シク速ニ之ヲ改正スヘシ右建議ス

第十一 文武官並巡查看守等恩給增額ニ關スル建議案(横田千之助君外十一名提出)

文武官並巡查看守等恩給增額ニ關スル建議案

文武官並巡查看守等恩給增額ニ關スル建議案

現行法ニ據ル恩給額ハ近時ノ物價ニ比準セザルヲ以テ之ヲ增額シテ軍人恩給ニ對シテハ格別ノ考慮ヲ加フルノ要アリト認ム政府ニ於テ速ニ適當ノ途ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第十二 恩給法改正ニ關スル建議案(三浦得一郎君提出)

恩給法改正ニ關スル建議案

恩給法改正ニ關スル建議案

現行官吏恩給法及軍人恩給法ハ執レモ明治二十三年ノ制定ニ係リ其ノ後數次ノ改正ヲ爲スト雖一時ノ彌縫ノ如キハ甚ダ低クシテ物價ノ暴騰セル今日ノ狀勢ニ適セス依テ速ニ根本的改正アラムコトヲ望ム

右建議ス

〔高木正年君登壇〕

○高木正年君 此建議案ハ大正九年以來殆ド引續イテ提出致シテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ成ヘク言語ヲ約メテ皆様ノ御迷惑ヲ買ハヌ考デアリマスケレドモ、特ニ申サベキ事ヲ申上ゲテ皆様ノ御賛助ヲ受ケタイト思フノデアリマス、恩給法ノ改正ノ建議ハ、管ニ恩給者ノ要求ヲ充ス爲ニ吾々ガ申スノデアリマス、財政及行政ノ改革ノ廣キ場面ニ互フテ、多クノ關係ヲ有スル一ツノ改革ノ爲ニ要求スベキ重大ナル問題デアルト云フコトハ、特ニ御承知ノ事デアラウト思フノデアリマス、此改正ニ付キマシテハ、昨日皆様ノ手許ニ政府ハ恩給法案ナルモノヲ提出シテアルノデアリマス、此恩給法案ヲ政府ガ提出スル以上ハ、吾々ノ建議ハ無用ナリト考ヘラル、諸君ガアルカモ知ラヌノデアリマスルガ多年ノ要求デアアル恩給法改正ハ、政府ハ提出シタケレドモ、其内容ニ於テ議會ノ要求シタル實質ハ、確ニ此法案ニハ缺イテ居ルノデアリマス、此法案ノ提出前ニ於キマシテ、先ツ吾々ガ主張ヲ國民ニ訴ヘルト云フコトハ、極メテ必

要ナ事柄アルト信ズルガ爲デアリマス、恩給ハ只今申上ダ
マシタ如ク、吾々ガ年々歳々主張シ來ル所ノ豫算ノ各項目ニ
互リ、行政萬般ニ互テ忠實ニ是等ノ職務ヲ執ル者ガ之ヲ行
ヒ得ルカ得ザルカノ點ニ於キマシテハ、確ニ此法ニ缺點ガア
ルト否トニ於テハ、政治ノ上ニ徹底ノ缺點ト云フコトハ自カラ
來ルベキ所ノ結論デアルト思ハナケレバ、ナラヌデアリマス、殊
ニ財政行政ノ上ニ互テ改革ヲ要シ、特ニ豫算ノ削減ヲ
要スベキ今日ニアラズ、先以テ恩給法ノ改善ヲ望ムコト置カ
ナケレバ、此改革ナルモノガ遠慮ナク各種ニ互テ手腕ヲ揮
フト云フコトガ實際ニ於テ出来ナイデアリマス、今や國民
負擔ノ軽減ヲ叫ブ時ニ於テ、恩給法ノ改正ニ依テ、尙ホ幾
何カノ國費ヲ要スルト云フコトハ極テ矛盾ノ事柄ノヤウニ
考ヘラレマスケレドモ、畢竟今日豫算ノ上ニ互テ各種ノ改
革ヲ爲シ得ザル點ハ何デアルカト云フコト、是ガ爲ニ負擔スベ
キ所ノ官吏、文官及武官ノ上ニ互テ聊カ躊躇セザルベカラ
ザル事情ガ存スルト云フコトハ、畢竟是等ノ在官者ノ上
ニ對スル恩給法ガ完全デアナイト云フコトガ、一ツノ主要點ニ
ナラズ居ルト云フコトハ見通スコトノ出来ナイ事柄デアルト
謂ハネバナラヌデアリマス、ソレガ爲ニ一時國費ニ若干ヲ
要スル事柄ナリト雖モ、此要スベキ金額ヨリモ、密口豫算ノ
款項ニ互テ改革スベキ事柄ガ極テ多イモノデアルト云フ
民負擔ノ上ニ輕減スベキ事柄ガ極テ多イモノデアルト云フ
コトヲ信ゼネバナラヌデアリマス、先ヅ武官ノ上ニ於キマス
ル恩給ノ點ニ於テ改革スベキ點ヲ申シマシレバ、從來ノ恩給
ハ、殊ニ議會ノ叫ビヲ大ニシタル所ノ增加恩給及扶助料ノ
點ニ於テハ、政府ノ提出シタル恩給法ノ上ニ於キマシテハ、
大體我意ヲ得タルモノト之ヲ謂ハネバナラヌ、然ルニ一般ノ
文官恩給ニ至ラズ、恩給法ノ改正ハ政府ガ此通り提出シ
テ居ルケレドモ、之ニ伴フ所ノ武官ノ恩給表ト云フモノハ、
少シモ之ヲ改革サレナイデアアル、恩給法案其モノハ稍、完
全ニ出来テ居リマスケレドモ、文官ノ點ニ於キマシテモ矢
張從來通り四分ノ一ノ金額ニ其恩給額ヲ止メテ居ル、武
官ニ於キマシテハ別表ヲ改正セザル爲ニ、此改正案ハ更ニ
文官武官ノ上ニ其改正ヲ及ボサナイト少シモ變ラヌヤウナ
實際ニナラズ居ル、武官ノ恩給ハ極テ其數ガ多ク其金額モ
亦増加スベキ點ニ於キマシテ少シトハ言ハナイ、併ナガラ是
ハ恩給ヲ受クベキ武官其者ノ自ラ招イタ事デアリ、陸軍
ノ改革或ハ師團増設ノ事ガアリ、或ハ部隊増設ノ事ガアル
其場合ニ於テ、兵數ヲ殖スヨリモ寧ロ佐官以上ノ數ヲ殖シ
テ居ル、是ハ今日陸軍ノ實際デアアル恩給ハ國民一般ニ受ケ
ルモノデアリマスケレドモ、徵兵ニ依テ出ツル所ノ兵士ノ上ニ
於テ恩給ヲ受クル者ハ戰爭ノ場合ニ依テ若クハ、戰爭ア
テモ僅カ一時ノ戰爭ハ未ダ恩給ニ達シナイ者ガ多イ要ス

ルニ將校下士ノ上ニ多イデアリマス、是ハ代々ノ政府ガ
自ラ招イタ結果デアルト言フテモ宜シイ、陸軍ノ師團ハ或ハ
二個ヲ増設シ、或ハ部隊ヲ増設スル更ニ軍事當局ガ、或時
ニ於キマシテハ現在ノ師團ヲ倍數ニスル、或ハ莫大ナル所ノ軍
團ノ設立ヲ希望スルト云フ上カラ、其場合ニ適用シ得ラ
ルヤウニ將校ヲ殖シテ置ク、士官ヲ殖シテ置クト云フ現在ノ狀
況ニナラズ居ル、ソレガ爲ニ一朝廷恩給問題ニナルト、金額ガ多
イト云フコトガ至難ノ點ニナルガ、是ハ軍人自身ニ招イタ
デハナイ、内閣ガ政策ヲ誤レル結果、就中軍事當局ノ隱レタ
ル政策ガ此累ヲ爲シテ居ル實際ニナラズ居リマス、又軍人恩
給ノ内容ニ付テ考ヘテ見マス、實際今日ノ恩給額ハ舊
ニ物價ノ騰貴ノ今日ノ時代ニ合ハナイ許リデナイ、抑、其出
發點ヲ誤ラズ居ルノ結果、在郷軍人トシテ其資格ヲ完ウシ
テ、一朝事有ル時ニ臨ンデ、國民皆兵ノ實ヲ舉グルト云フマ
デ、ナクモ、幾何カノ動員アツタ後ニ在郷軍人ヲ召集シテ留守
師團ナリ、若クハ其位ノ師團ノ活動ヲ爲ス場合ニ於テ、平
生其資格ヲ失ハズシテ、軍人タルベキ面目ヲ保持シ、而モ專
門ノ技術ヲ在郷軍人トシテモ、尙ホ心懸ケテ、之ヲ研究シテ
置クト云フコトニ付キマシテハ、今日ノ恩給額ハ、是等
ノ要求ヲ充シ得ベキ實際デアリ、殊ニ甚シキニ至ラズ、除
ニ在郷軍人自己ノ從卒トシテ使ツタ者ノ中ニ、在郷軍人トナルト
キハ或ハ聯隊長若クハ大隊長ガ其從卒ノ膝下ニ跪イテ救
助ヲ乞ヒツ、アル、若クハ其膝下ニ跪クニ非ザレバ自己ノ生
活ヲスルコトガ出来ナイト云フ状態ニアラズ、如何ニシテ一朝
動員ノ際ニ完全ニ其職務ヲ執行スルコトガ出来マセウカ、
其威嚴ヲ完ウスルコトガ出来ラ、殊ニ恩給増額ノ叫ビ起ルト云フコト
ハ、是亦時代ヲシテ、如キ要求ヲ爲サシムルニ至リタルモ
ノデ、過去ノ内閣ノ失政ガ今日ノ財政ヲ累シテ居ルト云フ
コトハ、是亦何人モ否ムコトノ出来ナイ實際デアアルデアリ
マス、是ガ爲ニ今日ノ最も急務ナル所ノ軍備縮小ノ如キモ、
軍事當局ハ或ハ此點ニ躊躇セラレルデアリマセウ、思切
ク改革ヲ爲シ得ルコトガ出来ナイ、極端ニ言ハバ今日ノ我が
陸軍ハ世界ニ對シテ極テ不完全ナ素質ヲ持テ居ル、兵器
ノ改革モ十分爲スコトガ出来ナイ、斯カル場合ニ於テハ、師
團數ヲ減ジ、兵數ヲ減ジテ其金ヲ以テ軍備ノ充實ヲ爲シ
手取り早く今日ノ軍隊ヲシテ世界ニ對抗シ得ルマデニスル
方ガ、兵ハ減ジテモ其實力ノ上ニ其對抗力ノ上ニ於テ、此
方ガ便ナリトシナケレバ、其事ハ極テ能ク分テ居ルニ
拘ラズ、軍事當局ガ之ヲ爲シ得ナイト云フコトモ、軍備縮小
ニ依テ淘汰スベキ所ノ將校或ハ青年士官、或ハ下士等ノ
上ニ付テ聊カ其退官以後ノ状態ヲ顧ミルガ爲ニ、容易ニ手ガ
出セナイト云フコトガ、今日ノ實際上起ル所ノ軍備縮小上

ニ於ケル支障ノ大ナルモノデアルト私ハ考ヘテ居ル、ソレガ爲
ニ今申上ゲルガ如ク恩給ニ於テモ幾多ノ増額アリト雖モ、
之ヲ行政ノ改革財政ノ改革ノ上ヨリ來ル豫算ノ削減ノ上
カラ申シマスレバ、極テ少イ價デアラ、此價ヲ拂ハナケレバ
今日ノ改革ハ徹底シナイ、又文官ニアリマシテモ三十三年
ノ四月三十日以前ノ所謂増修成ラザル以前ノ恩給者ハ、
矢張當時ノ恩給額ニ依テ恩給ヲ受ケテ居ル、又官吏ノ増
俸ハ其以後ニモアリマシタガ徹底セザル所ノ俸給額、即チ
増俸ノ十分ナラザリシ以前ニ於ケル所ノ文官ノ人々ニ對シ
テ、今日ノ物價騰貴ノ上カラ申シマシテハ、極テ難儀ナ境遇
ニ在ル、殊ニ文官ニ在ラズ、各自俸給ノ幾分ヲ積立テ置イ
テ、是ニ於テ退官後ノ生活ノ保障ヲ受ケルト云フコトニナ
ラズ居ル、所ガ物價騰貴以前ニ積立ツタ所ノ金額デ、今日ノ通
貨膨脹シテ、物價ハ騰貴シタガ通貨ハ下落シタ今日、以前
ノ恩給額ヲ受ケルト云フコトハ、極テ慘酷ナル支給デアルト
申サナケレバ、ナラヌデアリマス、此事ハ今日マデ餘リ論議
サレマスカ、タノデアリマスガ、熟、文官ノ恩給ノ上ニ付テ考ヘ
テ見マスカ、確ニ此傾ガアル、甚ニ一ツ申スルハ、文官ノ恩給
所謂受恩給者ト云フ者モ中ニ多イ、是モ受恩給者自ラガ
此數ヲ造ツタデハナイ、元來言ハバ官廳ガ官吏ヲ任免スル
場合ニ於テ其行ウタ所ノ結果ガ恩給者ノ製造デアルト云フ
コトノ幾多ノ例證ヲ吾々ニ示シテ居ル、官廳ガ人ヲ淘汰スル
場合ニ彼ノ者ハ恩給者デアルト言フデ、恩給年限ニ達スル
直ニ其人ヲ罷メルト云フ弊ガアル、成程新シイ人物モ入レ
バ、ナラヌニハ相違アリマセウ、ソレモ人ニ依リ、其官職ニ依
ルデアリマス、恩給ヲ受クベキ年限ニ達シタ者ハ極テ謹嚴
ニ、自己ガ懲戒處分ヤ何カニナラズ、時ハ恩給ガ無クナルト云
フコトヲ、彼等ノ觀念ニ置クガ爲ニ最も忠實ニ職務ヲ爲シ
得ルデアアル、爲サントスル事情ガ彼等ニアラ、然ルニ官省ニ
於テモ最も重視スベキ所ノ斯カル部類ノ人ヲ、先ヅ
罷免スルト云フコトガ從來ノ遣方デアアル、軍隊ノ方
面ニ於テモ軍事當局ヤ内閣ノ方針ニ依テ減スコトヨ
リハ、寧ロ將來恩給ヲ受クベキ所ノ國家ノ累トナ
ルベキ者ノ數ヲ餘計造ツテ居ル、文官ニ於テモ唯今
申シマシタヤウナ事情ノ上カラ、知ラズ識ラズ今日ノ受恩給
者ノ數ヲ殖ヤウナ事ト云フ結果ニナラズ居ル、既ニ多クノ數ガ
アルカラ、此數ノ上ニ均霑セシムルニハ澤山ノ金ガ要ル、恩
給ノ改正、爲ニ容易ニ出来ナイト考ヘルカモ知レマセウガ、此
改正ヲスルニハ退職者ノ上ニ何等ノ考慮ヲ置クノ必要ナシ
トシナケレバ、今日ノ改革ハ出来ナイト云フコトハ前ニ申上
ゲタ通りデアアル、ソレ故ニ吾々ノ恩給法ノ改正ハ、決シテ恩
給者ノ要求ノ聲ニ動かサレタニアラズシテ、財政行政ヲ整理
スベキ所ノ最も重要ナル所ニ立脚シテ、此改革ヲ要スル時

代ニ於テハ、先づ第一ニ此恩給法ノ改正ヲシナケレバナラズ、是ハ大正九年ノ臨時議會ニ於テ、恩給法ノ一部改正ノ...

○三善清之君

只今高木君ヨリ恩給法ノ改正ニ付キマシテ、御出シナリマシタガ、本員ニ於テモ其趣旨ニ於テ大...

〔三善清之君登壇〕

○三善清之君 只今高木君ヨリ恩給法ノ改正ニ付キマシテ、御出シナリマシタガ、本員ニ於テモ其趣旨ニ於テ大...

ニ係ルモノデアリマス、元來官吏ノ嚴格ナル服務規律中ニ拘束ヲサレテ居リマシテ、世間一般ニ好景氣ナル時、即チ成...

○三善清之君

只今高木君ヨリ恩給法ノ改正ニ付キマシテ、御出シナリマシタガ、本員ニ於テモ其趣旨ニ於テ大...

即チ吾黨ハ、西園寺侯ヲ總裁トシテ吾黨ノ議會ニ多數ヲ占メテ居リマシタ...

○三善清之君

只今高木君ヨリ恩給法ノ改正ニ付キマシテ、御出シナリマシタガ、本員ニ於テモ其趣旨ニ於テ大...

下君ノ埋葬法案ノ長演説、荒田君、高田君ノ長演説ニ依テ遺憾ナガラ私共茲ニ報告スルコトヲ得ナカッタ、私共熱心ニ諸君ノ御出シニナリマシタモノヲ通過サシテ、此報告ヲセント欲シタノ其時間ガナカッタ、幸ニ我黨ノ岩崎君ノ機轉ニ依テ動議ヲ出シテ、吾々多數ニ依テ之ヲ決シテ、此位吾々ハ誠意ヲ以テヤシテ居ル、數日前ニ憲政會ノ永井君、此壇上ニ立テ、受恩給者ノ悲惨ナル状態ヲ縷々御述ニナシタコトハ御尤デアル、私共同感デアル、其終リニ於テ内閣諸公ヲ、實ニ日本ノ政治家ハ政治家ハハナト言ハレタ、其口吻ヲ藉リテ言ハシメレバ、憲政會ノ政治家ハ政治家ハナト私ハ思フ、何トナレバ大隈内閣ハ數年内閣ヲ持テ居ラザラデアル、其時分ニ恩給ノ改正ヲ一ツモヤリハセヌ、一厘半モ増額ヲヤラヌ(何ヲ言フテ居ルノダ)ト呼フ者アリ)サウ云フ實例ガアルデナイカ、實例ガカラ如何トモスルコトガ出來ナイ、アルナラバ言ウテ見給ヘ、是ヨリ私ハ案ノ内容ニ入テ詳細ニ申上ゲマセウ、大體英國ニ於キマシテハ恩給省ト云フモノヲ獨立致シテ居ル、日本ノヤウニ小サナ恩給局ハナト、恩給省ヲ獨立シテ恩給ノ事ヲ扱ウテ居ルノデアリマス、隨テ多數ノ官吏ガ居テ、此受恩給者ノ爲ニ十分ナル政府ハ努力ヲ拂フテ居ル、恩給法ナル法律ハアルガ、法律以外ニ受恩給者ノ中ニ非常ニ困難ニ陥テ居ル者ガアル何レノ國デモアル、ソレ等ノ者ヲ十分ニ調査シテ、特別ノ救済ヲスルト云フコトガ英米ノ恩給ノ制度デアル、然ルニ我國ニ於キマシテハ、大正九年マデハ我國ノ恩給局ノ經費ハ僅ニ一萬二千圓シカナイ、斯ナ事デ日本ノ受恩給者ノ十分ノ扱ヒガ出來ルカ、原内閣ガ成立スルヤ、之ヲ四割増シテ、現在ニ於テハ恩給局ハ十萬圓ニナ、テ居ル、尙且ツ是デ以テモ吾輩ハ足ラヌト思フ、行政機關ノ上ニ於テ、各府縣ニ於テ、更ニ三人五人ノ吏員ヲ出シテ十分ニ調査ヲシナケレバ行届キマセヌ、恩給ヲ受ケル者ニ困難シテ居ル者ガ澤山アル、是ハ恩給局制度ニ付テ建議ノ一ツデアリマス、是ヨリ増加恩給ヲ逐次述ベル、増加恩給ハ先刻申シマシタ如ク、高橋内閣ノ時ニ倍額ニ致シマシテ、只今千六百萬圓ニ對シマシテ二百五十萬圓程デアリマス、然ルニ此度ノ豫算ニ政府ガ更ニ二百萬圓以上ヲ豫算ニ編入ニナテテ居リマスガ、吾々ハ此程度ヲ以テ満足スルコトガ出來ナイ、故ニ政府ニ向テ更ニ追加豫算デモ出シテ十數萬圓、出來得ルナラバ二百萬圓マデ増額ヲシテ、大正十年ニ於ケル所ノ額ヨリハ五倍位ニ増額ヲシテ、此恩給ヲ受ケル者ノ中デ一番増加恩給ヲ受ケル人ハ、御承知ノ通り癩兵ノ種

類デアリマスガ、一番困難デアリマス、故ニ今回政府ガ豫算ヲ組ンデ居リマスハ百五十萬圓カデアリマスケレドモ、更ニ二百五十萬圓程ノ追加豫算ヲ政府ハ提出セラレンコトヲ吾々ハ建議致シタイノデアリマス、次ニ巡查看守ノ恩給デアリマスケレドモ、巡查看守ハ現在ノ所デ恩給ヲ受ケル者ガ一千五百人アリマス、現在ノ受ケル金額ハ八十五萬圓デアリマス、併ナガラ是以テ只今ノ恩給ハ誠ニ困難ニ感ジマス、故ニ少クトモ二割五分三割ノ増加ヲシナケレバナラヌト考ヘテ居リマス此事ヲ政府ニ建議致シマス、其次ハ小學校教員ノ退隱料デアリマスガ、現在ニ於キマシテハ其恩給ヲ受ケル者八百六十人、此金額ハ百七十萬圓デアリマスガ、小學校ノ教員ハ御承知ノ通り、十五年カラ先ハ年々歳々累加シマシタ所ノ退隱料ヲ受ケルノデアリマスケラ、一般ノ恩給者ニ較ベマシテハ割合ガ一番好イノデアリマス、故ニ小學校ノ教員ニ對シマシテハ二割迄ノ増額デ宜カラウ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、其次ハ一般ノ扶助料デゴザイマスガ、此扶助料ハ極テ問題デアアル、此度政府ニ於テ多少ノ案ガ出テ居リマスガ、是以テ増加恩給ト同様ニ吾々ハ甚ダ不足デアルト思フ、是ハ一般ヲ通ジテ五割迄ノ増額ヲシナケレバ相成ラヌト考ヘテ居ル、次ハ軍人ノ恩給デアリマスガ、現在デモ文官ヨリハ少シク宜シウゴザイマス、其等差ガ甚ダ少イ、隨テ此度歩合ノ改正ヲ致シマスナラバ、軍人ニ對シテハ三割以上ノ増加ヲ致シタイト云フ趣旨デアリマス、文官ニ付キマシテハ二割五分ノ増加デ宜カラウ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノ大體ノ比例ヲ以テマシテ、政府カラ不日茲ニ恩給法改正ノ法案モ出マスケレドモ、高木君ノ言ハレタ如ク、是等ノ歩合ノ改正等ハ出來テ居リマセヌノデアリマスケラ、是非共此議會中ニ改正法律案ヲ政府ハ出サレテ、御同様ニ之ニ向テ可決致シタイト考ヘマスノデス、ソコデ是非茲ニ申上ゲナケレバナラヌコトガアリマス、憲政會カラ御出シニナシタ建議案、此次ニ三浦君ガ御述ニナリマスガ、三浦君ハ私友人デアリマシテ、至テ濃厚ノ君子デ、私共非常ニ敬服スル人デアリマス、然ルニ此度御出シニナリマシタ建議案ハ、軍人社會ニ恩給ノ運動者ガ大分アリマス、其者等ガ言フコトヲ其儘建議案ニ御書キニナシテアル、私共其通りノモノヲ此處ニ持テ居リマスガ、斯ウ云フ事ヲ建議シテ貫ヒタイト云フコトヲ、軍人ノ而モ將官ノ連中ガサウ云ウヤウナ事ヲ申シテ居ル、三浦君ハ其儘建議案ニ御書キニナシタモノデアラウト思フ、憲政會ノ御方ハ全部ノ三贊成ノ御名前ガアルガ、恐ラクハ官判ヂヤナイカ

ト思フ(ノウ)「マア聴キ給ヘ」「聴キ給ヘ」(引込メト呼フ者アリ)默テ聴ケ、斯ウ云フ事ヲ書イテアル(眞面目ニヤレ)「謹聽」傍聽席ヲ向イテヤリ給ヘ」ト呼フ者アリ、其他發言者多シ)馬鹿ヲ言ヘ、必要ノ建議案ガカラ聴キ給ヘ、聽ケ(ヤレ)「ト呼フ者アリ」三浦君ノ提出ノ建議案ニ斯様ナ事ガ書イテアル、軍人ノ今日ノ恩給ハ(發言者多シ)默テ聴ケ...

○副議長(粕谷義三君) 靜肅ニ

○三善清之君(續) 默テ聴ケ、聽イタラ宜イデヤナイカ、三浦君ノ(議長注意セヨ)ト呼フ者アリ)建議案ニハ軍人ノ恩給ハ二割五分殖エタ、然ルニ文官ノ恩給ハ四割五分ト斯シナコトハ何處ニアル

〔發言者多ク議場騒然〕

○副議長(粕谷義三君) 靜肅ニ

○三善清之君(續) 憲政會ノ案ハ吾々ハ決シテ贊成ハシナイ、駄目ダ

○副議長(粕谷義三君) 成ベクアナタノ案ヲ説明スルヤウ成ヲ願ヒマス

○三善清之君(續) 私ノ説明ハ濟シテ居リマスケラ御贊成ヲ願ヒマス

○副議長(粕谷義三君) 次ハ日程第十二、恩給法改正ニ關スル建議案、三浦得一郎君提出——三浦得一郎君

〔三浦得一郎君登壇〕

○三浦得一郎君 諸君、私ハ恩給法改正ノ事ニ付キマシテ、建議案ヲ提出致シマシタノデアリマスガ、本案ニ付キマシテハ既ニ高木君カラ詳細ナル御説明ガアリ、今又三善君カラモ詳細ナル御説明ガアリマシタノデ、大要既ニ御了解ノ事ト存ジマス、故ニ私ハ此建議案ノ提出ノ理由ニ付テ一二數行の申述ベクタイト思ヒマス、只今三善君カラ本案提出ノ事ニ付キマシテ色々何ダカ、斯ウ黨争ノ事ノヤウニ御話ガアリマシタガ、斯ノ如キ案ハ決シテ政黨政派ノ別ノアルベキモノデアハナイト私ハ確ク信ジマス(ヒヤ)「固ヨリ軍人ノ恩給文官ノ恩給ト云フ事ニ付キマシテハ、各派共二年來是ハ一致ノ行動ヲ執テ居ルノデアリマス(拍手)恩給法ハ明治二十三年ニ初テ制定セラレマシテ、爾來今日ニ至ルマデ屢、改正ガゴザイマシタガ、何時モ唯々一時ヲ彌縫シタ止マテ居ルノデゴザイマス、ソレ故ニ受恩給者ニ於キマシテハ非常ナル生活ノ苦痛ト云フ所カラ、屢、請願ガ出マスケラ、殆ド請願書類ハ山ヲ成シテ居ルノデアリマス、茲ニ於テ一昨年ノ即

チ四十四議會ニ於キマシテ、吾々三善君其他ノ方々ト御相談ヲ致シテ、政府ニ建議ヲ致サウカト云フコトニ話ガ立至、タノデアリマスガ、政府ハ既ニ五割ノ増額ヲ致スカラ、ソレニハ及バヌト云フコトデアリマシテ、如何ニモ原内閣ノ時分ニ政府カラ提出ヲ致シタノガ即チ五割増デゴザイマシタ、ソレガ後ニ又七割ト云フコトニ訂正セラレタ、其七割ハ決シテ平等ニ七割ニナル譯デアリマシテ、中將階級ガ先ヅ二割、下ヅ三割、四割、五割トナリマシテ、最下級ガ十割ト云フ程度ニ一昨年極マタノデアリマス、ソレニ依、テ聊カ一般ニ増額サレタノデアリマスガ、併ナガラソレヲ以テ満足スベキモノデアリマシテ、故ニ昨年即チ四十五議會ニ於キマシテ、私ハ更ニ増額ノ建議ヲ提出致シマシタ所ガ、爰ニ三善君カラ御話ガアリマシタガ、當時九名ノ委員付託ニナリマシテ、其委員長ガ三善君デアッタノデアリマス、所ガ三善君ノ曰ク三浦是ハオ前ノ建議案ハ撤回シタラドウカ、必ズ政府カラ出スト云フノデアアルカラ撤回シロ、斯ウ云フ仰セデアリマシタガ(三善清之君「ノウ」ト呼フ)其當時政府委員ハ今回ハ間ニ合ヒマセヌガ、十分調査ガ出来テ居ル、次ノ議會ニハ必ズ提出スルカラ、此建議案ヲ撤回シタラ宜カラウト云フコトデアリマシタ(三善清之君「ソナコトハ言ハナイ」ト呼フ)多分速記録ニハゴザイマス、ソコデアリマシテ、内閣ヲ信ジナイノデアアル、ソレデ果シテ明年出スカ出サヌカト云フコトモドウモ信ゼラレナイ、撤回致サヌト云フコトヲ申シマシタ所ガ、然ラバ是ハ否決スル、ソレハ御勝手デアアルカラト云フノデア、遂ニ否決セラレタノデアリマス、所ガ今日ニ至ル迄新聞ノ傳フル所ニ依リマスルト云フト、今回更ニ又出タヤウデアリマスルガ、マダ吾々ノ手ニハ來、テ居ラヌ、ソレヨリ先キニ吾々ハ此本案ヲ提出シタノデアリマス、既ニ第三回ノ建議案ニナ、テ居ルノデアリマス、何時モ其理由ハ同ジ事デアリマスカラ、此理由書ニ詳細認メデアリマスルガ故ニ、御一讀下サタナラバ御諒解出來ヤウト思フノデアリマス、大概今ノ兩君ガ述ベラレマシタカラ、私ハ細カイ事ハ申シマセヌガ、唯、敷衍的ニ申シマセバ、今日軍備縮少ト云フコトヲ誤解シテ、ス、永久ノ平和ガ得ラレルモノカノ如ク思フ、遂ニ軍事ヲ疎外シテ居ルト云フコトハ、私ハ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、如何ニモ軍備ハ縮小シナケレバナラヌ、或ル程度迄ハ、最小限度迄ハ、縮小セヨト云フコトハ國民ノ聲デアリマス、然ラバ唯、單ニ師團ヲ減ラス、或ハ五万何千ヲ減ラスト云フヤウナ事デアハイケナイノデアリマス、之ヲ徹底的ニ縮小致シテ

或ル程度迄縮小シテ、之ニ代ヘルニ内容ヲ充實シナケレバナラヌ、内容ヲ充實シナケレバ、決シテ國防ハ出來ナイノデアリマス、故ニ此内容ヲ充實スルニハ、種々ゴザイマセウ、或ハ精銳ナル機械ヲ輸入スルコトモアリマセウ、又種々ナル新シキ所ノ精銳ノ機關モ澤山要ルデアリマセウガ、一番此軍隊ノ要素ニナルモノハ何デアアルコト云フニ、所謂軍人精神デアリマス、此精神ガ無カッタナラバ、如何ニ立派ナル機械ガア、テモ、之ヲ利用スルコトハ出來ナイノデアリマス、然ルニ熟、此軍人界ノ有様ヲ見マセウ、如何ナル状態ニ在リマスルカ、段段將校生徒ヲ志願スル青年ハ一年ト減ジツ、アルノデアリマス、又國家ノ干城タル所ノ最モ有動者タル癡兵ハ如何ナル状態ニ在リマスルカ、彼等ハ今日自活ノ道ヲ殆ド缺イテ居ル有様デアアルノデアリマス、之ヲ見テ傲兵忌避ノ念モ幾分起ルデアリマセウ、彼等ノ状態ヲ見、又ハ在郷軍人ノ一旦現役ヲ退イタ後ニ慘メナル生活ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ見テ、遂ニ青年者ガ軍人ヲ志願スルト云フ者ハ一年ト減ジテ居ルノデアリマス、此事實ニ見テ在郷軍人ノ生活ニ安定ヲ與ヘ、又癡兵ニ對シテ十分ナル國家ガ保護ヲシテヤラナケレバナラヌ、之ニ依、テ軍人思想上云フモノガ、益、緊縮シテ行カケレバ、國防ノ精神ヲ完ウスルコトハ出來ナイト私ハ信ズル者デアリマス、故ニ私ハ本案ヲ提出致シテ、ドウカ均等ニ恩給法ヲ改正シテ貴ヒタイト云フ所カラ、諸君ノ御協賛ヲ願フデアリマス、今一例ヲ舉ゲテ見マセウ、兵卒ノ遺族ハ月ニ三圓ノ寡婦ノ扶助料ト云フモノデアリマス、外國殊ニ英佛ノ扶助料ハ寡婦ガ一週間ニ十圓ト云フノデアリマス、ソレニ親又ハ子供ガアリマス、各個人ニ付テ更ニ五圓宛ノ増額ガアルノデアリマス、日本デハ月ニ三圓、外國デハ一週間ニ十圓ト云フヤウナコトニナ、テ居ルノデアリマス、又文武官ノ恩給ノ不統一ト云フコトハ甚シキモノデアリマス、例ヘバ陸軍大將デアリマシテ、停年四十年デ職ヲ退キマシタ時分ニハ二千六百四十圓ノ恩給ヲ受クルノデアリマス、同等ノ文官デ四十年勤メタ所ノ裁判官ハ四千二百八十二圓五十錢ヲ受クルノデアリマス、又學校ノ教員デア、テ年俸千五百六十圓ヲ受クル者ノ恩給ガ千四十圓ト云フコトニナ、テ居ルノデアリマス、之ヲ比例ヲ取、テ見マセウ、裁判官ハ五割七分ト云フコトニナ、テ居ルノデアアル、學校ノ職員ハ七割ニ當、テ居リマス、大將ノ恩給ハ現役俸ノ二割八分ト云フ所ニナ、テ居ルノデアリマス、同ク國家ニ盡ス所ノ文武官ニ於キマシテ、斯ノ如ク

不統一、不公平ト云フコトハ甚ダ恩給法ニ於テ不都合千萬ナ事ト思ヒマスガ故ニ、是ハ是非トモ統一スルコトガ必要デアルト云フノデアリマス、其他マダゴザイマスガ、大概前ノ兩君ガ述ベラレマシタカラ、茲デハ私ハ省略シマス、今先ヅ軍備ヲ縮小致シテ内容ヲ充實スルト云フコトハ、何處迄モ在郷軍人ニ生活ノ安定ヲ與ヘテ、平時ニ於キマシテハ矢張軍事上ノ研究ヲ致サセル、而シテ喜ンデ戰場ニ傷キ、或ハ殲レルト云フコトニナラナケレバナラヌ、ソレニハ癡兵ヲ十分優遇シテ置カケレバ、軍ノ充實ト云フコトハ恐ラクハ出來ナイト思フノデアリマス、即チ精神動員ナルモノガ強實ナケレバ、國防ハ出來ナイト思フガ故ニ、斯ノ如キ案ヲ提出シタ所デアリマス、ドウカ御審議ノ上御賛成ヲ仰ギマス

○高見之通君 日程第十乃至第十二ノ三案ヲ一括シテ議長指名ヲ以テ九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議ハナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、只今緊急質問ノ請求ガアリマシタ

○高見之通君 只今ノ委員ノ數ニ間違ガアリマシタカラ訂正致シマス、委員ノ數ヲ十八名ト訂正セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 高見君ヨリ委員數ノ訂正ノ發議ガアリマス、之ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナイト認メマス、仍テ其通り決シマス——只今緊急質問ノ請求ガアリマシタ、即チ安藤正純君ヨリ勞農露國ノ「ヨッフェ」氏來朝ニ關スル件、副島義一君ヨリ樞密院官制改正ニ關スル件、右二ツノ緊急質問ノ請求ガアリマシタ、此際日程ヲ變更シテ之ヲ許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナイト認メマス、仍テ許可スルコトニ致シマス、先ヅ安藤正純君ニ發言ヲ許シマス

勞農露國ノ「ヨッフェ」氏來朝ニ關スル緊急質問(安藤正純君提出)

〔安藤正純君登壇〕

○安藤正純君 私ハ此場合緊急ニ簡單ニ質問ヲ致シクイ

樞密院官制改正ニ關スル緊急質問 (副島義一君提出)

○副島義一君 諸君、私ハ樞密院官制改正ニ關シテ政府ニ緊急質問ヲ爲ス必要ヲ認メテ、茲ニ此演壇ニ立テ、次第

トト事デゴザイマス、「ヨッフエ」氏ハ後藤子爵ノ招ギニ應ジテ來朝セラレタト傳ヘラレテ居リマスガ、之ニ付キマシテ後藤子ト政府トノ間、若クハ「ヨッフエ」氏其人ト政府トノ間ニ、何等カノ諒解ガゴザイマシテ來朝ゴザイマスカ、來朝スルマデニハ何等ノ關係ハ無イト致シマシテモ、來朝サレテカラ以後既ニ數日ニナリマスガ、此間ニ於テ「ヨッフエ」氏ト政府トノ間、若クハ之ヲ斡旋シタ所ノ後藤子ト政府トノ間ニ、新ニ何等カノ關係若クハ諒解ガ成立致シマシタカ、如何デゴザイマスカ、之ヲ承リタイノデアリマス、之ニ續キマシテ此「ヨッフエ」氏ノ來朝ガ機會トナテ、日露ノ間ニ親交關係ガ開ケル基トナルトシテ之ヲ歡迎シツ、アル人ト否、是ハ赤化ノ宣傳ノ媒介ヲスルモノデアルトシテ、之ヲ排斥セントスル者トノ二ツノ派ガ國內ニアリマシテ、而モ是等二ツノ思想ハ既ニ事實トナテ現ハレ來リツ、アルノデアリマス、就キマシテハ此「ヨッフエ」氏並ニ之ニ關係スル所ノ人ニノ周圍等ヲ警戒スル所ノ程度、若クハ是等兩派ニ對スル所ノ取締ノ程度如何ト云フ問題デアリマス、私ハ此際「ヨッフエ」氏ガ必シモ赤化ノ宣傳ヲスルトハ思ヒマセヌ、或ハ此機會ヲ善用致シマスレバ、早晩開カケレバナラナイ日露ノ親交ニ一歩ヲ早メル途ヲ開クノ好イ機會ヲ、或ハ得ルコトニナリハシナイカトモ考ヘテ居リマス、併ナガラ之ニ對シテノ國民ノ間ニ二ツノ思想ト、二ツノ運動トガアリマシテ、是ガ事實トナテ居リマスカラ、之ニ對スル警戒及取締ノ程度如何ト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、最後ニ之ニ付キマシテハ、最モ關係ノアルノハ言論界デアル、殊ニ全國ノ新聞デアリマス、之ニ就キマシテ今後何等カノ言論ニ制裁等ヲ御加ヘニナル政府ノ御方針デアリマスカ、如何デアリマスカ、是モ伺ヒタイ、而シテ最後ニ昨年政府ガ提出セラレタ過激社會運動取締法案ト云フモノハ、其後幾多ノ缺點ヲ發見セラレマシテ、審議未了ノ間ニ前議會ヲ通過致シタノデアリマスガ、是ハ言論界ニ取テ、此法案ガ若シ成立致シマスレバ、大ナル影響ガアテ、頗ル困ルコトデモアルシ、又良イ影響ハ無カラウト思フノデアリマス、然ルニ最近新聞紙ノ傳フル所ニ依リマスレバ、政府ハ最早此過激社會運動取締法案ナルモノハ提出ヲシナイト云フコトガ新聞紙ニ傳テ居リマスガ、果シテ政府ハ此法案ヲ斷念ヲ致シマシテ、最早議會ニ御提出ニナラナイ積リデアリマスルカ、ドウデアリマスルカ、是等ノ點ニ付キマシテ外務大臣、内務大臣、司法大臣等ノ關係大臣カラ以上ノ質問ニ對シマシテ、明確ナル御答辯ヲ願ヒタイ次第デアリマス

○副議長(粕谷義三君) 内田外務大臣

○國務大臣(伯爵内田康哉君) 只今安藤君ノ「ヨッフエ」氏來朝ニ關スル御質問ニ對シテ、同氏ガ我國ニ來ル迄ノ事ハ私ノ主管ニ屬シマスカラ、私ヨリ御答ヲ致シマスガ、其他ノ事ハ主務大臣ヨリ御答サレルコト、思ヒマス、「ヨッフエ」氏ハ日本ニ來タイト云フ希望ヲ持テ居リ、ヤウニ聞及ビマスルシ、又只今安藤君ノ御話中ニハ、後藤子爵ガ案内ヲシタト云フコトデアリマシタガ、是モ後藤子爵ヨリ我ガ關係ノ中ニサウ云フ話ノアツクト云フコトヲ聞及シ、デアリマス、ソコデ「ヨッフエ」氏ガ來朝スルニ付テハ、其旅券ニ、支那ニ居ル我ガ領事ヲシテ稟書セシメル必要ガ起テ來タノデ、之ニ對シテ政府ハ「ヨッフエ」氏ノ來朝ヲ差止ムベキモノデアナイ、差止ムル理由ガナイモノト認メマシテ、若シ「ヨッフエ」氏ガ日本ニ行キタイ、隨テ其旅券ニ「ビゼ」ヲシテ貫ヒタイト云フ場合ニ於テハ之ニ「ビゼ」シテモ差支ナイ、是ダケノ訓令ヲ發シタ、即テ其「ビゼ」ヲ得テ個人トシテ同氏ハ來朝シタノデアリマス、ソレ以上ニ政府上「ヨッフエ」氏トノ間ニ何等ノ諒解ハアリマセヌ、唯、個人トシテ日本ニ來ルコトヲ許シタニ過ギナイノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○副議長(粕谷義三君) 副島義一君——一寸誤リマシタ、水野内務大臣

○國務大臣(水野鍊太郎君) 「ヨッフエ」氏ノ來朝ニ付キマシテ、第二段ノ點ニ付キマシテ、私ヨリ御答ヲ致シマス、「ヨッフエ」氏ノ來朝ニ付キマシテハ、一面ニ於キマシテハ同氏ノ身體其他ヲ十分ニ保護スル必要ガアルノデアリマス、又一面ニ於キマシテハ外面ニ於キマス諸般ノ情勢ニ對シマシテ、警戒ヲスル必要ガアルノデアリマス、此方面ニ於キマシテ、警察官意ニ於キマシテハ、諸般ノ狀況ニ注意致シマシテ、十分ナル取締ヲ警戒ヲ爲シツ、アルノデアリマス、第二ニ言論ノ事ニ付キマシテハ從來ト何等異ナルコトハナイノデアリマス、第三ニ過激法案ノ提出ガアリヤ否ヤト云フコトデアリマスガ、是ハ只今ノ所デアリハ之ヲ提出スル意思ヲ持テ居ラナイノデアリマス、是ダケ御答致シマス

○副議長(粕谷義三君) 副島義一君

スベキモノデハナイ、國務大臣ノミガ獨立ノ地位ヲ有スルモ
 ノアル、國務大臣ハ樞密顧問ノ上ニ位スル地位ヲ有セネ
 バナラヌモノアル(拍手)然ルニ現時ノ樞密院官制ハ此道
 理ヲ沒却スルコトニナリテ居ルノアル、是ハ今日ノ樞密院
 官制ノ上ニ於テ生ズル結果アル、今日樞密院官制ニ從ウ
 テ樞密院ガ行動シテモ、尙ホ立憲ノ本義ニ反スル結果ニ至
 ルノアル、然ルニ樞密院ノ近頃ノ行動ハ樞密院官制ノ規
 定ニ矛盾ヲシシ、アルノアル、是ハ決シテ吾人が默過スル
 コトノ出来ナイコトアル、樞密院官制ノ第六條ニハ樞密
 院ハ諮詢ヲ待テ會議ヲ開キ意見ヲ上奏スルアル、又第八
 條ニハ樞密院ハ行政立法ノ事ニ關シ、天皇ノ至高ノ顧問
 タリト雖モ施政ニ干與スルコトナシトアル、故ニ樞密院ハ行
 政、立法ニ對シテハ唯、天皇ノ諮詢ニ依リテ、又諮詢セラ
 レタル事項ニ付テ、會議ヲ開キ意見ヲ上ルダケノモノデア
 決シテ施政ニ干與シ政治ニ干與スルコトハ出来ナイモノデ
 アル、是ハ即チ樞密院ガ諮詢機關デアリ、顧問機關デア
 輔弼機關デアハナイ、内閣ノ監督機關デアハナイト云フコトカラ
 シテ生ズル當然ノ歸屬アル、然ルニ樞密院ノ行動ハ果シ
 テ政治ニ干與シナイノアルカ、聞ク所ニ依レバ、今日支
 郵便約定ニ付テ、樞密院ハ一應是ハ可決ハシテ居ルケレド
 モ、同時ニ又附帶決議ヲ爲シテ、其諮詢ノ手續ガ誤アル、
 政府ノ對支外交ガ失態アル、殊ニ國權國威ノ失墜アル
 ト云フコトヲ言上ラシテ、即チ政府ノ責任ヲ問ヒシテ居ル、
 是ハ即チ政治ニ干與スルノ甚シキモノアル(拍手)是ハ樞
 密院官制ノ第八條ニ矛盾スルコトアル、憲法第五十六
 條ニハ樞密顧問ハ樞密院官制ノ規定ニ反シテ國務ヲ審
 議スルトアル、樞密院官制ノ規定ニ反シテ決議ヲ
 爲スノハ、即チ樞密院ハ憲法違反ノ行動ヲ執テ居ルモノト
 謂ハナケレバナラヌ、其罪ハ甚ダ輕カラザルモノアル、日支
 郵便約定ニ付テハ樞密院ハ其約定ノ適當アルト云フコ
 トヲ是認シテ居ルト云フコトアル、併ナガラ其諮詢ノ日ガ
 遅レタル爲ニ十分ノ論議ヲ盡スコトガ出来ナイト云フコト
 ヲ咎メテ居ルト云フコトアルガ、若シ約定ガ大體ニ於テ適
 當アルナラバ、ソレニ何モケテテ政府ニ過失ガアルト
 云フヤウナコトヲ言フノハ、是ハ餘計ナ事デアリ、即チソレハ
 政治ニ干與スルコト云フコトニナルノアル、又南滿洲鐵道
 附屬地郵便協定ト云フモノハ、政府ハ是ハ唯、參考的ニ樞
 密院ニ示シタモノデアッテ、其實ハ諮詢セラレタルモノデハ
 ナイ、然ルニ樞密院ニ於テハ、此協定ニ付テモ、是非ノ議論ヲ

爲シタト云フコトアル、此郵便協定ニ付テハ此議會ニ於
 テ——衆議院ニ於テ論議ヲ盡スト云フコトハ固ヨリ當然ノ
 事デアリ、樞密院ノ態度トシテハ是ハ決シテ適當デア
 何トナレバ樞密院ニ諮詢セラレナイ事ニ付テ論議ヲ盡スト
 云フノハ、其權限ヲ超エテ居ルト謂ハネバナラヌノアル、殊
 ニ附屬地ノ郵便協定ト云フモノハ、地方官憲ノ郵便事務
 ニ付テ一ノ取極ト見ルコトモ出来ル、果シテ是ガ國際的
 約束ト謂フベキモノデアルカモ疑ガアル、ソレヲ諮詢ノナイモ
 ノニ付テ議決ヲ爲スト云フノハ、其意見ガ假令適當デア
 モ、權限ハ之ヲ超エテ居ルモノトシテ之ヲ許スコトハ出来
 イモノアル、政府ガ樞密院ニ四ツノ約定ヲ提出シテ其議
 決ヲ求メタル際ニ於テ、ソレハ既ニ記名調印サレテ有效ノモ
 ノアルト政府ガ既ニ說明シタルニ反シ、政府ハ議會等ニ於
 テハ、天皇ノ裁可ニ依リテ效力ヲ有スルト云フ說明ヲシタ
 云フコトデ、樞密院ニ於テハ、政府ハ其言葉ヲ二三ニシタ
 云フコトヲ大ニ咎メテ居ルト云フコトアル、現ニ先日清浦
 議長ガ加藤總理大臣ヲ訪問シタルモ是ガ爲デアルト云フコ
 トアル、此樞密院ノ態度ハ決シテ適當ナルモノデハナイ、元
 來樞密院ハ此約定ニ付テ議決スル際ニハ、其獨立ノ意見
 ニ依リテ果シテ有效ノモノデアるか、ドウデアるかト云フ
 コトヲ定メテ、天皇ニ上奏スベキモノデアリ、必シモ政府ノ
 意見ニ從テソレヲ可決シテ上奏スルモノデハナイ、無論政
 府ノ意見ヲ參照トスルコトハアルケレドモ、併ナガラソレヲ樞
 密院ガ議決ニ際シテハ、獨立ノ意見ヲ以テ有效カドウカト
 云フコトヲ決定シテ上奏スベキモノデアリ、政府ガ何ト云
 テモソレヲ樞密院ガ彼此レ言フベキモノデアハナイ、政府ガ議
 會ニ於テ如何ナル說明ヲシテモ、ソレガ樞密院ガ說明シタ所
 ト違タ所ガアツタトシテモ、咎ムル必要ハナイ、議會ニ對シテ
 說明シタコトヲ樞密院ニ對シテ說明シナイト咎ムルノハ、即
 チ政府ノ政治ニ干與スルモノデアリ、是ガ樞密院官制ニ反
 スルモノデアリ、即チ是等ハ樞密院ガ其諮詢府タルニ過ギ
 ズ、決シテ政府ノ監督官デナイ、隨テ其施政ノ失當ヲ責ムル權
 限ヲ有セザルモノナルニ、違法ノ行動ヲシテ居ルモノデアルト
 謂ハナケレバナラヌ、政府ノ失當ヲ責ムルノハ議會ガアル、樞
 密院ハ此議會ノ權限ヲ犯スモノデアリ、何モ樞密院ハ政府
 ノ監督機關デアハナイ聞ク所ニ依レバ外務當局ハ樞密院會
 議ニ辯明スル際ニ、樞密院ハ自分ニ辭職ヲ求ムル所存デア
 ルカト云フコトヲ質問セラレタト云フコトアル、是ガ果シテ
 事實デアるかドウカ知りマセヌガ、若シ事實デアルトスレバ、

其外務當局者ハ不見識ノ甚シキモノデアルト謂ハナケレバ
 ナラヌ、監督官廳デアナイ樞密院顧問ニ、辭職ナドノ質問ヲ
 スコトガ當ヲ失シテ居ル、是ハ樞密顧問ガ政府ノ監督官デ
 ナイ所カラ生ズル論議デアリ、又聞ク所ニ依レバ政府ハ樞密
 顧問ノ所ニ出入シ、所謂戶別訪問ヲシテ百方陳謝釋明シテ
 居ルト云フコトアル、是ハ何タル、政府ノ失態アルカ、監督
 官廳デアナイモノニ、斯様ナ陳謝釋明スル理由ハ少シモ無イ
 デアル、是レ即チ樞密院監督機關デアリヤウニ思フコトヨリ
 生ズル、誤謬デアリ世間ニ於テモ樞密顧問ガ斯ウ言フタト云
 ウテ政府ヲ問ヒスル者アルハ大ナル謬見デアリ、樞密院ガ政
 府監督者クル如キ態度ヲ以テ不法不當ノ上奏ヲ爲シタル
 爲ニ、此政界ニ今日幾多ノ紛擾ヲ惹起シテ居ルノアル、即
 チ其一ハ日支約定ノ效力ニ關スル幾多ノ議論デアリ、貴族
 院衆議院ニ於キマシテ續々トシテ此約定ノ效力問題ガ起
 サレ、政府モ非常ニ困却ヲシテ居ルノアル、然ルニ是等ノ
 議論ハ、要スルニ法律學校ニ於ケル口頭試驗様ノモノデア
 ル、政府ノ答辯ガ如何ニ拙クテモ耻トスルニ足ラナイ、
 議員ノ質問ガ如何ニ巧妙デアッテモ榮譽ト爲スニ足ラナ
 イ、既ニ此日支約定ハ本年ノ一月一日カラ行ハレテ居ル、之
 ヲ行ハナイ前ノ十二月九日ニ效力ガ生ズルカ、三十一日ニ効
 力ガ生ズルカト云フコトヲ議論スルノハ、政治ノ實質ニハ何
 等ノ交渉ガ無イコトデアリ(拍手)斯ウ云フコトヲ喧々囂々ト
 スルノハ即チ學校ノ口頭試驗デアリ(拍手)併ナガラ是ニハ
 策略ガアル、策略ガ其所ニ伏在シテ居ル、即チ是ハ一ハ大權
 干犯論デアリ、大權干犯論ヲ以テ政府ヲ責付ケントシタノ
 デアル、若シ大權干犯論ガ政府ガ其效力ニ付テ樞密院ニ言
 ウタコト、議會ニ言ウタコトガ違ヘバ、今度樞密院カラ政
 府ヲ責ムルノデアルト云フ策略デアリ、策略トシテハ愚策デ
 アルガ、其愚策ニ或フ政府モ亦愚ノ甚シキモノデアルト謂ハ
 ナケレバナラヌ(拍手)大權干犯論ハソレ自身ニ矛盾ガアル、
 若シ此約定ガ記名調印ニ依リテ成立チ、效力ヲ有スルモノデ
 アルトスルナラバ、其記名調印ヲスルモノハ其約定ヲスル權
 限ヲ有センケレバナラヌ、權限ガ無ケレバ有效ノ約定ハ成立
 タヌノアル、既ニ有效ノ約定ガアルトスレバ、即チ權限ハ認
 メナケレバナラヌ、其權限ハ大權ノ發動ニ依リテ生ジテ居ル
 大權ノ發動ニ依リテ記名調印スル、ソレガ效力ヲ生ズルノハ
 少シモ大權干犯ニナラヌ、若シモ權限ガ無クシテ協約ヲスル
 ナラバ——約定ヲスルナラバ、其約定ハ無効デアるか成立
 タヌノデアるか、又大權干犯論ハ生ジナイノデアリ、所ガ大

權干犯論ヲ以テスレバ、政府ガ天皇ノ裁可ニ依テ効力ヲ生ズルト云フ風ナ答辯ヲシテ、ソコニ押付ケンガ爲ニ此大權干犯論ヲ以テシタノデアアル、裁可ヲ以テ有效デアルト政府ガ答辯スレバ、ソレハ樞密院ニ於テノ言論トハ違フト言テ責メルノデアアル、是ハ策略デアアテ、結局樞密院ガ策略ヲ弄ビツ、アル不祥ノ事デアアル、尙ホ一ツ此樞密院ノ上奏ニ關聯シテ不祥ノ事ガアル、即チソレハ先帝ノ遺業云々、或ハ御沙汰云云、或ハ違勅云々ヲ突付ケテ、政府ニ賢明ノ方法ヲ執レト迫ラタ、是ガ大ナル不祥ノ事デアアル、或ル一派ノ者ハ此御沙汰書ノ内容ハ如何ニシテ之ヲ知り得タノデアアルカ、御沙汰書ノ内容ヲ知り得ルニハ宮中ニ接近ノ者カラ之ヲ洩シタルニ依ラネバナラス、宮中ニ接近ノ者ガ何故ニ之ヲ洩シタルノデアアルカ、洩シタルハ即チ陰謀デアテノ事デアアル(拍手)即チ違勅云々、御沙汰云々、先帝ノ遺業云々ト云フコトヲ以テスルハ、九寸五分ヲ突付ケテ詰腹ヲ切ラスル昔ノ此政治ノ遺方ト少シモ違ハナイモノデアアテ、貴族院ダケニ昔ノ御家騷動ヲ演ゼントシテ居ルノハ、實ニ戰慄セザルヲ得ザル、陰謀デアアル(拍手)此御沙汰、先帝ノ遺業ト云フ如キ事ヲ以テ政府ヲ責ムルノハ、即チ皇室ヲ政治ニ利用シ、皇室ヲ政争ノ裡ニ引入ル、モノデアアテ、即チ皇室ノ尊嚴ヲ瀆ス畏多キ事デアアル、(拍手)政治上最モ慎ムベキ事デアアルガ、政争ノ爲ニ手段ヲ擇バナイト云フコトハ、實ニ慨嘆スベキ至デアアル(拍手)會テ濱口君ハ租稅ノ事ヲ説明スルニ對シテ、國民ノ愛國心ヲ濫用スル勿レト云フコトヲ言ハレマシタガ、私ハ是ハ至言トシテ傾聴シタノデアアル、御沙汰書ヲ以テ政府ヲ威嚇スルノハ即チ忠君愛國ノ濫用デアアル(拍手)若シ貴族院數名ノ者ガ御沙汰書ヲ突付ケテ、政府ガ所謂賢明ノ途ヲ取テ辭職ヲ爲ス、内閣ガ更迭ヲスルト云フコトニナラバ、國民ハ内閣更迭ノ理由ヲ知ラスシテ、政治トハ沒交渉ニナラシマフノデアアル、陰謀ニ依テ即チ政治ガ左右サル、コトニナル、斯ノ如キハ政治ヲ公明正大ノ道ニ依テ運轉スルコトヲ理想トスル立憲政體トハ、全ク相矛盾スルモノデアアテ憲政逆轉ノ甚シキモノデアアル、實ニ斯ル事ハ立憲政治ノ害毒デアアル、之ヲ行フ者ノ心理ハ實ニ陋劣デアアテ、國民ノ敵トスルモノデアアルノデアアル(拍手)我が衆議院ニ於テハ一人モ之ヲ是認スル者ハ無イト私モ確信スル者デアアル(拍手)要スルニ今日ノ如ク政界ノ紛擾ヲ惹起シタト云フノハ、即チ樞密院ガ憲法ノ精神ヲ官制ノ規定トニ違反シテ、政治ニ干與シテ不當ノ議決ヲ爲シタルニ由ルノデアアル、此紛擾ノ咎ハ樞密院ガ之ヲ負ハネ

バナラスモノデアアル(拍手)而シテ是ハ他ノ一方ニハ樞密院ノ權限ヲ不當ニ擴張シテ居ル今日ノ官制ノ不備ニ基クモノデアアル、是ガ即チ改正セネバナラス今日ノ急務ガアルト云フ所以デアアル、此點ニ付テ政府ノ覺悟ヲ質問スルノデアアル、即チ樞密院官制ハ憲法ニ觸レザル限り自由ニ之ヲ企テナケレバナラス、殊ニ樞密院ガ事毎ニ政務ニ干與シナイヤウニスルコトガ必要デアアテ、差當リ天皇諮詢ノ自由ヲ明ニスルコトガ必要デアアル、即チ 天皇ハ樞密院ノ議決ヲ左右セラレナイノモ自由デアアルナラバ諮詢セラレ、ノモ諮詢セラレナイノモ自由デアアルト云フカ當然デアアルト謂ハナケレバナラス、或ハ今日ノ現行ノ官制ニ於テモ成程樞密院官制ニ列舉シタル事ガアリマスケレドモ是ハ、果シテ 天皇ノ諮詢スベク拘束スルモノデアアルト云フコトハ疑デアアル、併ナガラ今日マデノ慣例ニ依レバ、列舉シタル事ハ何時デモ諮詢セネバナラス、即チ 天皇ガ官制ニ拘束セラレ、ヤウニ今日ハ行ハレテ居ルノデアアル、其點ヲ明ニ改正シテ、 天皇ハ諮詢ニ拘束サレナイヤウニスルコトガ先ゾ必要デアアル、而シテ政府ヲ監督スルノハ唯、議會ノミデ十分デアアル、政府ヲ監督スル權ハ唯、議會ニ與ヘテ置ケバ十分デアアル、人民ト交渉ヲ有セズ、又其會議ガ秘密デアアテ公開シナイ、又責任ヲ負ハナイト云フ如キ樞密院ニ、政府ヲ監督スル權ヲ有セシムルト云フコトハ、立憲制ノ本則ニ反スルモノデアアル、其點ヲ改正スルコトガ最モ必要デアアル、併ナガラ樞密院官制ノ改正ハ容易デアアリマセヌ、一旦政府ガ之ヲ企テントスルナラバ、樞密院ハ直ニ内閣ヲ倒ス計ヲ爲スニ違ヒナイノデアアル、或ハ樞密院顧問ガ總辭職ヲ爲スト云フ如キ噂モアル、ストライキヲ爲シ、總辭職ヲ爲スト云フコトデアアル、私ハ却テ是ハ物怪ノ幸ト思フノデアアル、即チ政府ハ此際腰ヲ強クシテ樞密院廓清ノ計畫ヲ大ニ攻究シ、之ヲ實現スルト云フコトヲ努メナケレバナラスノデアアル、全力ヲ盡シテ之ニ從事スル覺悟ガアルカドワカ、若シ之ヲ遂グルナラバ、此政府ノ國家ニ貢獻スル所以ノモノガ甚大デアアテ、從來政府ニ幾多ノ失策ガアテモ、ソレヲ償ヒ得テ尙ホ餘リアルト云フコトヲ言得ルノデアアル、政府ハ果シテ此覺悟アリヤ否ヤヲ質問スル所以デアリマス(拍手)

ハ即チ今日ノ樞密院ノ官制ハ不備デアアル、此不備ヲ利用シテ樞密院ハ其權限ヲ擴張シ、或ハ政治ニ、或ハ議會ノ權限ニモ及シテ居ルカノ如キ御意見ニ聞エタノデアリマス、私ハ果シテ副島君ノ御述ニナリマスヤウニ、今日ノ官制ノ範圍ヲ脱シタル態度ヲ樞密院ガ執テト云フコトハ、未ダ認めナイノデアリマス、樞密院ハ樞密院ノ權限ノ範圍内ニ於テ行動シテ居ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ官制ガ完全デアアルヤ否ヤト云フコトニハ、御話ノ如ク研究スベキ餘地ガアリマセウ、併シ現在ニ於キマシテ、政府ハ官制ヲ改革シヤウト云フ意思ヲ今日ハ持テ居リマセヌト云フコトヲ御答ヘ致シテ置キマス

〔副島義一君登壇〕

○副島義一君 只今ノ總理大臣ノ御答辯ハ、私ニ於テ甚ダ不満足デアアルコトヲ遺憾トスルノデアリマス、併ナガラ如何ニ満足ナル答辯デアリマシテモ、私ハ言葉ノ上ノ御答辯ハ満足致シマセヌ、實行ノ答辯ヲ得タイ考デアアルガ、併ナガラ其實行ハ容易ノ事デアアリマセヌデセウカラ、私ハ更ニ他ノ方法ヲ以テ實行ノ端緒ヲ開キタイト云フコトヲ留保シテ置キマシテ、茲ニ質問ヲ打切りマス

○副議長(粕谷義三君) 日程第十三乃至第十五同種ノ議案デアリマスカラ、一括議題トナスニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ其通り取計ヒマス、日程第十三霧島山國立公園設置ニ關スル建議案、岩切重雄君

第十三 霧島山國立公園設置ニ關スル建議案(日野辰次君外三名提出)

霧島山國立公園設置ニ關スル建議案
霧島山國立公園設置ニ關スル建議案
霧島山國立公園設置ニ關スル建議案

第十四 奈良縣吉野郡ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案(岩本平藏君外五名提出)

奈良縣吉野郡ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

奈良縣吉野郡ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議

奈良縣吉野郡ヲ中心トスル國立公園ヲ政府ニ於テ速ニ設定セラレムコトヲ望ム
右建議ス

第十五 大日光國立公園設置ニ關スル建議

議案(松岡俊三君外五名提出)

大日光國立公園設置ニ關スル建議案

大日光國立公園設置ニ關スル建議

栃木縣日光町ノ男體山ヲ中心トシ方十餘里ノ地ハ山容秀麗且雄大ニシテ眞天下ノ偉觀タルハ夙ニ世界萬衆ノ認ムル所タリ政府ハ速ニ大日光國立公園ヲ設置シ以テ廣ク社會ヲ裨益セムコトヲ望ム
右建議ス

(岩切重雄君登壇)

○岩切重雄君 只今日程ニ上リマシタ霧島山國立公園設置ニ關スル建議案ノ說明ヲ致シマス、建議案ノ提出ノ理由ハ諸君ノ御手許ニ配布シテゴザイマスカラ、私ハ極メテ簡單ニ申上ゲタイト考ヘルノデアリマス、國立公園ノ設立ニ關シマシテハ、政府ニ於テモ色々ノ調査ヲ進メテ居ルコトヲ私聞イテ居リマス、今日ノ文化的施設ニ於キマシテ、國立公園ノ如キモノガ速ニ設置セラレルコトハ國民性ヲ涵養スル上ニ於テハ私ハ極メテ必要デアルト考ヘルノデアリマス、是ガ簡單ナル第一ノ理由デアリマス、第二ノ理由ト致シマシテ吾々ガ大國民ノ國民性ヲ養成スル上ニ於テ國家トシテ自然ヲ愛護シ天然ヲ保護シテ行クト云フコトハ、是亦極メテ必要ナル事ト考ヘマス、私共ノ建議致シマシタ霧島山一帶ハ極メテ天然ノ風光ニ富ンデ居リマス、其偉大ナル規模雄大ナル風景ハ、偉大ナル國民性ヲ養成スル上ニ於テ最モ力ノアルコト、考ヘルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ一日モ早ク國立公園ヲ霧島山一帶ニ設立セラレンコトヲ希望スルノデアリマス、最後ニ我ガ霧島山ハ畏多クモ歴史上ニ於テ皇統發祥ノ靈地トシテ今日知ラレテ居ルノデアリマス、嘗テ志賀重昂先生ガ國民新聞ノ紙上ニ於テ霧島ノ麓ニ、良多イ事デスガ日本ノ皇室ノ御學問所ヲ設立スルナラバ、以テ國家ヲ統治セラレル御精神ヲ養成スル上ニ於テ最モ當ヲ得タモノデアルト云フコトヲ述ベラレタコトガアル、是等ノ意味カラ考ヘマシテモ、私ハ霧島山一帶ガ日本ノ公園トシテ、國民教

育ノ上カラモ、國民思想養成ノ上カラ見マシテモ、最モ適切ナル次第デアルト云フコトヲ茲ニ言明スル者デアリマス、是等ノ諸點ヨリシマシテ、國立公園ガ設置セラレンコトヲ皆サシノ御協賛ニ依テ一日モ速ナランコトヲ希望スル次第デアリマス

○副議長(粕谷義三君) 次ハ日程第十四、奈良縣吉野郡ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案、提出者岩本平藏君ノ說明ヲ求メマス

(岩本平藏君登壇)

○岩本平藏君 只今上程サレマシタル奈良縣吉野郡ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案ノ理由ヲ說明シヤウト思ヒマス、只今岩切君ヨリ國立公園ノ其必要ナル事柄ニ付テハ既ニ述ベラレマシタカラ、私ハ其事ヲ省クコトニ致シマス、私ノ建議ニ係ル即チ此吉野郡ヲ中心トスルト申シマスルノハ、即チ奈良縣ノ南部ヨリ和歌山縣ニ掛ケ三重縣ニマデ互ツタ所ノ此一大山嶽、約二十里三十里位ノ間ヲ之ヲ一ツノ公園ニ致シタイト云フ大體ノ建議ナノデアリマス、此區域ハ即チ紀伊山脈、紀伊山脈トモ申シマスルシ、又吉野郡山トモ申シ、大和連峰トモ言ウテ居ルノデアリマシテ、近頃ハ之ヲ大和「アルプス」トモ云フノデアリマス、此山脈ノ脊梁ヲ成スノヲ熊野ノ方ヨリ段々申シマスナラバ、吉野山ニ至ル所ノ連山デ、最モ著名ナルモノヲ舉ゲマスレバ、先ヅ那智ヨリ始メ玉置山、地蔵ヶ嶽、笠捨、大日ヶ嶽、釋迦ヶ嶽、佛生ヶ嶽、明星ヶ嶽、孔雀ヶ嶽、八經ヶ嶽、彌山、普賢、彌勤、七囀、山上、斯ウ云フ風ナアノ即チ大和「アルプス」全體ヲ唱ヘルノデアリマス、併ナガラ今日大和「アルプス」ト申シマシテモ、又日本「アルプス」ト申シマシテモ、本當ノ實際ノ歐羅巴「アルプス」ニハ全ク及バナイ事ハ勿論デアリマスルガ、是ハ矢張中世代ノ前半ニ於テ、其當初ニハ矢張此世界の「アルプス」ノヤウナ山デアッタ事ハ想像ヲ得ラレルトハ、ソレノ學者ノ言テ居ル所デアリマス、現今其山ニ殘テ居リマス所ノ種々ナル動植物等ニ付キマシテ、ソレニ依テ想像致シマシテモ、矢張今日「アルプス」ノヤウナ堂々タル山嶽デアッタ事ハ想像シ得ラレルノデアリマス、而シテ此山ヲ先ヅ以テ一番先ニ踏破致シマシタモノハ、神武天皇東征ノ際ハ咫鳥ガ此山嶽ヲ通過シタト云フコトガ、矢張此踏破ノ一番最初デアリマス、其後今ヨリ千二百年程前、彼ノ行者ガ再び其道筋ヲ通ツテ、其通り方モ矢張咫鳥ガ、神武天皇ヲ嚮導シタト同ジヤウニ、熊野ヨリ吉野ヘ出タノデアリマス、ソレレ其後此役ノ行者

ハ熊野一帶ヲ修驗道ノ本道場ト致シテ世ニ山上詣リト言ウテ今日ニ至ツテ、矢張引續イテ山ヘ登ツテ居ルノデアリマス、ソレデ熊野ノ本宮カラ此吉野村ニ至ルマデノ間ハ之ヲ七十五麓ト言フテ、其間ニ色々ナ名所ガ澤山アルノデアリマス、殊ニ此山上ケ岳マデハ從來陛下トシテモ宇多、白河ノ兩帝ガ御登リニナタ歴史モアリマス、其後聖護院ノ宮ト云フノハ二十三代、一代毎ニ必ズ登ラレテ居ル、近頃ニ當ツテ毎年約二十万ノ登山者ガアルノデアリマス、斯様ニ山脈附近ノ史蹟ニ付テハ、吉野山ノ史蹟ニ付テハ今更喋々スル必要ハアリマセズ、其附近ニハ澤山ナル名所アル事ハ諸君ノ御存知ノ通り、例ヘバ丹生川上官幣社ノ如キ、或ハ智名生宮趾ノ如キ或ハ大塔宮ノ十津川ヲ通過サレタガ如キ、或ハ北山宮ノ舊蹟トカ、近クハ天誅黨ノ旗ヲ揚ゲテ終末迄ノ史蹟等モアノ一帶ニ在ルノデアリマス、サウシテ其山ノ「一帶」ノ群峰ノ雄大ナル事ニ付キマシテハ、是亦申ス迄モアリマセヌノデアリマシテ、其上ニ植物ノ實ニ珍ラシイモノ、澤山アル事ハ、是ハ恐ラク日本何レノ所ニ行ツテモ、餘リ類ノ無イ所デアラウト思フ、即チ其中ノ彌山ノ「シラベ」ノ張林釋迦岳ノ唐檜林、或ハ綠ノ鼻ニ於ケル所ノ高野槇ノ森林、斯ウ云フヤウナモノ、其他殊ニ佛經岳ニ於ケル大山「レンゲ」天普賢岳ノ石南花、斯ウ云フヤウナ外ニハ餘リ無イヤウナ植物ガアルノデアリマス、而シテ此一帶ノ植物ハ寒帶植物モ溫帶植物モ暖帶植物モアルノデアリマス、日本「アルプス」ノ如キニ至ツテハ、此暖帶植物ハアノ地方ニハアリマセズ、即チ高山性植物中山性植物トシテハ、總テノ大峰山連峰及大臺ヶ原山等ニハ總テニハ分布サレテ居ルノデアリマス、此植物中ニ於キマシテモ、是ハ諸君モ御存知デゴザイマセウガ、樺ノ如キハ現世ニ於キマシテ北亞米利加ト日本ノ西南臺灣、此方面ニ分布サレテ居リマスルガ、是ハ最モ此松柏科ノ中ノ植物トシテ誠ニ珍ラシイモノニナツテ居ルノデアリマス、就中此虎ノ尾樺、虎ノ尾樺ト云フモノハ是ハ全ク前世紀紀カラ遺テ居ル所ノ植物デアリマシテ、今ノ世ニ於テハ段々絶滅ニ近付キツ、アリマス、多少ノ森林帶ヲ成シテ居ルモノハ富士山ノ麓ノ一部ニアルノト、大臺ヶ原山ノ一部ニアルガデ、是ハ世界ノ何レヲ見テモ斯ウ云フ植物ハ無イノデアリマス、又動物ト致シマシテモ是亦或ル亞米利加ノ理學者ノ如キモ、全ク世界ノ逸品デアルト云フモノガアル、ソレハ何デアアルカト云フト、大臺ヶ原山ニハ尾部ノ上下ノ平タイ所ノ井守、即チ諸君モ御承知ノ如ク、井守ノ尾ハ必ズ上下ニ廣イ、大臺ヶ原山ニ居

ルノ、横ベタタイ、斯ウ云フモノハ世界ノ何レニモ無イ、全ク世界ノ珍品デアルト云フ動物、其他吉野ノ駒鳥佛法僧、斯ウ云フヤウナモノモ貴イ動物デアリマス、斯ノ如キ動物ハ實ニ世界ノ珍品ニシテ、日本ノ國寶トシテ、又吉野ノ誇トシナケレバナラヌデアリマス、是レ即チ國立公園トシテ斯ウ云フヤウナ動物ノ將ニ絶滅セントスルヤウナモノヲ相當保護シ、斯ウ云フモノヲ世界ニ紹介致ス、斯ウ云フ事ハ最モ此地方ヲ國立公園トスル必要ナル要素デアルト吾々ハ信ズルデアリマス、而シテ此山脈ハ申ス迄モナク、大體ハ六千尺内外ノ馬鹿ニ高イ山デアリマス、此處ニ登ルニハ子供デモ女デモ譯ナク登レルデアリマス、茲一二年ノ間ニハ大臺ヶ原山ニハ自動車ヲ通ルヤウニナルデアリマス、而モ此五千尺以上モアル大平原デアラ、其處ニ種々ナルサウ云フ動物ノアル上ニ、景色ト申シマシテモ南ノ方ニハ太平洋ヲ見、東ノ方ニハ伊勢海ヲ見ル、サウ云フ風ナ非常ニ景色ガ佳イ、又衛生上カラ申シマシテモ、夏ハ避暑地ト致シマシテモ、非常ニ都合ノ好イ處デアルデアリマス、尙ホ關係の要素ト致シマシテハ、即チ近クニ大都市ノ大阪アリ或ハ京都アリ、神戸アリ、アノ附近ハ高イ山ハアリマセヌガ、其處ヘ來ルニ至、テモ僅カ數時間デアリ来ルコトモ出來、自動車デア行クコトモ出來ル、サウ云フコトニナリマスカラ、即チ直接ノ必要要素ト致シマシテモ、關係の要素ト致シマシテモ、斯ウ云フ國立公園ト致シマシテハ、完全ニ具テ居ルト吾々ハ信ズルデアリマス、而モ此少シ南ノ方ヘ行キマシレバ、有名ナ海八丁、熊野ノ三山ガアリ、東ノ方ヘ參リマシレバ、伊勢ノ大杉谷ノ絶景、斯ノ如キ著名ナモノガアリマスカラ、世間ニ多ク知ラレナイノ甚ダ遺憾トスルデアリマスカラ、政府ニ於テハ速ニ是等ヲ調査致シ、早ク國立公園ヲ設立サレンコトヲ希望スルデアリマス、而シテ是等ニ付テハ相當ニ内務省ニ於テモ調査ヲ致シ、或ハ活動寫眞ヲ撮リ、ソレハ是レ相當ノ調査ハ進メテ居リマスカ、何卒一日モ早ク實現セラレンコトヲ希望スル爲ニ、本案ヲ提出シタ所以デアリマス

〔松岡俊三君登壇〕

○副議長(粕谷義三君) 次ハ日程第十五、大日光國立公園設置ニ關スル建議案、提出者松岡俊三君

○松岡俊三君 私ハ大日光國立公園設置ニ關スル建議案ニ付テ其趣旨ヲ陳述スルモノデアリマス、日光並ニ富士ハ帝國ニ於テ名勝ノ地デアルト云フコトハ殆ド言フ俟タナイ、所デアリマス、故ニ極ク簡單ニ申上ゲルデアリマス、大日光國立公園ニ關シテハ、過去十數年ノ間熱心ニ其關係地方民ガ請願ヲ帝國ノ兩院ニ提出シタデアリマス、漸ク第四十五議會ニ於テ、貴族院ハ初メテ之ヲ採擇セラレタデアリマス、權威アル此兩院ガ大日光國立公園ヲ設置スルト云フコトニ付テ、請願ヲ御採擇セラレタ、此事實ニ照シマシテモ、如何ニ必要デアルカト云フコトハ申上ゲルデアリマス、如何ニ必要デアルカト云フコトハ申上ゲルデアリマス、唯、我栃木縣ニ於テハ日光ヲ中心トシタル山嶽ガ重疊シテ居リマス爲ニ、河水常ニ氾濫シ殆ド其經營ガ之ヲ負擔スルコトガ出來ナイ程度ニアリマス、故ニ此大日光國立公園ニ關シ、大正二年度度長多クモ陛下ヨリ御下賜ニナリマシタ御下賜金ニ依リマシテ、縣當局ニ於テ殆ド十回ニ跨リテ調査ノ歩ヲ進メタデアリマスカレドモ、奈何セン之ヲ完成スルノ途ガ無イデアリマス、殊ニ中禪寺湖ノ畔ノ如キ文明國民ガ一度此中禪寺ニ參リマシタナラバ、彼ノ湖畔ヲ一巡スル道路サハ無イト云フ其貧弱ナル程度ヲ見マシタナラバ、大凡帝國ニ來タナラバ富士及日光ヲ見タイト思フ外國人ガ、斯ノ如キ貧弱ナル狀態ニハ嘔吐落膽失望スルダラウト思フデアリマス、私ハ敢テ我田引水ノ説ヲ爲スモノデアリマセヌケレドモ、帝國ノ名勝ノ誇トシテ富士及日光ト云フコトガ世界全體ニ誇テ居ル今日ニ於テ、其外國人ガ日光ニ來リマシテモ、彼ノ名勝ノ寔ニ立派ナ中禪寺湖畔、男體山ヲ中心トシテ彼ノ附近一體ニ完全ナル道路モ無イト云フコトハ、寔ニ國民トシテ恥ゾル事デアラウト思フデアリマス、故ニ男體山ヲ中心トシテ北ハ鹽原方面ニ通ズル所ノ奇勝ヲ探リ、又南ノ方ハ湯元ヲ通り金水峠ヨリ群馬縣ノ尾瀬沼ノ方ニ至ル道路、又中禪寺湖畔ノ巡回ノ道路ヲ作成シテ、彼ノ馬琴ノ八犬傳ニ依リテ有名ナル所ノ庚申山方面ニ至ル所ノ道路ヲ造リ、サウシテ完全ナル道路ヲ造リマシタナラバ、三百萬人ノ民ヲ有シテ居ル所ノ大東京ニ接近シタ所ノ、最モ立派ナル國立公園トシテ、國內ノ學生其他ノ人ニ向テ、十分ナル保健ノ途並ニ見學ノ途或ハ高山植物等ニ付テ十分ナル知識ヲ與ヘルノミナラズ、外國人ニ向テ帝國ノ誇トシテ之ヲ大ニ傳ヘル所ノ途ガ出來ルデアラウト思フデアリマス、内務當局ニ於テハ數年前ヨリ熱心ニ調査ナサレテ居リマスカレドモ、幸ニ貴族院ニ於テ十年ノ請願ガ初テ御採決ニナツタ其經驗ニ照シ、此實績ニ照ラシマシテモ、必ズヤ内務當局ガ相當ノ案ヲ出サレルコトデアラウト思ヒマスカレドモ、尙ホ一日モ早ク達成シタイト云フ熱心ヲ以テ本案ヲ提出シタ所以デアリマスカラ、滿場ノ諸君ニ於カレ

光國立公園ニ關シテハ、過去十數年ノ間熱心ニ其關係地方民ガ請願ヲ帝國ノ兩院ニ提出シタデアリマス、漸ク第四十五議會ニ於テ、貴族院ハ初メテ之ヲ採擇セラレタデアリマス、權威アル此兩院ガ大日光國立公園ヲ設置スルト云フコトニ付テ、請願ヲ御採擇セラレタ、此事實ニ照シマシテモ、如何ニ必要デアルカト云フコトハ申上ゲルデアリマス、如何ニ必要デアルカト云フコトハ申上ゲルデアリマス、唯、我栃木縣ニ於テハ日光ヲ中心トシタル山嶽ガ重疊シテ居リマス爲ニ、河水常ニ氾濫シ殆ド其經營ガ之ヲ負擔スルコトガ出來ナイ程度ニアリマス、故ニ此大日光國立公園ニ關シ、大正二年度度長多クモ陛下ヨリ御下賜ニナリマシタ御下賜金ニ依リマシテ、縣當局ニ於テ殆ド十回ニ跨リテ調査ノ歩ヲ進メタデアリマスカレドモ、奈何セン之ヲ完成スルノ途ガ無イデアリマス、殊ニ中禪寺湖ノ畔ノ如キ文明國民ガ一度此中禪寺ニ參リマシタナラバ、彼ノ湖畔ヲ一巡スル道路サハ無イト云フ其貧弱ナル程度ヲ見マシタナラバ、大凡帝國ニ來タナラバ富士及日光ヲ見タイト思フ外國人ガ、斯ノ如キ貧弱ナル狀態ニハ嘔吐落膽失望スルダラウト思フデアリマス、私ハ敢テ我田引水ノ説ヲ爲スモノデアリマセヌケレドモ、帝國ノ名勝ノ誇トシテ富士及日光ト云フコトガ世界全體ニ誇テ居ル今日ニ於テ、其外國人ガ日光ニ來リマシテモ、彼ノ名勝ノ寔ニ立派ナ中禪寺湖畔、男體山ヲ中心トシテ彼ノ附近一體ニ完全ナル道路モ無イト云フコトハ、寔ニ國民トシテ恥ゾル事デアラウト思フデアリマス、故ニ男體山ヲ中心トシテ北ハ鹽原方面ニ通ズル所ノ奇勝ヲ探リ、又南ノ方ハ湯元ヲ通り金水峠ヨリ群馬縣ノ尾瀬沼ノ方ニ至ル道路、又中禪寺湖畔ノ巡回ノ道路ヲ作成シテ、彼ノ馬琴ノ八犬傳ニ依リテ有名ナル所ノ庚申山方面ニ至ル所ノ道路ヲ造リ、サウシテ完全ナル道路ヲ造リマシタナラバ、三百萬人ノ民ヲ有シテ居ル所ノ大東京ニ接近シタ所ノ、最モ立派ナル國立公園トシテ、國內ノ學生其他ノ人ニ向テ、十分ナル保健ノ途並ニ見學ノ途或ハ高山植物等ニ付テ十分ナル知識ヲ與ヘルノミナラズ、外國人ニ向テ帝國ノ誇トシテ之ヲ大ニ傳ヘル所ノ途ガ出來ルデアラウト思フデアリマス、内務當局ニ於テハ數年前ヨリ熱心ニ調査ナサレテ居リマスカレドモ、幸ニ貴族院ニ於テ十年ノ請願ガ初テ御採決ニナツタ其經驗ニ照シ、此實績ニ照ラシマシテモ、必ズヤ内務當局ガ相當ノ案ヲ出サレルコトデアラウト思ヒマスカレドモ、尙ホ一日モ早ク達成シタイト云フ熱心ヲ以テ本案ヲ提出シタ所以デアリマスカラ、滿場ノ諸君ニ於カレ

〔委員會ニ譲リ給ヘト呼フ者アリ〕

○高田松平君 議長

○副議長(粕谷義三君) 高田君何デスカ

○高田松平君 私ハ此問題ニ付テ政府ノ意見ヲ聽キタイト思ヒマス、大臣或ハ其他ノ人ト...

○副議長(粕谷義三君) ソレデハ留保シテ御置キニナツタ如何デスカ

○高田松平君 内務當局ノ來ラレルマデ私ハ質問ヲ留保シテ置キマス

○高見之通君 日程第十三乃至第十五ノ三案ヲ一括シ議長指名ヲ以テ九名ノ委員ニ付託サレムコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、依テ動議ノ如ク決シマシタ、次ニ日程第十六、日足鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、松岡俊三君

第十六 日足鐵道速成ニ關スル建議案

(松岡俊三君提出)

日足鐵道速成ニ關スル建議案

日足鐵道速成ニ關スル建議案

栃木縣上都賀郡日光驛(日光線)ヨリ足尾驛(足尾線)ニ遠スル十五哩間ノ日足鐵道ハ鐵道敷設法別表中ニ編入セラレ居ルノミナラス産業上交通上特ニ大日光國立公園設置計畫調査地帯内ニ在ル極メテ重要ナル線路タリ政府ハ速ニ敷設完成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○松岡俊三君 簡單デアリマスカラ本席カラ御許ヲ願ヒタクウゴザイマス、本案ハ昨年ノ議會ニ於テモ御採擇ニナツテ居ル案デアリマス、何卒御協賛下ラムコトヲ御願ヒ致シマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○高見之通君 本案ハ中野寅吉君外三名提出、柳澤小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案ノ委員二併セ付託セラレムコトヲ望ミマス

〔贊成〕下呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、依テ動議ノ如ク決シマタリ。次ハ日程第十七、自由港設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、野田文一郎君

第十七 自由港設置ニ關スル建議案(野田文一郎君外四名提出)

田文一郎君外四名提出

自由港設置ニ關スル建議案

自由港設置ニ關スル建議

國際的經濟競争ニ優越ノ地位ヲ占メ、國力ヲ増進スルノ途一ニ外國貿易ノ伸張ヲ圖リ併テ海運業ノ發達ヲ期スルニ在リ此ノ目的ヲ達スルノ途一ニシテ足ラスト雖我カ國天然ノ地形ヲ利用シ適當ノ地點ヲ選ミテ自由港區ヲ設置スルヲ以テ最良ノ政策ナリト信ス政府ハ速ニ適當ノ施設ヲ爲サムコトヲ望ム

右建議ス

○野田文一郎君 私ハ自由港設置ニ關スル建議案ニ付キマシテ聊カ提案ノ理由ヲ説明致シタイト思ヒマス、自由港問題ハ、近頃世間一般ノ注意ヲ惹キマシテ、實業家方面ニ於テモ、或ハ學者方面ニ於テモ各、意見ヲ發表致シマシテ、此問題ノ解決ニ對シテ、參考トナルベキ材料ヲ色、提供ヲセラレ、其自由港ノ開設ニ對スル促進ノ機運ヲ作リツ、アルト云フコトハ、私ノ最も喜ブ所デアリマス、自由港設置ノ議論ガ盛ニ提唱サレマスノハ、單リ我國ノミナラズ、保護貿易主義ヲ取テ居リマシテ、ドウシテモ之ヲ緩和スル方法ヲ講ジナケレバナラズ必要ヲ感ジタ國ニ於テハ何レモ熱心ニ研究シ又自由港ノ設置ニ向テ運動シツ、アルデアリマシテ、諸君ノ御承知ノ如ク、米國ニ於テモ桑港ト紐育トノ兩方ニ於テ、何レモ大規模ノ自由港ノ設置ヲ希望致シマシテ、色々調査モシ、運動モシテ居ルト云フ事實モアリマス、又更ニ最近千九百二十二年ノ九月ニ、瑞典ノ「マルモ」港モ矢張自由港ニ編入セラレマシテ、其他佛蘭西ナドニ於テモ、矢張自由港設置ノ議論ガ盛ニナリツ、アルデアリマシテ、今ヤ世界ノ到ル所ニ於キマシテ、保護貿易主義ヲ緩和スル爲ニハ、自由港設置ノ必要ガアルト云フ事ヲ認メラレテ居ルデアリマスカラ、今日其必要ニ付テ、餘リ多ク説明ヲスル必要ガナイト信ジマスレドモ、成ベク要點ヲ擷ンデ申上ゲ

タイト思ヒマス、農村振興ノ問題モ亦近頃頗ル重要視セラレマシテ、此議場ニ於テモ農村振興ノ問題ハ、建議案其他ノ形式ニ於テ屢、論議セラレタデアリマシテ、私モ亦今日ノ農村ヲ振興スルニ付テ、有ユル政策ヲ實行スルコトノ必要ナルコトハ、認メテ居リマスノデ、勿論之ニ對シテ異議ナキノミナラズ、滿腔ノ贊意ヲ表スル一人デアリマスガ、併ナガラ内ニ在テ如何ニ農業政策ガ完成ヲ致シテ、農村ガ振興ノ實ヲ舉ゲマシテモ、私ハソレノミヲ以テ満足スルコトハ出来ナイモノデアルト信ジマス、國家ノ永遠ノ隆昌ヲ圖ル方法トシテハ、農業政策ノ外ニ、更ニ商工業ヲ最モ盛ナラシムルト云フコトニ付テ、深甚ノ注意ヲ拂ヒ、出來得ルダケノ努力ヲ致サナケレバナラズト云フコトヲ深ク感ズルデアリマス、一々統計ヲ舉ゲテ申上ゲル迄モナク、我國ハ面積ハ狭ク、而シテ天然ノ富源ハ極メテ乏シイデアアル、一面ニ於テ人口ハ世界第四番目ニ位スル所ノ、極メテ稠密ナル人口ヲ持テ居ルデアリマシテ、而モ此人口ハ年々約六十萬ト云フ多數ノ増加ヲシツ、アルデアリマスカラ、如何ニ農村振興ノ實ヲ舉ゲテ努力ヲ致シマシテモ、此吾々同胞ノ食糧問題ヲ解決スルニ付テハ、農村振興ノミヲ以テ満足スルコトハ出来ナイト云フコトハ、深ク辯ズル必要ハナイト、信ズルデアリマス、私共二十年以前ニ食糧問題ナルモノヲ聞キマシタトキニハ、是ハ學者ノ机上ノ議論デアルトシテ、深ク注意ヲ拂ハナカク、今デアリマスレドモ、今日ハ既ニ二年ニ依リマシテ食糧ノ不足ヲ現實ニ感ズルデアラテ、如何ニ食糧問題ガ吾々ノ重大問題デアアルカト云フコトニ付テ、今更ノ如ク感ゼザルヲ得ヌト云フコトノ状態ニナタデアリマス、如何ニ開墾助成法ニ依テ開墾ヲ獎勵シ、又農業ノ技術ノ改良ヲ圖テ増收ヲ圖リマシテモ、如何ニシテモ他ニ何等カノ方法ヲ講ズルニアラズンバ、吾々ノ食糧問題ヲ解決スルコトハ出来ナイデアリマス、併ナガラ海外移民ト云フコトモアリマスガ、先日小川平吉君ハ移民ニ付テハ、極メテ容易ニ出來ルモノノ如ク御述ベニナリマシタガ、併シ今日ノ状態ハ、我國ノ移民政策ハ行詰リデアラテ、何レノ方面ニ向テモ思フヤウニ行カナイト云フコトガ實際ノ事實デアアル、故ニ移民ト云フコトニ重キヲ措イテ、吾々ハ安心ヲスルト云フコトハ無論出來マセヌ、又ソレガ出來ナケレバ已ムヲ得ズンバ産兒制限ヲスルト云フコトニナリマセウガ、是ハ結局民族ノ滅亡ヲ來スト云フコトノ結果ニ相成ルデアリマスカラ、無論斯様ナ事ノ政策ヲ執ルコトノ出來ナイコトハ論フ俟チマセヌ、斯様ナ次第

デアリマスルカラ、商工業ヲ盛ナラシムルト云フコトガ最も大切ナル問題デアラテ、是ハ農村振興ニ讓ラザル重大ナル問題デアルト信ジマスルガ、併シ或ハ此方面ニ向テハ多大ノ注意ヲ拂ハザルガ如キ嫌ノアル遺憾ノ點モアリマス、故ニ私ハ我國ノ商工業ヲ盛ナラシメ、海運業ノ發達ヲ圖ルコト云フコトノ方法ト致シマシテ、保護貿易主義ノ下ニ自由貿易主義ノ長所ヲ採テ、此缺陷ヲ補ヒマシテ、之ニ由テ産業貿易ノ發達、海運業ノ獎勵ヲスルト云フコトガ、今日ノ最モ急務デアルト信ズルデアリマシテ、此理由ニ基キマシテ私ハ自由港ノ設置ヲ主張スルモノデアリマス、自由港ノ如何ナルモノデアアルカト云フコトハ、私ガ今茲ニ申上ゲルマデモナク、諸君ノ御承知ノコトデアリマスレドモ、併シ單ニ自由港ト申シマシテモ、其中ニハ細別ヲ致シマスルト色々デアリマスルカラ、簡單ニ要ヲ摘ンデ申上ゲタイト思ヒマス、申ス迄モナク自由港トハ、港ノ全部若クハ一部ヲ全然開港ノ拘束外ニ置イテ、開港ノ支配ヲ受ケルコトナキコトニ致シマシテ、出入ノ船舶ニ對シテハ自由ニサセル、一口ニ申セバ之ガ自由港デアリマスルガ、併シ其自由港ニハ、普通區別ヲ致シマスレバ三ツニナルデアアル、第一ハ自由港市、詰リ商港ノ全部ヲ一商港ノ全部ヲ開港ノ拘束外ニ置キマシテ、唯、港灣ノ設備利用ニ關スル料金ノ外ハ、一切ノ輸出入稅ヲ免除スル、斯ウ云フコトハ制度デアリマスガ、諸君ノ御承知ノ如ク、此自由港市ハ種々ナル缺點ガアルト云フコトデ、近來ハ殆ドナクナテ居ルデアリマス、唯、纒ニ其背後地一港ノ背面ノ地、此背後地ト全然關係ノ無イヤウナ所トカ、若クハ遠ク本國ヲ離レタル亞細亞ノ方面ニ於テ殘テ居リマスレドモ、併ナガラ自由港市ハ今日何レモ閉鎖セラレ運命ニアルデアリマシテ、特別ノ事情ガナイ限リハ斯ノ如キ制度ヲ我が内地ニ採用セラレントスルコトハ、時代錯誤デアリマシテ、私ノ主張スルノハ、斯ノ如キ自由港市デハナイデアリマス、第二ハ自由港區デアリマシテ、矢張港ノ全部若クハ一部ヲ開港ノ拘束外ニ置クデアリマシテ、其點ハ自由港市ト同様デアリマスガ、唯、自由港市ト異ル所ハ、自由港市ニ在テハ其市ニ居住ノ自由ヲ許シマスレドモ、自由港區ニ在テハ居住ノ自由ヲ許サナイ、此點ガ自由港市ト異ルデアリマシテ、即チ獨逸ノ漢堡、丁抹ノ「コッペンハーゲン」、斯ノ如キ自由港區ヲ指スデアリマス、其外自由港區ト云フヤウナモノモアリマスガ、是モ私ハ其開設ヲ要求スルモノデアナイデアリマスカラ省略ヲ

致シマス、要スルニ私ノ開設ヲ望ムモノハ自由港區デアリマス、第二ノ自由港區デアリマシテ、之ニ對シマシテハ産業貿易海運ノ獎勵ノ爲ニ、多大ナル利益ガアルト云フコトヲ深く信ズルモノデアリマス、先ヅ其效果ノ重ナルモノヲ擧ゲマスレバ、中繼貿易ヲ盛ナラシメルト云フコトノ效果ガアル、又第二ノ顯著ナル效果ト致シマシテハ、委託販賣ノ制度ガ發達スル、外國カラ送テ參リマス品物ヲ自由港區ノ倉庫ニ入レテ置イテ、倉庫證券ヲ發行スル、倉庫ヲ倉庫證券ニ依リマシテ品物ヲ賣買スル、或ハ内地ニ於テ賣買スルトカ、更ニ他ニ輸出スルトカ、荷主ハ免モ角自由港區ニ荷物ヲ送テ置イテ、而シテ倉庫證券ニ依テ貨物ノ賣買ヲ致シマスカラ、頗ル便利デアルト云フコトハ、英國倫敦等ニ行ハレテ居ル事例ニ依テ明白デアリマシテ、是モ細カク申上ゲル必要ハナイト信ジマス、更ニ又我國ノ貨物ハ勿論、自由港ガ出來マスレバ、自然外國ノ品物モ多ク入テ來ルヤウニナリマスカラ、我國ノ貨物ハ勿論、第三國ノ取引ニ係ル貨物ト雖モ、矢張我國ノ船舶ニ依テ運輸スルト云フコトニナリマスレバ、海運業ノ發達ノ上ニ於テ、多大ナル效果ノアルコトハ論ヲ俟テマセズ、先ヅ是等ガ普通顯著ナルモノトシテ擧ゲラレテ居ル利益デアリマスガ、自由港區ガ日本ニ出來タト云フコトニナリマスレバ、ソレダケ日本ノ看板ガ付ク譯デアアル、港ニ金看板ガ出來ル譯デアリマスカラ、自然外國カラ此自由港區ニ向テ容易ニ荷物ヲ送ルコトニナリマスカラ、直接間接ニ擧ゲテ算フルコトノ出來ナイ利益ガアルト云フコトヲ信ズルノデアリマス、或ハ極メテ少數デアリマスケレドモ、一部ノ人ハ自由港區ヲ設ケズトモ、我國ニハ現ニ保護貿易政策ニ對スル緩和ノ方法トシテハ、保税倉庫ノ制度モアリ、假置場ト云フコトモアリ、又更ニ戻稅ノ制度モアリマス、カ、之ニ依テ自由港ニ依テ得ベキ利益ハ擧ゲ得ラレルノデアルカラ、今日財政緊縮ヲ要スル時代ニ於テ、多額ノ金ヲ使テサウ云ウヤウナ事ヲスル必要ハナカラウト云フコトヲ論ゼラレル者ガアルノデアリマスガ、併ナガラ詳細ニハ申シマセズガ、保税倉庫、假置場、若クハ戻稅ト云フガ如キ制度ハ、要スルニ手續煩瑣デアラ、到底自由主義ヲ認メルダケノ十分ナル效果ヲ發揮スルコトガ出來ナイノデアリマシテ、恰モ間造リノ便利ノ惡イ家ガアテ、其家ハ如何ニ修繕ヲ加ヘテモ立派ナモノニハナラナイカラ、寧ろ新シキ座敷ヲ造リマスナラバ、客モ心持宜ク其處ニ來ルト云フコトニナルト同ジ事デアリマシテ、斯様ナル制度——現在ノ制度ヲ繕ヒスルト云フコトヨリハ、更ニ一歩ヲ進メテ自

由港ニスルト云フコトニナリマスレバ、頗ル大ナル效果ガアルト云フコトヲ確信ヲ致スモノデアリマス、併ナガラ自由港區ヲ作ルニ付テハ、果シテ何ノ地點ヲ擇ンデ之ヲヤルカト云フコトノ問題ヲ生ズルノデアリマス、自由港區ヲ開設ヲ致シマスレバ、其港ハ、頗ル繁榮スルト云フコトハ明ナ事實デアアル、隨テ何レノ港ニ於テモ其開設ヲ要望スルコトニナルデゴザイマセウガ、併ナガラ吾々ハ極テ公平ナル考ヲ持テナケレバナラスノデアラ、自由港ノ開設ハ、我帝國ノ最高經濟政策トシテ之ヲ主張スルノデアリマスカラ、單ニ地方ノ利害ノ問題ニ依テ彼此論議スベキモノデアナイト信ジマス、既ニ此國家的ノ見地ヨリ候補地ノ選定ヲスルト云フコトニナレバ、其以上ハ深ク申上ゲズトモ中繼貿易ニ於テ只今全國ノ總テノモノヲ併セマシテモ、ソレヨリモ尙ホ多クノ額ヲ擧ゲテ居ルモノハ神戸デアリマスカラ、恐ラクハ斯様ナ方面ガ候補地トシテ選定セラレルコトハ當然ノ事ト信ジマスガ、併シ私ハ今候補地ニ付テ唯、一片ノ感ヲ申シタノデアラ、此點ニ迄深ク論及スル考デアナイノデアリマス、要スルニ是ハ國ノ最高政策トシテ爲スベキ問題デアラ、地方問題デアナイト云フコトヲ此處ニ特ニ一言ヲ致シテ置クノデアリマス、又其經營者ハ如何ナル人ニ依テ經營セシムルカト云フコトデアリマスガ、外國ノ例ニ依リマスレバ、政府ガ直接自由港ノ經營ヲ致シテ居ル所ハナイヤウデアアル、或ハ會社ニ於テシテ居ル、是ハ他日政府ニ之ヲ買收スルト云フ條件ノ下ニ於テ行ハレテ居ルモノデアアル、或ハ市ニ於テヤテ居ルモノモアル、之ヲ如何ニスルカト云フコトハ、最も大切ナル問題デゴザイマセウガ、私ノ只今考ヘテ居ル所ハ、或ハ半官半民ノ經營ト云フガ如キコトハ、蓋シ適當ナル方法デアナイカト考ヘマス、併シソレ等ノ點ハ更ニ専門家ノ意見等モ徵シマシテ、設備經營者等ニ付テハ研究ノ餘地ガアルト信ズルノデアリマス、今日國內ニ於キマスル港灣——小サイ港灣トカ或ハ鐵道トカ云フ斯ウ云フモノニ付テハ、諸君モ多大ナル御注意ヲ御拂ヒニナシテ、鐵道ノ建設等ニ付キマシテ最も御盡力ニナルノデアリマスカラ、更ニ我國ノ立場ヲ御考ヘニナリマシテ、ドウシテモ我國ハ船舶ニ依テ交通ヲシナケレバナラスノデアアル、貿易ニ依テ立タナケレバナラナイ國デアルト云フコトノ御考ヘテ願ヒマシテ、此内地ニ於ケル港灣鐵道ニ對スル諸君ノ御努力ヲ、更ニ此方面ニ向テ御用ヒアラフコトヲ切ニ希望セザルヲ得ヌノデアリマス、若シ此自由港ニシテ成立ヲ致シマスレバ、我國ハ東洋ニ於テハ最も優勝ナル地位ヲ占メテ居ルノデアリマシ

テ、一方ニ對シテハ支那大陸ヲ控ヘテ居ル、他日露國ト通商ヲ開クニ至レバ、比方面トノ貿易モ頗ル多大ナルモノガアリマセウ、又南洋諸方面ニ於テ是等ノ關係ヲ見レバ、恰モ英國ノソレニ似タモノガアテ、日本ハ所謂東洋ノ英國デアルト云フガ如キ地位ヲ占メテ居ルノデアリマスカラ、此大局ヨリ著眼致シマシテ、先ヅ第一ニ自由港ヲ設置シ、サウシテ世界ニ於ケル少クモ東洋ニ於ケル貿易ノ中心ハ我日本帝國デアアル、斯ウ云フコトノ事實ヲ見マシテ、始メテ吾々ノ食糧問題ト云フモノモ解決ガ出來ル、即チ國土ノ狭イ富源ノ乏シキ我國ハ、支那露國方面、其他ノ方面ヨリ安キ原料ヲ持テ參リマスレバ、食糧ハ出來ル、工業原料モ亦外國ヨリ取テ安イ品物ヲ造テ海外ニ輸出ヲスル、斯様ナコトニシテ始メテ我國ハ完全ニ其富ヲ致スノデアラ、吾々共ハ内ニアテ農村問題ヲ解決シ、食糧ノ充實ヲ得テ、唯、糊口ヲ凌ギ、寒暑ニ堪ヘ、雨露ヲ凌グト云フ、所謂此肉體ノ衣食住ヲスルト云フコトノミヲ以テ満足スベキモノデアナクシテ、少クトモ吾々ハ日本民族トシテ、文明的ノ生活ヲシテ、世界ノ文明ニ貢獻スルト云フダケノ、大使命ヲ帶ビテ居ルト云フコトノ自覺ヲ持テナケレバナラスノデアリマシテ、此見地ヨリ考ヘマスレバ、内ニ於テノ農村振興ト云フガ如キ——云フガ如キト申シテハ、之ヲ輕ンズルヤウニ聞エマスガ、ソレ等ノ問題ノミヲ以テ満足スベキモノデアナクテ、ドウシテモ自由貿易主義ノ長所ヲ採テ以テ我國ノ發展ヲ圖リ、國家永遠ノ隆昌ヲ圖ルト云フコトガ、今日吾々ノ執ルベキ最も賢明ナル政策ナリト信ジマスガ故ニ、斯様ナ理由ヲ以テ本案ヲ提出シテ次第デアリマス、願クバ諸君速ニ御賛成アラフコトヲ希望致シマス

○高見之通君 本案ハ大島實太郎君外二名提出、舞鶴軍港廢止ニ伴フ地方善後ニ關スル建議案委員ニ併セ付託セラレンコトヲ希望致シマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ 次ハ日程第十八、産業組合中央金庫設置ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス、土井權大君

第十八 産業組合中央金庫設置ニ關スル 建議案(土井權大君提出)

産業組合中央金庫設置ニ關スル建議案
産業組合中央金庫設置ニ關スル建議案

產業組合ハ社會政策實行ニ最必要ナル經濟組織タルハ
今更之ヲ贅スルノ要ナシ而シテ本邦ニハ既ニ其ノ數一萬
ヲ超過ス然リト雖組合相互ノ連絡トク有無相通スルノ
作用ヲ缺如シ組合ノ眞目的ヲ達スル能ハサルヲ現狀ナリ
特ニ庶民階級唯一ノ金融機關タル信用組合ニ至リテ其
ノ甚シキモノアリ茲ニ於テ中産階級及中産階級以下
ノ金融ハ圓滿ヲ缺キ彼等ノ福利ヲ増進スル能ハサルノ現
狀ナリ依テ政府ハ此等信用組合ノ連絡ヲ保チ加ヘ系統
的ニ庶民金融ヲ圖ル爲メ產業組合中央金庫設置ニ關ス
ル途ヲ開クヘシ

〔土井權大君登壇〕

○土井權大君 本案ハ簡單ナルモノデアリマス、特ニ此産
業組合ノ中央金庫設置ト云フコトニ付キマシテハ、政友會
ニ於テモ、近日ニ法律案ヲ御出シニナルカノ如ク新聞ヲ拜見
ヲ致シタノデアリマス、又先日憲政會ニ於テハ、下岡君ヨリ
シテ其必要ナル所以ヲ此壇上ニ於テ述ベラレタコトモ承知
致シテ居ルノデアリマス、私ガ續々申上デマセヌデモ、既ニ御
賛成下サテ居ルコト、思フノデアリマス、要スルニ今日農
村トシテ苦シク居ルノハ、私力彼此申サズトモ御承知ノ通り
デアリマス、而シテ其困憊ノ原因ハ何レニ在ルカト云ヘバ疑
ニ農業組合法ヲ説明致シマシタル時ニ説明セシ如ク、産業
ノ革命ヨリ致シテ、家族的自給自足家族の自給自足ノ經
濟組織ガ破壞サレタ、是ガ原因トナシテ今日農民ハ苦シム、
農村ハ困憊致シテ居ルノデアルト申シタ通りデアリマス、而
シテソレ等ノ困憊ソレ等ノ苦シト云フモノヲ救済スルニ付キ
マシテハ、ドウシテモ此農民ノ組合、農村ノ團結ノ必要アリ
ト云フコトモ既ニ述ベタ通りデアリマス、所ガ幸ヒ産業組合
ト云フモノガ我國ニ一萬三千以上アル、特ニ農村ニ於テ
故ニ此産業組合ノ力ニ依テソレ等ノ團體ソレ等ノ組合
ニ依リマシテ、團體的自給自足ノ方策ヲ農民自身ガ自覺シ
テ立テタナラバ宜イト、斯ウ私ハ申シタノデアリマスガ、併ナ
ク産業組合トシテハ、非常ニ總テノ經營總テノ手續
ニ於テ煩瑣ナル點ガアル、是ガ一ツノ缺點デアリ、故ニ多數
組合アリト雖モ、組合ハ微々トシテ振テ居ラナイト云フコト
モ先刻申シタ通りデアリマスガ、モウ一ツ此産業組合ノ發達
シナイ所ノ一大原因ハ何デアアルカト申セバ、産業組合ノ聯
絡統一ト云フモノガ無いノデアリマス、一萬三千アル特ニ信
用組合ト申シマシテ、御承知ノ通り庶民金融ヲ掌テ居ル所

ノ組合ノ數ハ一萬一千以上アリマスケレドモ、此等ノ組合
ト云フモノハ、微々トシテ振ハナイ、金ノ有ル組合ハ非常ニ
餘テ居ル、無イ所ノ組合ハ無イ、有無相通スル所モアレバ、
又之ヲ統一シテ之ヲ聯絡スルト云フガ如キ機關モナイノデア
リマス、ソレガ爲メニ如何ナル事業ヲ農村ニ於テ團體的ニ起サ
ウト致シマシテモ、金ガ無い、斯ウ云フ結果ニ今日相成テ居
ルノデアリマス、固ヨリ銀行モアリマス、財產家モアリマスケレ
ドモ、銀行トカ財產家等ハ、サウ云フ中産階級ノ團體的ノ
事業ニ金ヲ出スベキ性質ノモノデナイト同時ニ、有ルモノト
雖モ大ナル資本家、大ナル地主等ハ、左様ナ方面ヘ金ヲ出
スコトヲ惜ムノデアリマス、ソレガ爲メニ往々小作爭議ナドモ起
キマスガ、ソレハ餘談ト致シマシテ、要スル所團體的ノ自給
自足、其他ノ團體的ノ事業ヲ起サウト致スニ付キマシテ、資
金缺乏ト云フコトニ今日相成テ居ルノデアリマス、又假ニ
米穀法ナラ米穀法ト云フモノ、運用ガアル、米ヲ農民ナラ
農民ガ暫ク投資ヲ止メヤウト致シマシテモ、金ガ無いガ爲メ
已ムナク其米ヲ安ク賣ラナケレバナラナイ、斯ウ云フ状態ニ
相成リマシテ、折角米穀法ト云フモノガアリマシテモ、金融ノ
途ガ杜絶致シテ居ルガ爲メニ、其米ト云フモノヲ或ル時期マデ
一定ノ時期ヲ持テヘル所ノ力ガ無いト云フ今日ハ状態デア
リマス、是ハ私ガ續々申上デマセヌデモ御承知ノ通りデアリ
マス、故ニ今日農村ノ振興ヲ圖リ農村ノ發達ヲ圖ラウトス
ルニ付テハ、農村ノ金融ノ如何ニスルカト云フコトガ最も重
大ナル問題デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、一方此農民ハ
如何ナルコトヲシテ居ルカト言ヘバ、郵便貯金ナドモ御承知
ノ通り隨分零碎ナル資金ヲ預ケマス、或ハ簡易生命或ハ勸
業銀行債券、或ハ農工銀行債券、ソレ等ト云フモノハ總テ
中央ニ集マルカ、若クハ此大資本家ニ使ハレト云フガ如キコ
トニ相成リマシテ、僅ナ貯金ト雖モ此貯金ト云フモノハ中央
ニ集マリマシテ、御承知ノ通り預金部ニ十億萬圓ノ金ガア
ルケレドモ、ソレ等ノ金ヲ農村ニ還元スルコト能ハズシテ、資
本家若クハ大都市ノ事業ニ使ハレル、若クハ政府ノ色ニ
政策ニ使ハレル財政計畫ニ使ハレト云フガ如キ状態ニ相
成テ居ル、丁度此農民ト云フモノハ、大キナ吸玉ヲ掛ケラ
レテ、血ト膏ヲ搾ラレ、其血ト膏ト云フモノハ、或ル一部ノ特
權階級ガ利益ヲ得テ居ル、或ル一部ノ特權階級ノ肉トナ
リ、或ハ血ト膏ト云フガ如キ今日状態ニ相成テ居ルノデア
リマス、又總テ都會ノ状態ハドウデアアルカ、都會ノ状態ハ
ドウデアアルカト申セバ、是亦中産階級並ニ中産階級以下ノ

金融ト云フモノハ、極メテ不圓滑ニ相成テ居ルノデアリマ
ス、大キナ銀行ナドハ金利ガ非常ニ安イ、所ガ中産階級、
中産階級以下ノ小賣商ハ、下レ程ノ日歩ノ金ヲ使テ居
ルカト言ヘバ最低十錢、百圓ニ付テ十錢、甚シキニ至テ
ハ二十錢、三十錢、斯ウ云フ高イ金ヲ使テ、サウシテ漸
ク商賣ヲシテ居ル、斯ウ云フ状態デアリマス、小賣商段ガ
高イ、高イト云フノハ色々ノ原因モアルデアリマセウ、租
稅ノ原因モアルデアリマセウ、營業稅ノ關係モアルデアリマ
セウ、又ハ彼等生活費ノ關係モアルデアリマセウガ、最モ
小賣商段ヲ高カラシムルモノハ、中産階級並ニ中産階
級以下ニ對スル所ノ金融ノ機關ト云フモノガ不完全ニシ
テ、高キ所ノ利息ヲ拂テ商賣ヲ致シテ居ルト、斯ウ私ハ斷
定ヲ致スノデアリマス(拍手)翻テ日本ノ銀行ハドウデア
ルカ、一般銀行モアリマス、御承知ノ通り特殊銀行モアリマ
スケレドモ、是等ノ銀行ト云フモノハ、悉ク中産階級以上ニ
利便ヲ提供スル所ノ銀行デアアル、中産階級以下ニハ何等利
便ヲ與ヘテ居ラス、勸業銀行農工銀行アリト雖モ、大地主
ノ機關デアリマセウ、興業銀行アリト雖モ、之ハ大キナ不動
產銀行デアアル——興業銀行デアアル、横濱正金銀行アリト雖
モ、是ハ大キナ貿易業者ノ親方銀行デアアル、其他日本銀行
ハ大キナ商業家、大ナル事業家ノ機關ト相成テ居ル、丁度
大藏省ニ於テ取調ヘル所ニ依レバ、最近ノ統計ニ依リマス
ト、日本全國ニ金ヲ貸出シテ居ルコト百三十億萬圓デアアル、
百三十億萬圓ノ中、銀行ノ手ニ依テ貸出シテ居ルノガ百
二十七億萬圓、殘餘三億萬圓ガ信用組合或ハ無盡若クハ問屋、
斯ウ云フヤウナ状態デアリマシテ、多數ノ國民ハ僅カ三億萬
圓シカ金ハ借リテ居ラス、少數ノ特權階級、少數ノ資本階
級ト云フモノハ百二十七億萬圓ノ金ヲ使テ居ル、斯ウ云フ
統計ニ相成テ居ル、即チ平タイ言葉申シマセバ、今日ノ
金融状態ト云フモノハ、中産階級以上ニ非常ニ便利デアアル、
中産階級並ニ中産階級以下ハ海ニ不便デアアル、是ハ農村
ト云フモノハ極メテ不完全デアアル、斯ウ云フ事ニナラシメ居ル、或
人ハ今日ノ日本ノ金融状態ヨリ日本ノ國ノ批評ヲスルナラ
バ——日本國ノ批評ヲスルナラバ、日本ノ經濟状態ハ頭熱
足寒ト云フ病氣ニ罹テ居ル、斯ウ云フ事ヲ言テ居ク人ガ
アル、是ハ私ハ眞理デアラウト思フノデアリマス(拍手)特權

ノ組合ノ數ハ一萬一千以上アリマスケレドモ、此等ノ組合
ト云フモノハ、微々トシテ振ハナイ、金ノ有ル組合ハ非常ニ
餘テ居ル、無イ所ノ組合ハ無イ、有無相通スル所モアレバ、
又之ヲ統一シテ之ヲ聯絡スルト云フガ如キ機關モナイノデア
リマス、ソレガ爲メニ如何ナル事業ヲ農村ニ於テ團體的ニ起サ
ウト致シマシテモ、金ガ無い、斯ウ云フ結果ニ今日相成テ居
ルノデアリマス、固ヨリ銀行モアリマス、財產家モアリマスケレ
ドモ、銀行トカ財產家等ハ、サウ云フ中産階級ノ團體的ノ
事業ニ金ヲ出スベキ性質ノモノデナイト同時ニ、有ルモノト
雖モ大ナル資本家、大ナル地主等ハ、左様ナ方面ヘ金ヲ出
スコトヲ惜ムノデアリマス、ソレガ爲メニ往々小作爭議ナドモ起
キマスガ、ソレハ餘談ト致シマシテ、要スル所團體的ノ自給
自足、其他ノ團體的ノ事業ヲ起サウト致スニ付キマシテ、資
金缺乏ト云フコトニ今日相成テ居ルノデアリマス、又假ニ
米穀法ナラ米穀法ト云フモノ、運用ガアル、米ヲ農民ナラ
農民ガ暫ク投資ヲ止メヤウト致シマシテモ、金ガ無いガ爲メ
已ムナク其米ヲ安ク賣ラナケレバナラナイ、斯ウ云フ状態ニ
相成リマシテ、折角米穀法ト云フモノガアリマシテモ、金融ノ
途ガ杜絶致シテ居ルガ爲メニ、其米ト云フモノヲ或ル時期マデ
一定ノ時期ヲ持テヘル所ノ力ガ無いト云フ今日ハ状態デア
リマス、是ハ私ガ續々申上デマセヌデモ御承知ノ通りデアリ
マス、故ニ今日農村ノ振興ヲ圖リ農村ノ發達ヲ圖ラウトス
ルニ付テハ、農村ノ金融ノ如何ニスルカト云フコトガ最も重
大ナル問題デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、一方此農民ハ
如何ナルコトヲシテ居ルカト言ヘバ、郵便貯金ナドモ御承知
ノ通り隨分零碎ナル資金ヲ預ケマス、或ハ簡易生命或ハ勸
業銀行債券、或ハ農工銀行債券、ソレ等ト云フモノハ總テ
中央ニ集マルカ、若クハ此大資本家ニ使ハレト云フガ如キコ
トニ相成リマシテ、僅ナ貯金ト雖モ此貯金ト云フモノハ中央
ニ集マリマシテ、御承知ノ通り預金部ニ十億萬圓ノ金ガア
ルケレドモ、ソレ等ノ金ヲ農村ニ還元スルコト能ハズシテ、資
本家若クハ大都市ノ事業ニ使ハレル、若クハ政府ノ色ニ
政策ニ使ハレル財政計畫ニ使ハレト云フガ如キ状態ニ相
成テ居ル、丁度此農民ト云フモノハ、大キナ吸玉ヲ掛ケラ
レテ、血ト膏ヲ搾ラレ、其血ト膏ト云フモノハ、或ル一部ノ特
權階級ガ利益ヲ得テ居ル、或ル一部ノ特權階級ノ肉トナ
リ、或ハ血ト膏ト云フガ如キ今日状態ニ相成テ居ルノデア
リマス、又總テ都會ノ状態ハドウデアアルカ、都會ノ状態ハ
ドウデアアルカト申セバ、是亦中産階級並ニ中産階級以下ノ

金融ト云フモノハ、極メテ不圓滑ニ相成テ居ルノデアリマ
ス、大キナ銀行ナドハ金利ガ非常ニ安イ、所ガ中産階級、
中産階級以下ノ小賣商ハ、下レ程ノ日歩ノ金ヲ使テ居
ルカト言ヘバ最低十錢、百圓ニ付テ十錢、甚シキニ至テ
ハ二十錢、三十錢、斯ウ云フ高イ金ヲ使テ、サウシテ漸
ク商賣ヲシテ居ル、斯ウ云フ状態デアリマス、小賣商段ガ
高イ、高イト云フノハ色々ノ原因モアルデアリマセウ、租
稅ノ原因モアルデアリマセウ、營業稅ノ關係モアルデアリマ
セウ、又ハ彼等生活費ノ關係モアルデアリマセウガ、最モ
小賣商段ヲ高カラシムルモノハ、中産階級並ニ中産階
級以下ニ對スル所ノ金融ノ機關ト云フモノガ不完全ニシ
テ、高キ所ノ利息ヲ拂テ商賣ヲ致シテ居ルト、斯ウ私ハ斷
定ヲ致スノデアリマス(拍手)翻テ日本ノ銀行ハドウデア
ルカ、一般銀行モアリマス、御承知ノ通り特殊銀行モアリマ
スケレドモ、是等ノ銀行ト云フモノハ、悉ク中産階級以上ニ
利便ヲ提供スル所ノ銀行デアアル、中産階級以下ニハ何等利
便ヲ與ヘテ居ラス、勸業銀行農工銀行アリト雖モ、大地主
ノ機關デアリマセウ、興業銀行アリト雖モ、之ハ大キナ不動
產銀行デアアル——興業銀行デアアル、横濱正金銀行アリト雖
モ、是ハ大キナ貿易業者ノ親方銀行デアアル、其他日本銀行
ハ大キナ商業家、大ナル事業家ノ機關ト相成テ居ル、丁度
大藏省ニ於テ取調ヘル所ニ依レバ、最近ノ統計ニ依リマス
ト、日本全國ニ金ヲ貸出シテ居ルコト百三十億萬圓デアアル、
百三十億萬圓ノ中、銀行ノ手ニ依テ貸出シテ居ルノガ百
二十七億萬圓、殘餘三億萬圓ガ信用組合或ハ無盡若クハ問屋、
斯ウ云フヤウナ状態デアリマシテ、多數ノ國民ハ僅カ三億萬
圓シカ金ハ借リテ居ラス、少數ノ特權階級、少數ノ資本階
級ト云フモノハ百二十七億萬圓ノ金ヲ使テ居ル、斯ウ云フ
統計ニ相成テ居ル、即チ平タイ言葉申シマセバ、今日ノ
金融状態ト云フモノハ、中産階級以上ニ非常ニ便利デアアル、
中産階級並ニ中産階級以下ハ海ニ不便デアアル、是ハ農村
ト云フモノハ極メテ不完全デアアル、斯ウ云フ事ニナラシメ居ル、或
人ハ今日ノ日本ノ金融状態ヨリ日本ノ國ノ批評ヲスルナラ
バ——日本國ノ批評ヲスルナラバ、日本ノ經濟状態ハ頭熱
足寒ト云フ病氣ニ罹テ居ル、斯ウ云フ事ヲ言テ居ク人ガ
アル、是ハ私ハ眞理デアラウト思フノデアリマス(拍手)特權

階級以上ニハソレ、金融ノ途ガアル、中産階級並ニ中産階級以下ニハ單ニ信用組合アリト雖モ、之ヲ聯絡シ、之ヲ運用スル所ノ一ツノ大機關ガ無イノデアリマス、仍テドウシテモ信用組合ノ親方銀行デアル所ノ産業組合中央金庫ナルモノヲ設置致シマシテ、庶民階級ノ金融ト云フモノヲ滑カニシナケレバナラヌト云フ意味ヨリ致シマシテ、此建議ヲ出シテ次第デアリマス(拍子)然ラバ如何ヤナル骨子デアアルカト云ヘバ極メテ簡單デアリマス、第一「中央銀行ハ産業銀行法ニ依リ法人トス」新ニ法律ヲ制定スルノデアリマス、第二「中央銀行ノ出資金ハ政府ト産業組合聯合會及産業組合之ヲ出資ス出資總額ハ五千万圓以上トシ、政府ハ其半額ヲ出資ス政府ノ出資ニ對シテハ十五年間利益ノ配當ヲ爲スコトヲ要セス」是ハ農工銀行デモ斯ノ如キコトデアリマス故ニ、其例ヲ取ツタノデアリマス、第三「中央銀行ハ産業組合聯合會並産業組合ニ對シテ定期貸付手形ノ割引又ハ當座預金貸越ヲ爲シ又資金ノ餘格アル場合ニハ年賦貸付ヲ爲ス」無擔保貸付ノ原則トスルモ、擔保ヲ徵スルコトモ出來ル、原則トシテハ無擔保主義、第四「産業組合聯合會並産業組合公共團體營利ヲ目的トセザル法人若クハ團體ヨリノ預リ金ヲ爲スコト」第五「其他産業組合聯合會並産業組合ノ爲ニ爲替事務國債又ハ有價證券ノ委託賣買ヲ爲スコト」第六「中央銀行債券ヲ發行スルコトヲ得」ト「發行ニ關スル諸稅ハ免除セラル、モノトス」、七「中央銀行ハ理事監事若干名ヲ置キ政府ノ任命トス」八「中央銀行ニハ所得稅及營業稅ヲ課セス」九「中央銀行ハ定款貸付金ノ利子歩合等重要事項ニ付政府之ヲ監督ス」斯ウ云フ次第デアリマス、即チ中産階級並ニ中産階級以下ヲ救フ社會政策中、最モ重要ナル案件デアアルト思フノデアリマスルガ故ニ、何卒御贊同ノ程ヲ願ヒマス(拍手)

○高見之通君 本案ハ安達謙藏君外四名提出、農村振興ニ關スル建議案外二件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕(下呼フ者アリ)

○副議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、動議ノ如ク決シマシタ、日程第十九ハ提出者ヨリ延期ノ申出ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕(異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナイト認メマス、仍テ延

期ヲ許シマス、日程第二十、氣仙沼前谷地間鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者中島鵬六君

第二十一 氣仙沼前谷地間鐵道速成ニ關スル建議案(高橋長七郎君外八名提出)

氣仙沼前谷地間鐵道速成ニ關スル建議案

氣仙沼前谷地間鐵道速成ニ關スル建議案

宮城縣氣仙沼ヨリ志津川ヲ經テ前谷地ニ至ル鐵道ヲ政府ニ於テ速ニ建設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔中島鵬六君登壇〕

○中島鵬六君 極メテ簡單ニ本案提出ノ理由ヲ説明致シマス、此建議案ハ俗ニ所謂三陸沿岸鐵道ト申シマス中ノ氣仙沼ヨリ前谷地ニ至ル鐵道ヲ速成シテ戴キタイト云フ建議案デアリマス、此線ハ政府ニ於キマシテモ早く既ニ其必要ヲ認メテ居リマシテ、彼ノ青森縣ト並ニ巖手縣ニ於キマシテハ、既ニソレ、起工サレテ居リマス、唯、單リ宮城縣ノ部分ガ未ダ起工セラレマセヌカラ、速ニ起工シテ戴キタイト思ヒマス、申ス迄モナク三陸沿岸ノ地方ハ非常ニマダ開發セラレテ居リマセヌノミナラズ、此度ノ建議ニ現レテ居リマスル線路ノ沿岸ハ森林アリ、鑛山アリ、而モ金華沖ト云フ大漁場ヲ控ヘテ居リマスルカラ、斯ノ如キモノヲ速成スルコトハ獨リ地方國民ノ利益ナルノミナラズ、國家ノ重大ナル利益デアルト考ヘマスカラ、之ヲ速成セラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

○高見之通君 本案ハ中野寅吉君外三名提出、柳澤小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案外一件ノ委員ニ併セ付託アラント望ミマス

〔贊成〕(下呼フ者アリ)

○副議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニハ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次ハ日程第二十一、肝屬川改修速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、津崎尙武君

第二十一 肝屬川改修速成ニ關スル建議案(津崎尙武君外二名提出)

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

鹿兒島縣下肝屬川ハ其ノ流域廣ク沿岸豐稔ナル土地多キモ堤防ノ不全ナル爲毎年河水ノ氾濫甚シク土地家屋農作物ノ被害多大ナリ殊ニ大正三年一月櫻島大爆發之際シ其ノ砂石燒灰ノ大部分ハ當時風ノ方向ニ依リ肝屬川ノ水源地ニ堆積シタルヲ以テ爾來降雨毎ニ砂石燒灰ハ流下シテ川床ヲ嵩上シ爲ニ堤防ヲ破壞シ慘害實ニ名狀スベカラサルモノアリ沿岸地方ニ於テハ此ノ天災ニ對シ町村又ハ土木組合ニ於テ凡ユル防禦ヲ施スモ地方ノ負擔過大ニシテ到底此ノ天災ニ抗スルコトヲ得ス而モ災害ハ比年其ノ度ヲ加ヘ地方ノ困憊其ノ極ニ達セムトス幸ニ該川ハ第二期治水計畫中ニ編入セラレタルヲ以テ政府ハ本河川ニ關スル特別ノ事情ヲ斟酌シ急速改修工事施行ノ計ヲ立テラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔津崎尙武君登壇〕

○津崎尙武君 鹿兒島縣下肝屬川ハ大正三年ノ櫻島ノ大爆發ト云フ非常ノ天災ガアリマシテ、其天災ノ結果當時風ノ方向ニ因リマシテ、爆發ノ砂石燒灰ノ大部分ガ其水源地ニ堆積致シマシテ、ソレガ年々流下シテ河床ニ堆積致シテ特別ノ事情ノアル川デアリマス、沿岸ノ町村ニ於キマシテハ爾來其水害ノ防備ニ努メマシテ、今日迄既ニ七十餘方圓ノ經費ヲ其防備ニ投ジテ居ルノデアリマス、甚シキ町村ハ數割一戸平均五十餘圓ト云フ負擔ヲシテ此天災ニ對抗シテ居ルノデアリマスケレドモ、地方ノ力ヲ以テシテハ今日是レ以上ハ如何トモスルコトガ出來ナイ狀態デアリマス、毎年場所ガ變ル地域デアリマス、爲ニ水害トナリマスレバ二千四百町歩ノ浸水ヲ見、約一千戸ノ浸水家屋ヲ見ルノデアリマス、斯ウ云フ情況デアリマスカラ、他地方ノ河川ト異リマシテ、櫻島ノ大爆發ト云フ特殊ノ天災ニ基イテ居リマスノデ、所謂急病人ノ狀態ニ在ルノデアリマスカラ、本河川ヲ速ニ改修セラレタイト云フ希望デアアルノデアリマス、幸ニ本河川ハ第二期河川ノ中ニ入テ居ルノデアリマスカラ、他ノ河川ト異ル狀態ニ在ルコトヲ參酌セラレマシテ、速ニ改修セラレンコトヲ希望スルノデアリマス(拍子)

○高見之通君 本案ハ議長指名ヲ以テ九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕(下呼フ者アリ)

○副議長(粕谷義三君) 高見之通君ノ動議ニハ御異議ガナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二十

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

肝屬川改修速成ニ關スル建議案

二モ提出者ヨリ延期ノ申出ガアリマシタ、許可スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ガナイト認メマス、仍テ延期ヲ許シマス、日程第二十三、八幡濱中村間鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者矢野丑乙君

第二十三 八幡濱中村間鐵道速成ニ關スル建議案(矢野丑乙君外三名提出)

八幡濱中村間鐵道速成ニ關スル建議案

八幡濱中村間鐵道速成ニ關スル建議

政府ハ愛媛縣八幡濱ヨリ宇和島ヲ經テ高知縣中村ニ至ル間ノ鐵道ヲ速成シ以テ運輸交通ノ發達ヲ促進セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔矢野丑乙君登壇〕

○矢野丑乙君 極メテ簡單ニ本案提出ノ理由ヲ申述ベマス、本案ハ愛媛縣ノ西宇和郡八幡濱ト云フ處カラ卯ノ町ト云フ處ヲ通テ宇和島市ヘ出マシテ、高知縣下宿毛町ヲ經テ中村町ニ達スル線デゴザイマシテ、鐵道敷設法ノ中ニ規定シテアリマス、第百三號線ノ一部デアリマス、此鐵道ハ四國ノ西部ノ海岸ヲ通ズル線デアリマシテ、人口ハ頗ル稠密デアリマス、而シテ物産モ中ミ豐富ナ處デアアルノデゴザイマス、故ニ此鐵道ヲ速ニ敷設ヲシテ貴ヒタイト云フ譯デゴザイマス、其地方ノ住民ハ叫ンデ曰ク、四國ハ鐵道ニ付テ頗ル虐待ヲサレテ居ル、繼兒扱ニサレテ居ルノデアアル、吾々ハ日本全國々民同一ノ負擔ヲシ、今日既ニ六七千呎ト云フ鐵道ヲ架シテ居ルニモ拘ラス、縱令島國ト雖モ四國ハ餘リニ鐵道ニ付テ虐待ヲ受ケテ居ルト云フコトヲ申シテ、非常ニ其地方ノ人ハ鐵道敷設ニ付テ熱心ニ主張シテ居ル譯デゴザイマス、右ノ次第デゴザイマスカラドウカ滿場一致ノ御賛成ヲ願ヒマス

○高見之通君 本案ノ議長指名ヲ以テ九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニハ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二十四、第二十五共、提出者ヨリ延期ノ申出ガアリマシタ、之ヲ許可スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(粕谷義三君) 御異議ナイト認メマス、仍テ許可スルコトニ決シマシタ是ニテ本日ノ日程ヲ議了致シマシタ、次會ノ日程ハ追テ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日はニテ散會

午後五時十七分散會

衆議院議事速記録第九號中正誤

頁	段	行	誤	正
一五七	上	二三	公	奉